

---

川西町  
第10次高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画  
策定のための介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
報告書

---

令和5年3月

川西町



## 目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 有効回答件数及び回答率	1
(4) 留意点	1
2. 回答者の属性	2
(1) 基本属性	2
3. ご家族や生活状況について	3
(1) 家族構成	3
(2) 暮らし・住まいの状況	4
① 介護・介助の必要性	4
② 主な介護者	6
③ 経済状況	7
4. からだを動かすことについて	8
(1) 運動・転倒の状況	8
◆運動器の機能低下リスクの判定	13
◆転倒リスクの判定	15
(2) 外出の状況	17
① 外出の頻度	17
◆閉じこもりのリスクの判定	18
② 外出を控えているか	22
③ 外出の際の移動手段	25
5. 食べることについて	27
(1) 身長・体重・BMI	27
① 身長	27
② 体重	28
③ BMI	29
(2) 口腔	30
① 口腔内の健康状態	30
◆口腔機能の低下リスクの判定	33
② 歯の状況	35

(3) 栄養	36
① 体重の状況	36
◆栄養改善のリスクの判定	36
② 孤食の状況	38
6. 毎日の生活について	39
(1) 物忘れ	39
◆認知機能の低下リスクの判定	40
(2) IADL（手段的自立度）の状況	41
7. 地域活動	46
(1) 地域活動づくりへの参加意向	46
8. たすけあいについて	49
(1) 周囲との相互の関係	49
◆たすけあい合計点	51
(2) 家族や友人・知人以外の相談相手	53
(3) 友人・知人との関係性	54
9. 健康について	57
(1) 健康状態	57
① 主観的健康感	57
② こころの健康	59
◆うつのリスクの判定	64
(2) 喫煙	66
(3) 病気の状況	68
10. 認知症にかかる相談窓口の把握について	70
(1) 認知症の症状の有無	70
(2) 認知症の相談窓口の周知状況	71
11. 日常生活について	72
(1) 日常的に受けたい支援	72
(2) かかりつけ医の有無	76
(3) スマートフォン等の利用状況	79
① スマートフォン等の利用有無	79
② 利用している機能	83
③ 利用していない理由	85
④ スマートフォン等の利用普及につながること	87

12. 人生の最終段階について .....	89
(1) 人生の最期について .....	89
① 人生の最後を迎えたいと思う場所 .....	89
② 人生の最終段階について感じている不安 .....	92
③ 家族との話し合いについて .....	94
④ セミナーへの参加意向 .....	98
13. 設問間のクロス集計 .....	101
14. 総括 .....	106
(1) 回答者の属性・住まいの状況 .....	106
(2) 運動・外出について .....	106
(3) 口腔・栄養について .....	106
(4) 社会参加について .....	107
(5) 健康について .....	107
(6) 人生の最終段階について .....	107
15. 調査票 .....	108



# 1. 調査概要

## (1) 調査目的

本町では、高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを行います。

本調査では、身近な内容で、高齢者の状態や自立した生活を過ごす上での課題、今後の意向等をより的確に把握することを目的としました。

## (2) 調査の実施について

対象者	令和4年12月現在、川西町内にお住まいの65歳以上の方 (要介護1～5の方を除く)
実施期間	令和5年1月5日(木)～令和5年1月27日(金)
実施方法	郵送配布、郵送回収、WEBアンケートシステムでの回答

## (3) 有効回答件数及び回答率

配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
2,581件	1,915件 (うちWEB回答27件)	74.1%	1,832件	70.9%

## (4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer = いくつでも)、3LA (3 Limited Answer = 3つまで) と記載している。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている場合がある。
4. 各種リスクの非該当には判定不能も含む。
5. 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

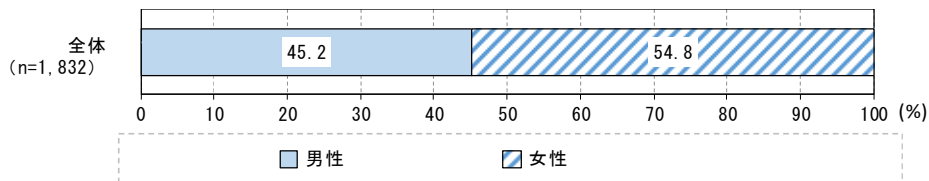
## 2. 回答者の属性

### (1) 基本属性

#### ●対象者の性別

○性別について、「男性」が45.2%、「女性」が54.8%となっています。

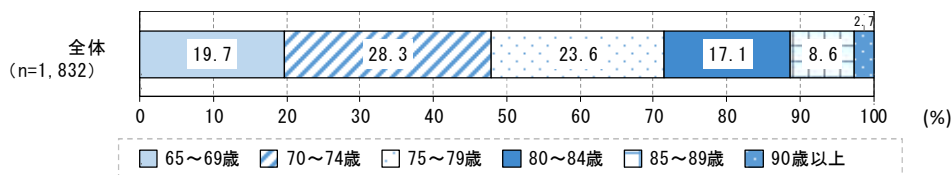
【図表 0-1 対象者の性別】



#### ●対象者の年齢

○年齢について、「70～74歳」が28.3%で最も多く、次いで「75～79歳」が23.6%、「65～69歳」が19.7%となっています。

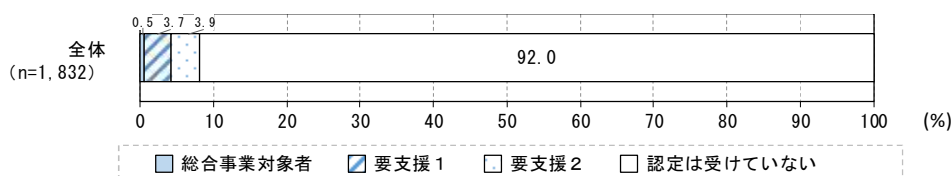
【図表 0-2 対象者の年齢】



#### ●対象者の認定該当状況

○認定該当状況について、「認定は受けていない」が92.0%で最も多く、次いで「要支援2」が3.9%、「要支援1」が3.7%、「総合事業対象者」が0.5%となっています。

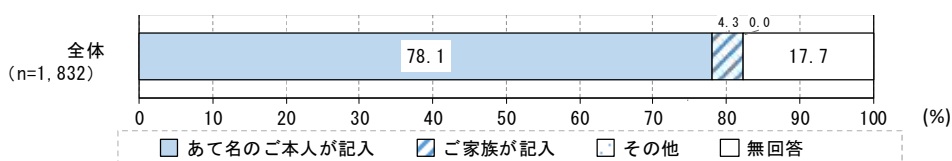
【図表 0-3 対象者の認定該当状況】



#### ●調査票を記入されたのはどなたですか。

○記入者について、「あて名のご本人が記入」が78.1%で最も多く、次いで「ご家族が記入」が4.3%となっています。

【図表 0-4 記入者】





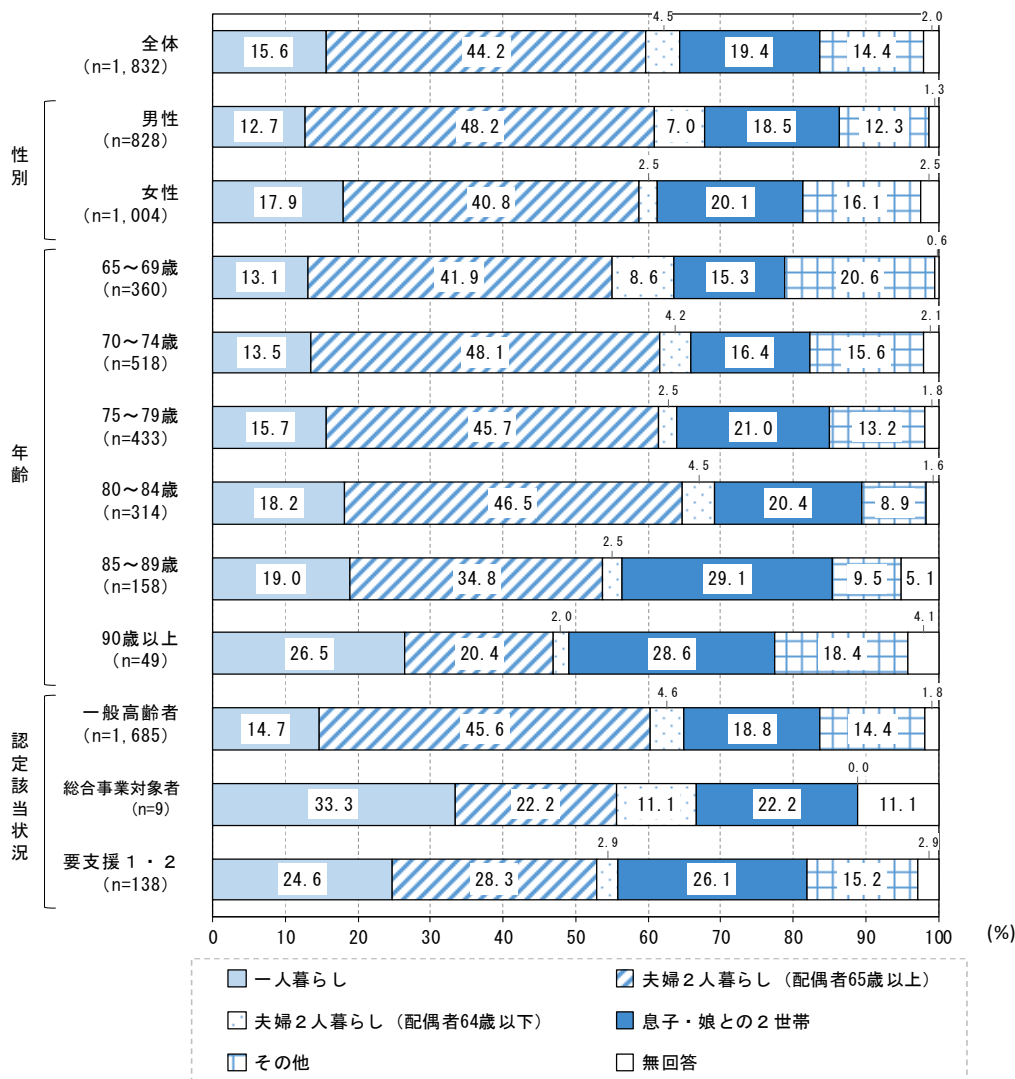
### 3. ご家族や生活状況について

#### (1) 家族構成

##### ●問1.1 家族構成をお教えてください。(1つだけ)

- 家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者 65歳以上）」が 44.2%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が 19.4%、「一人暮らし」が 15.6%となっています。
- 年齢についてみると、年齢が高いほど「一人暮らし」が多くなる傾向がみられます。
- 性別についてみると、女性では「一人暮らし」が 17.9%と男性に比べて多くなっています。
- 認定該当状況についてみると、総合事業対象者、要支援1・2では「一人暮らし」の割合が一般高齢者に比べて多くなっています。

【図表 1-1 家族構成】



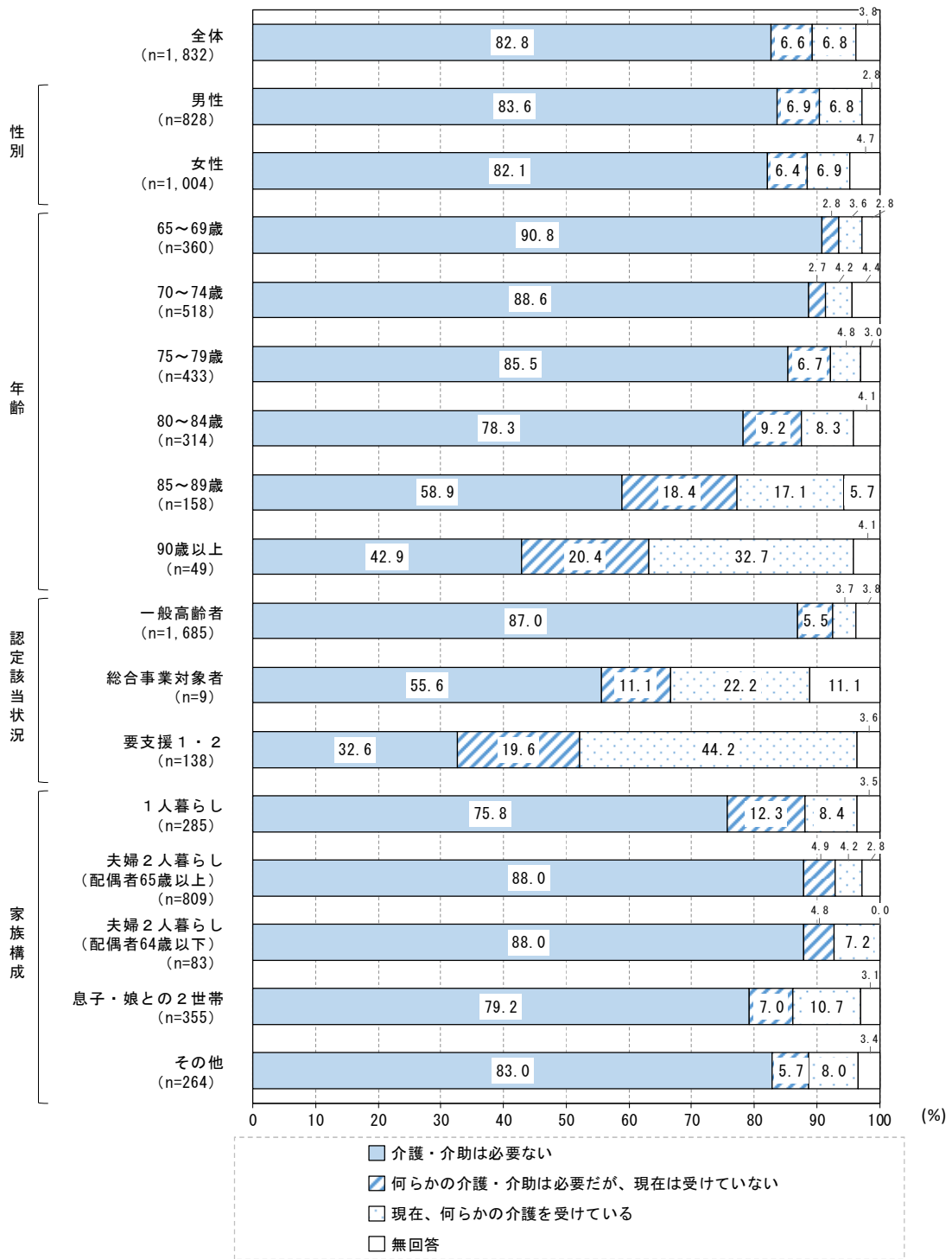
## (2) 暮らし・住まいの状況

### ① 介護・介助の必要性

●問1.2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ)

- 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が82.8%で最も多く、次いで「現在、何らかの介護を受けている」が6.8%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.6%となっています。
- 前回調査との比較では、「介護・介助は必要ない」が前回調査(85.1%)と比べて2.3ポイント低下しています。
- 年齢についてみると、年齢が高いほど「現在、何らかの介護を受けている」「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」を合わせた“何らかの介護・介助が必要”の割合が多くなっています。
- 家族構成についてみると、1人暮らしでは「介護・介助は必要ない」が75.8%と他の区分に比べて少なくなっています。

【図表 1-2 介護・介助の必要性】

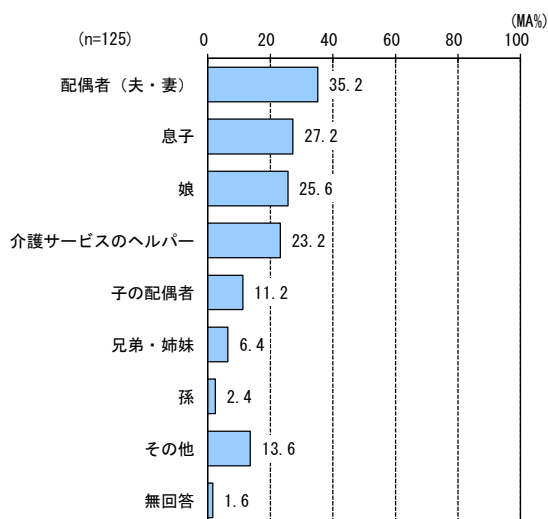


## ② 主な介護者

### ●問1.2-1 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも)

- 主な介護・介助者について、「配偶者（夫・妻）」が 35.2%で最も多く、次いで「息子」が 27.2%、「娘」が 25.6%となっています。
- 性別についてみると、男性では「配偶者（夫・妻）」が 42.9%と最も多く、女性に比べて 13.9ポイント多くなっています。
- 女性では「娘」が 36.2%と最も多く、男性に比べて 23.7ポイント多くなっています。
- 家族構成についてみると、1人暮らしでは「介護サービスのヘルパー」が 45.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【図表 1-3 主な介護者(MA)】



単位：%

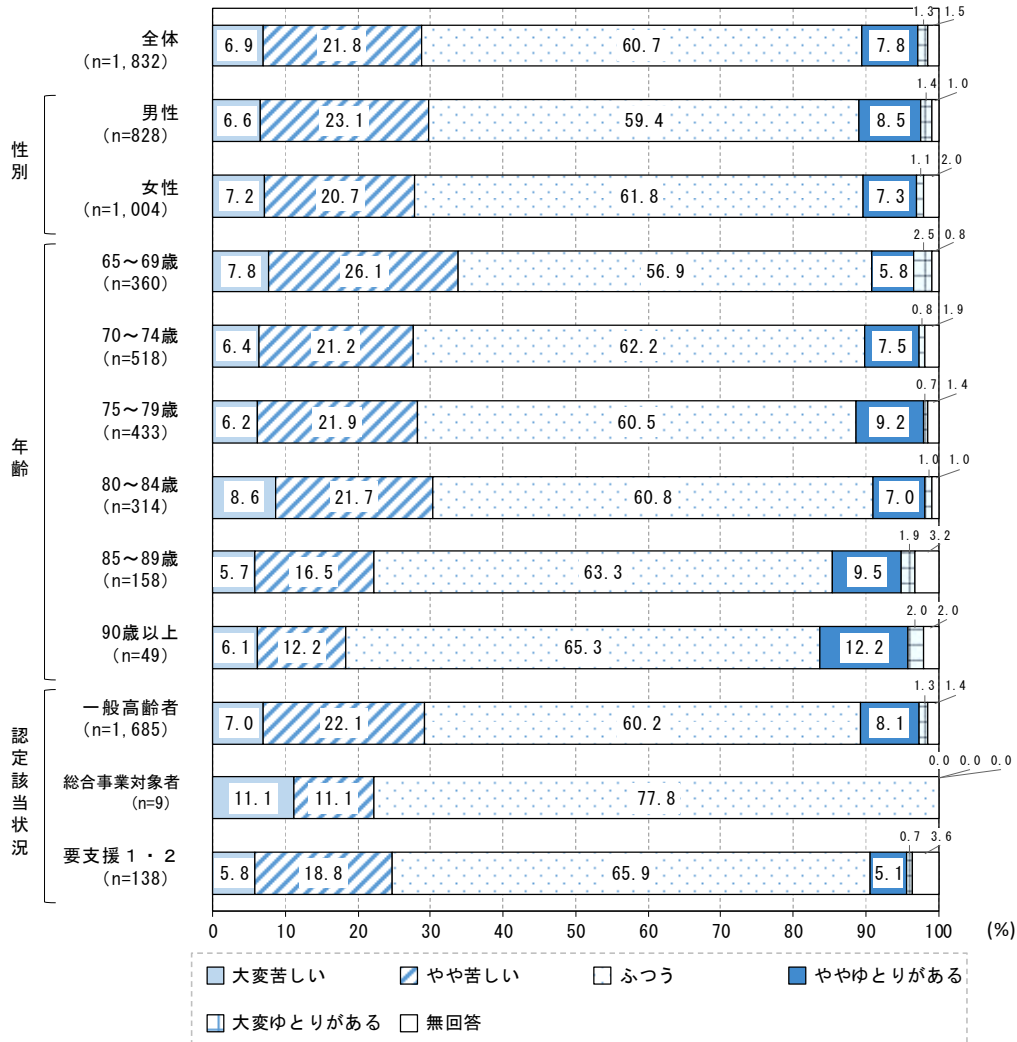
		母数 (n)	主な介護・介助者(MA)								
			(配 偶 者 )	息 子	娘	子 の 配 偶 者	孫	兄 弟 ・ 姉 妹	介 護 サ ー ビ ス の ヘ ル パ ー	そ の 他	無 回 答
全体		125	35.2	27.2	25.6	11.2	2.4	6.4	23.2	13.6	1.6
性別	男性	56	42.9	25.0	▼ 12.5	8.9	-	7.1	25.0	17.9	1.8
	女性	69	29.0	29.0	△ 36.2	13.0	4.3	5.8	21.7	10.1	1.4
年齢	65~69歳	13	30.8	-	▼ 15.4	-	-	△ 23.1	15.4	23.1	7.7
	70~74歳	22	△ 63.6	22.7	18.2	13.6	-	4.5	13.6	22.7	-
	75~79歳	21	33.3	23.8	19.0	4.8	4.8	14.3	28.6	14.3	-
	80~84歳	26	30.8	△ 38.5	△ 42.3	7.7	3.8	-	23.1	7.7	-
	85~89歳	27	29.6	△ 40.7	18.5	11.1	-	3.7	25.9	3.7	3.7
90歳以上	16	▼ 18.8	18.8	△ 37.5	△ 31.3	6.3	-	31.3	18.8	-	
認定該当 状況	一般高齢者	62	40.3	30.6	17.7	11.3	1.6	9.7	▼ 9.7	14.5	3.2
	総合事業対象者	2	△ 50.0	-	△ 50.0	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	61	29.5	24.6	32.8	11.5	3.3	3.3	△ 37.7	13.1	-
家族構成	1人暮らし	24	-	▼ 16.7	20.8	-	-	△ 16.7	△ 45.8	△ 29.2	-
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	34	△ 73.5	▼ 11.8	▼ 11.8	5.9	-	-	14.7	8.8	2.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	6	△ 83.3	-	-	-	-	-	16.7	-	16.7
	息子・娘との2世帯	38	▼ 23.7	△ 47.4	△ 42.1	△ 23.7	-	-	15.8	10.5	-
	その他	21	▼ 23.8	33.3	28.6	14.3	△ 14.3	△ 19.0	28.6	14.3	-

### ③ 経済状況

●問1.3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ)

○経済状況について、「ふつう」が60.7%で最も多く、次いで「やや苦しい」が21.8%、「ややゆとりがある」が7.8%となっています。

【図表 1-4 経済状況】



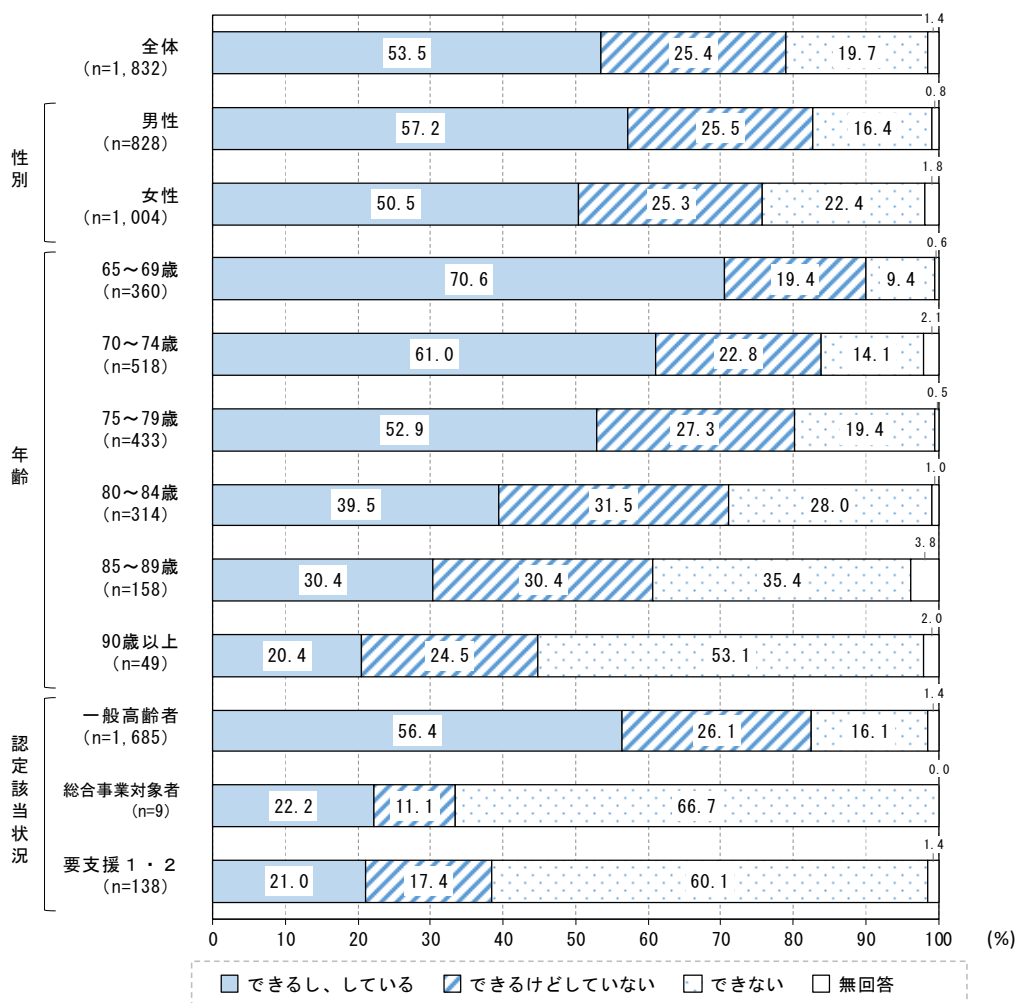
## 4. からだを動かすことについて

### (1) 運動・転倒の状況

#### ●問2.1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ)

- 手すりや壁をつたわない階段の昇降について、「できるし、している」が 53.5%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 25.4%、「できない」が 19.7%となっています。
- 前回調査との比較では、「できるし、している」の割合は前回調査 (57.5%) と比べて4.0ポイント低下しています。
- 性別についてみると、男性では「できるし、している」が 57.2%と女性に比べて多くなっています。

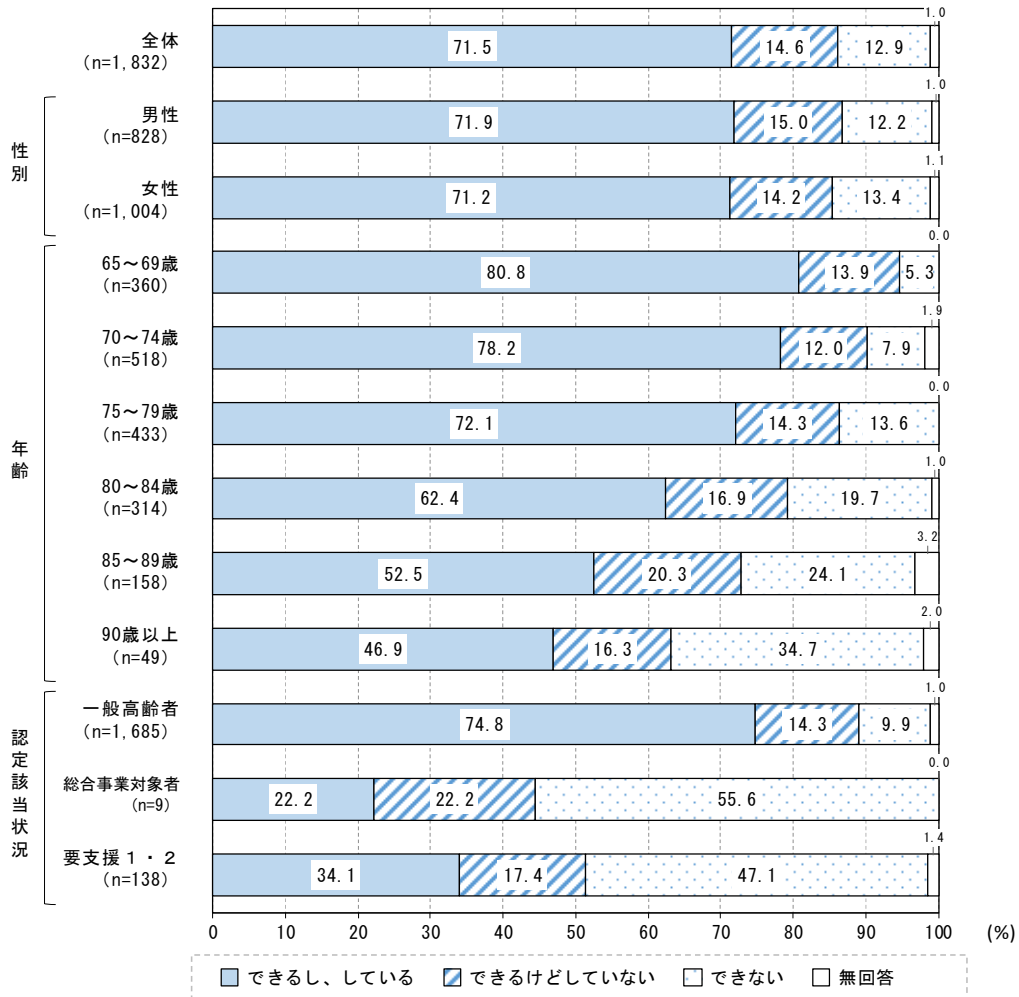
【図表 2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか】



●問2.2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ)

- 椅子に座った状態からの立ち上がりについて、「できるし、している」が71.5%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が14.6%、「できない」が12.9%となっています。
- 前回調査との比較では、「できるし、している」の割合は前回調査(71.8%)と比べて0.3ポイント低下しています。

【図表 2-2 椅子に座った状態からの立ち上がり】

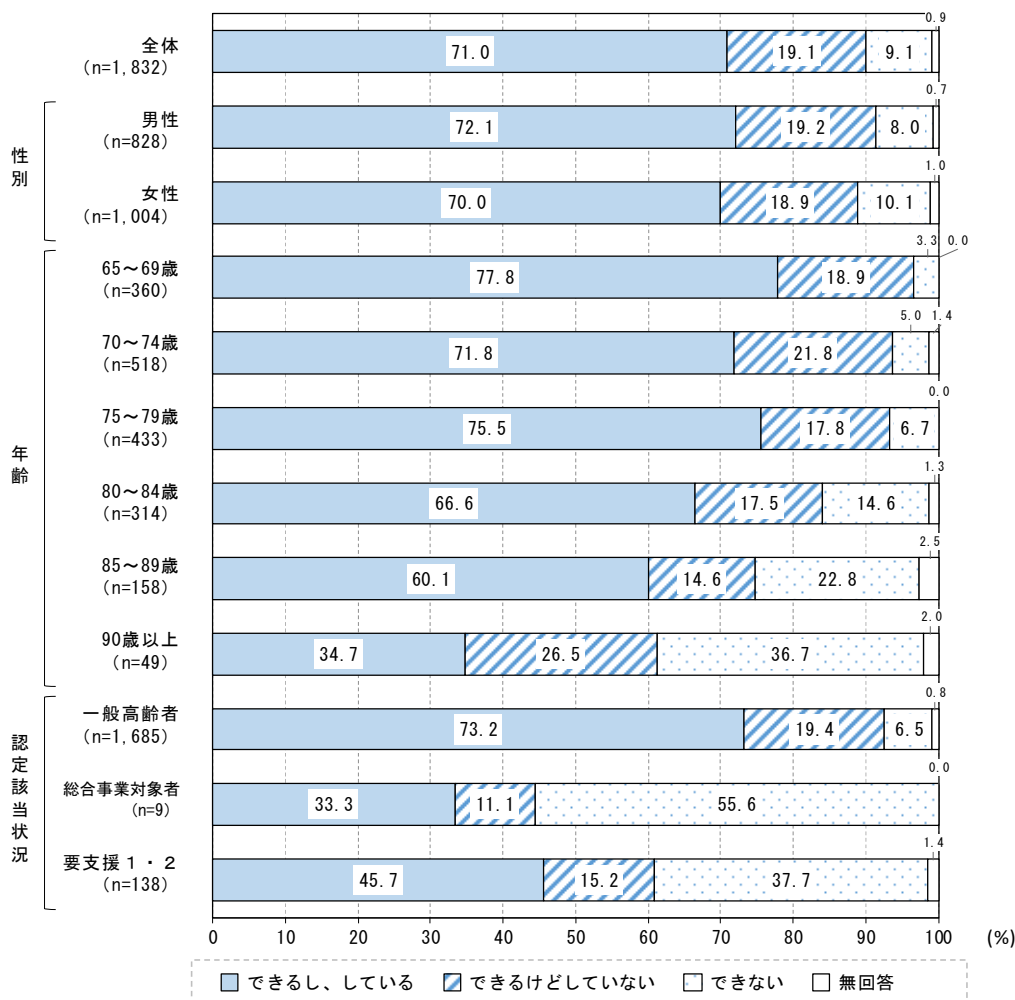


●問2.3 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ)

○15分位続けての歩行について、「できるし、している」が71.0%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が19.1%、「できない」が9.1%となっています。

○前回調査との比較では、「できるし、している」の割合は前回調査(71.0%)と同じ結果となっています。

【図表 2-3 15分位続けての歩行】

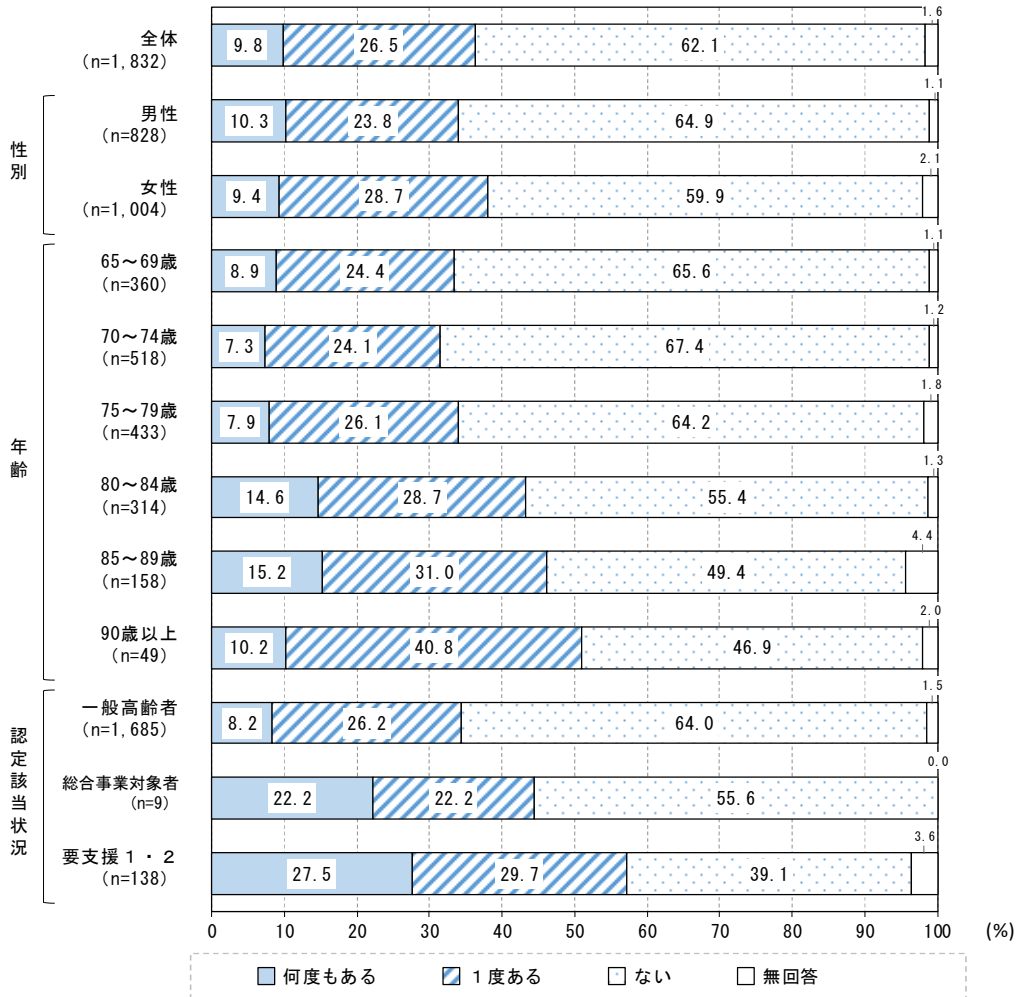




●問2.4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ)

- 転倒経験について、「ない」が62.1%で最も多く、次いで「1度ある」が26.5%、「何度もある」が9.8%となっています。
- 前回調査との比較では、「ない」の割合は前回調査(68.0%)と5.9ポイント低下しています。
- 年齢についてみると、年齢が高いほど「何どもある」「1度ある」を合わせた“転倒経験あり”の割合が多くなる傾向がみられます。

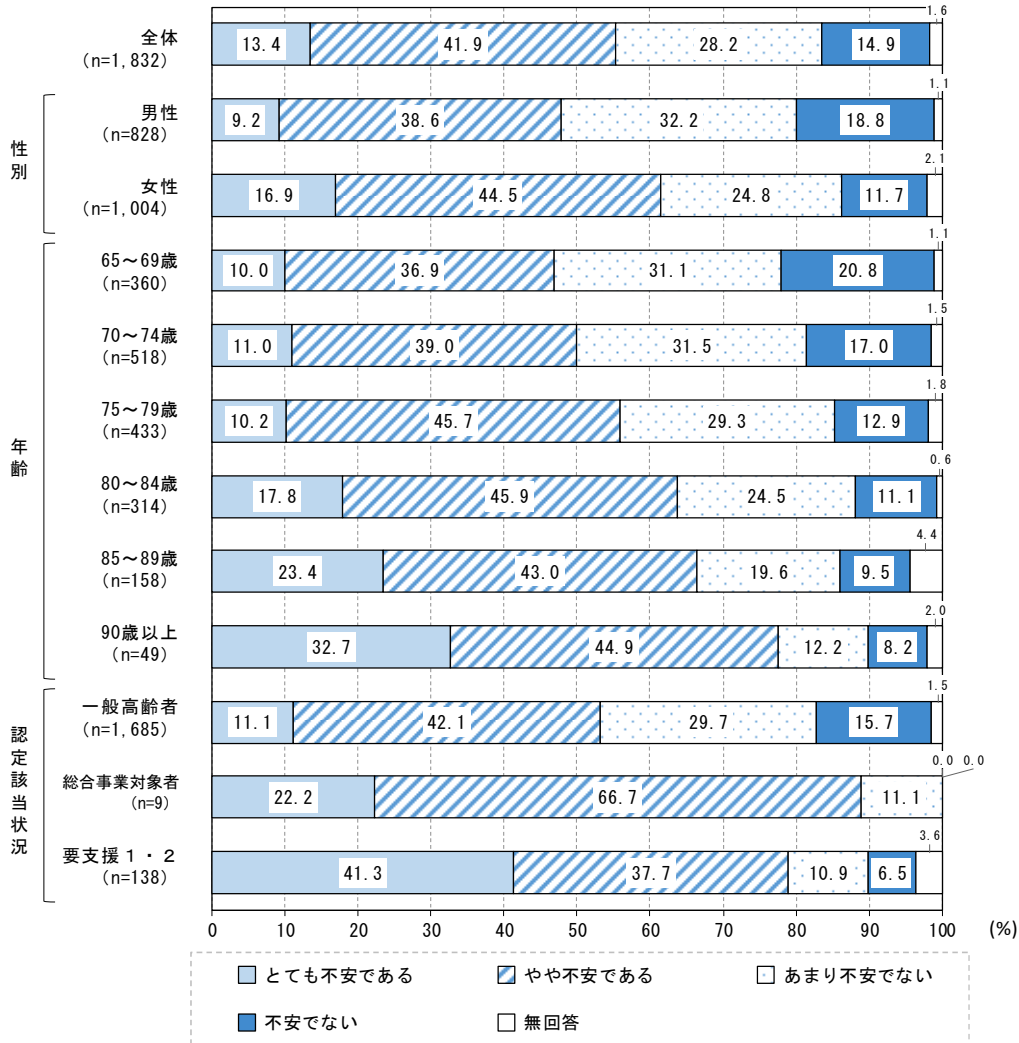
【図表 2-4 転倒経験】



●問2.5 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ)

- 転倒に対する不安について、「やや不安である」が41.9%で最も多く、次いで「あまり不安でない」が28.2%、「不安でない」が14.9%となっています。
- 前回調査との比較では、「不安でない」は前回調査(22.2%)と比べて7.3ポイント低下しています。
- 年齢についてみると、年齢が高いほど「とても不安である」「やや不安である」を合わせた「不安である」の割合が多くなっています。

【図表 2-5 転倒に対する不安】

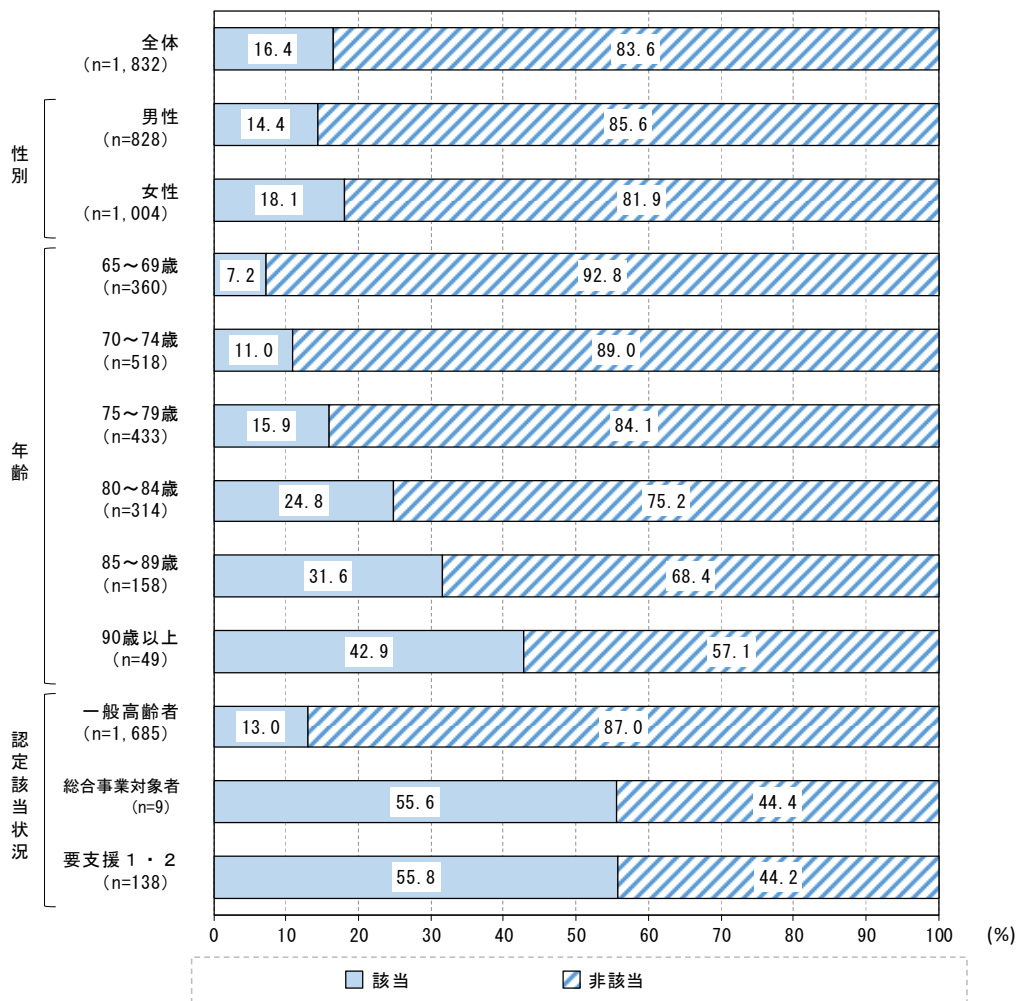


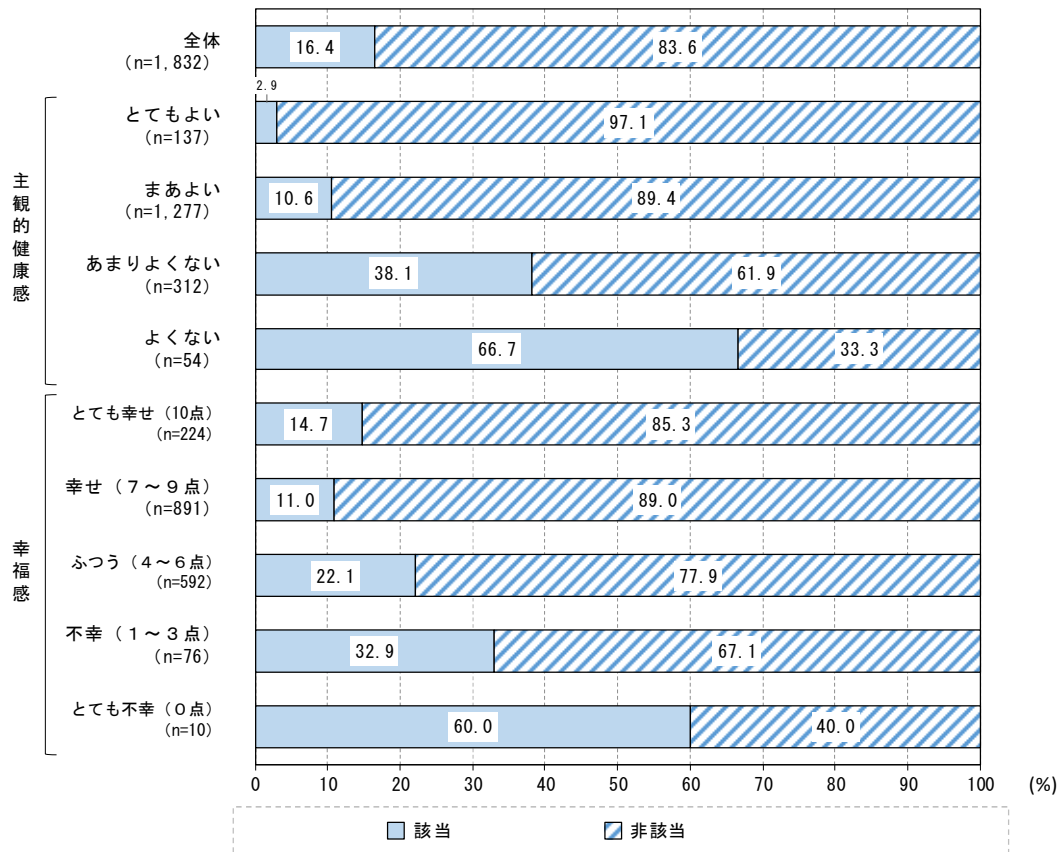
## ◆運動器の機能低下リスクの判定

### ●運動器の機能低下リスク

- 運動器の機能低下リスクについて、リスクに「該当」する方が16.4%となっています。
- 前回調査との比較では、リスクに「該当」する方は前回調査（15.9%）と比べて0.5ポイント増加しています。
- 性別についてみると、女性ではリスクに「該当」する方が18.1%と男性に比べて多くなっています。
- 年齢についてみると、年齢が高いほどリスクに「該当」する方の割合が多くなる傾向がみられます。
- 主観的健康感についてみると、主観的健康感が悪いほどリスクに「該当」する方の割合が多くなっています。
- 幸福感についてみると、幸福感が低いほどリスクに「該当」する方の割合が多くなる傾向がみられます。

【図表 2-6 運動器の機能低下リスク】



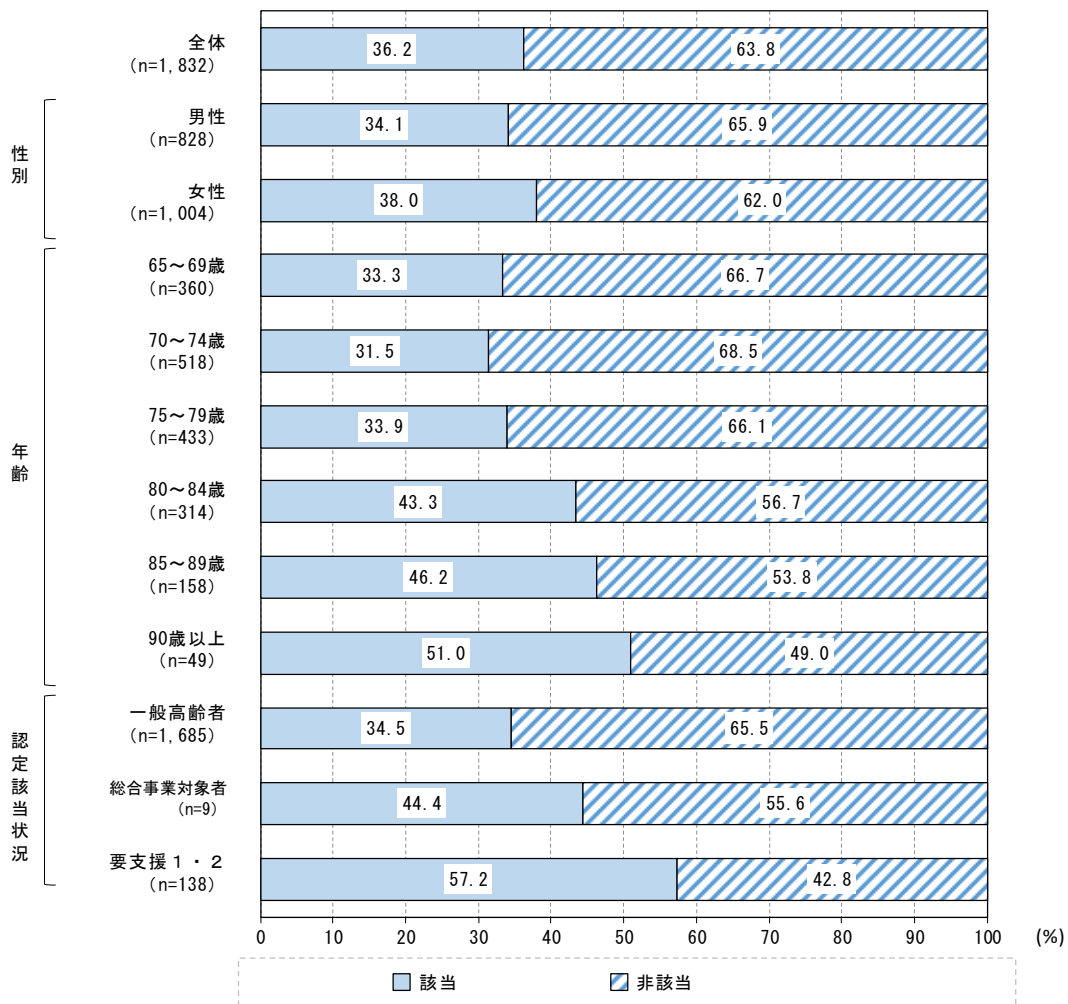


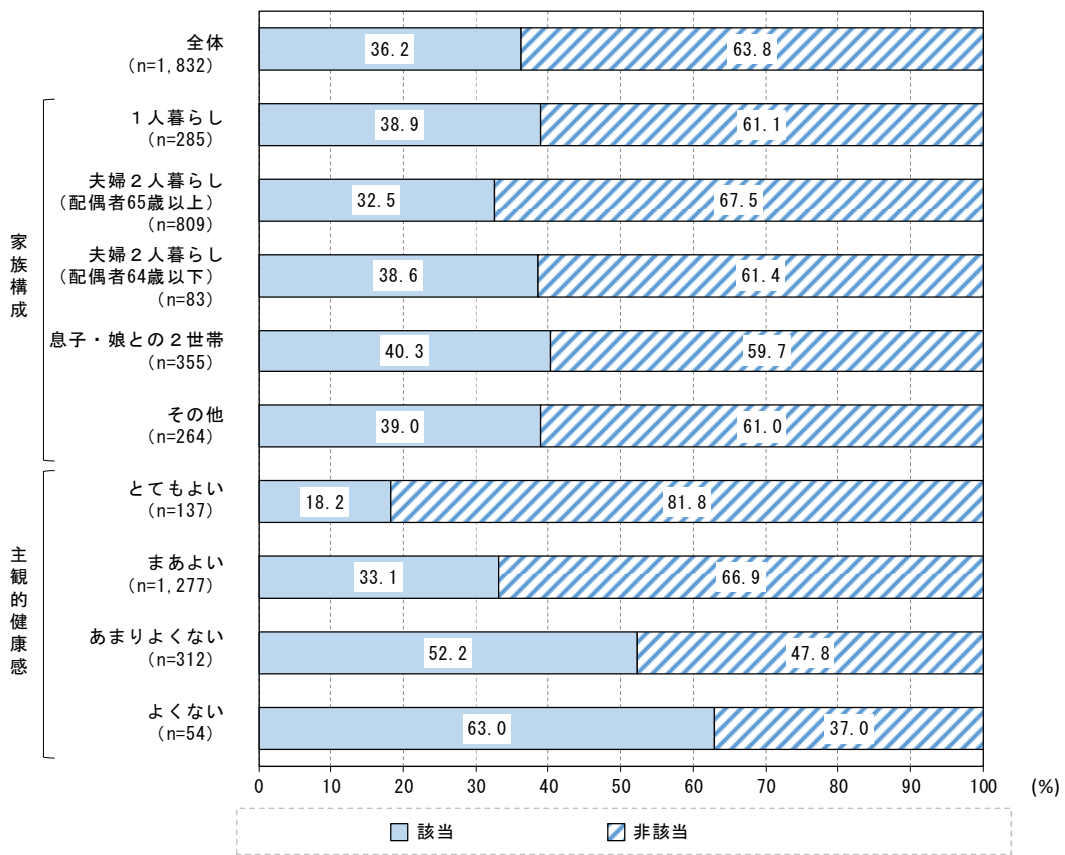
## ◆転倒リスクの判定

### ●転倒リスク

- 転倒リスクについて、リスクに「該当」する方が 36.2%となっています。
- 前回調査との比較では、リスクに「該当」する方は、前回調査（30.5%）と比べて 5.7 ポイント増加しています。
- 認定該当状況についてみると、総合事業対象者、要支援 1・2 ではリスクに「該当」する方の割合が多くなっています。
- 家族構成についてみると、夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）ではリスクに「該当」する方が 32.5%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 主観的健康感についてみると、主観的健康観が悪いほどリスクに「該当」する方の割合が多くなる傾向がみられます。

【図表 2-7 転倒リスク】





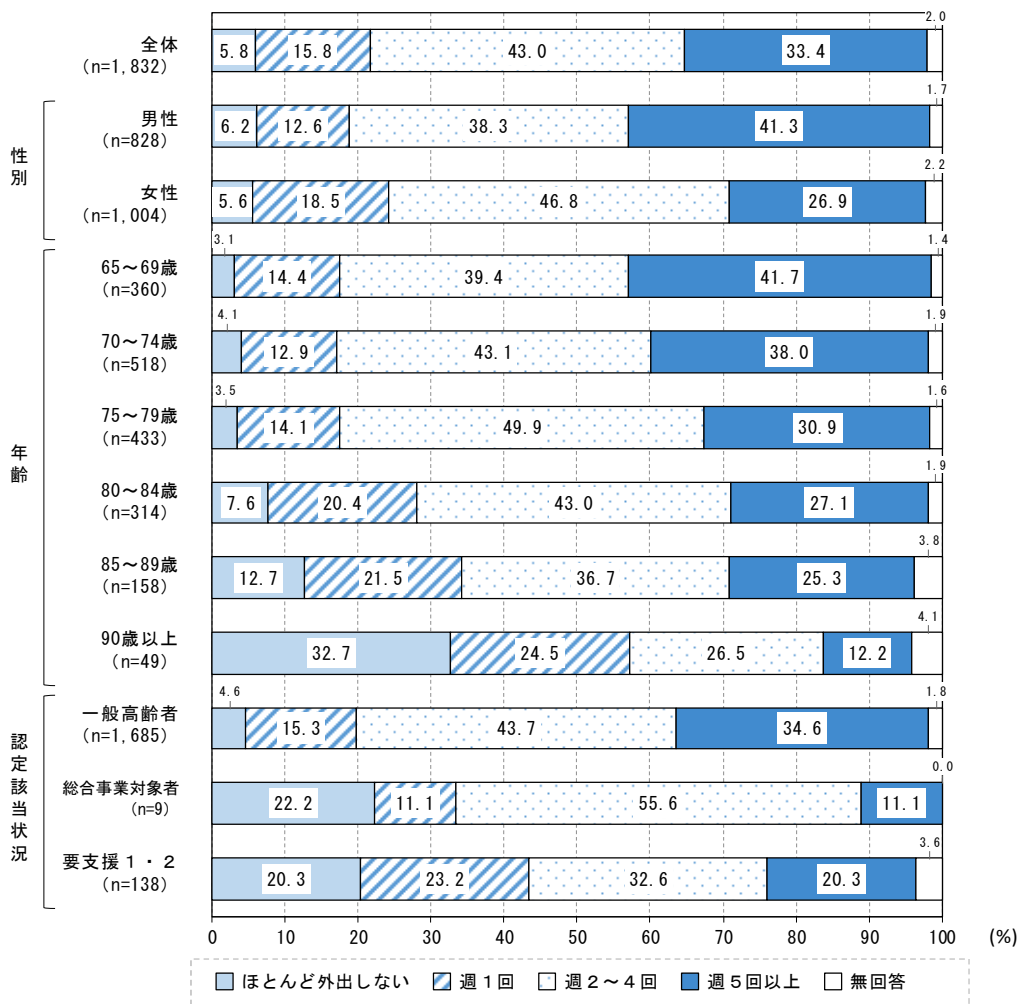
## (2) 外出の状況

### ① 外出の頻度

#### ●問2.6 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ)

- 外出頻度について、「週2～4回」が43.0%で最も多く、次いで「週5回以上」が33.4%、「週1回」が15.8%となっています。
- 前回調査との比較では、「ほとんど外出しない」が前回調査(5.2%)と比べて0.6ポイント増加しています。また、「週5回以上」が前回調査(37.8%)と比べて4.4ポイント低下しています。
- 年齢についてみると、90歳以上では「ほとんど外出しない」が32.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【図表 2-8 外出頻度】



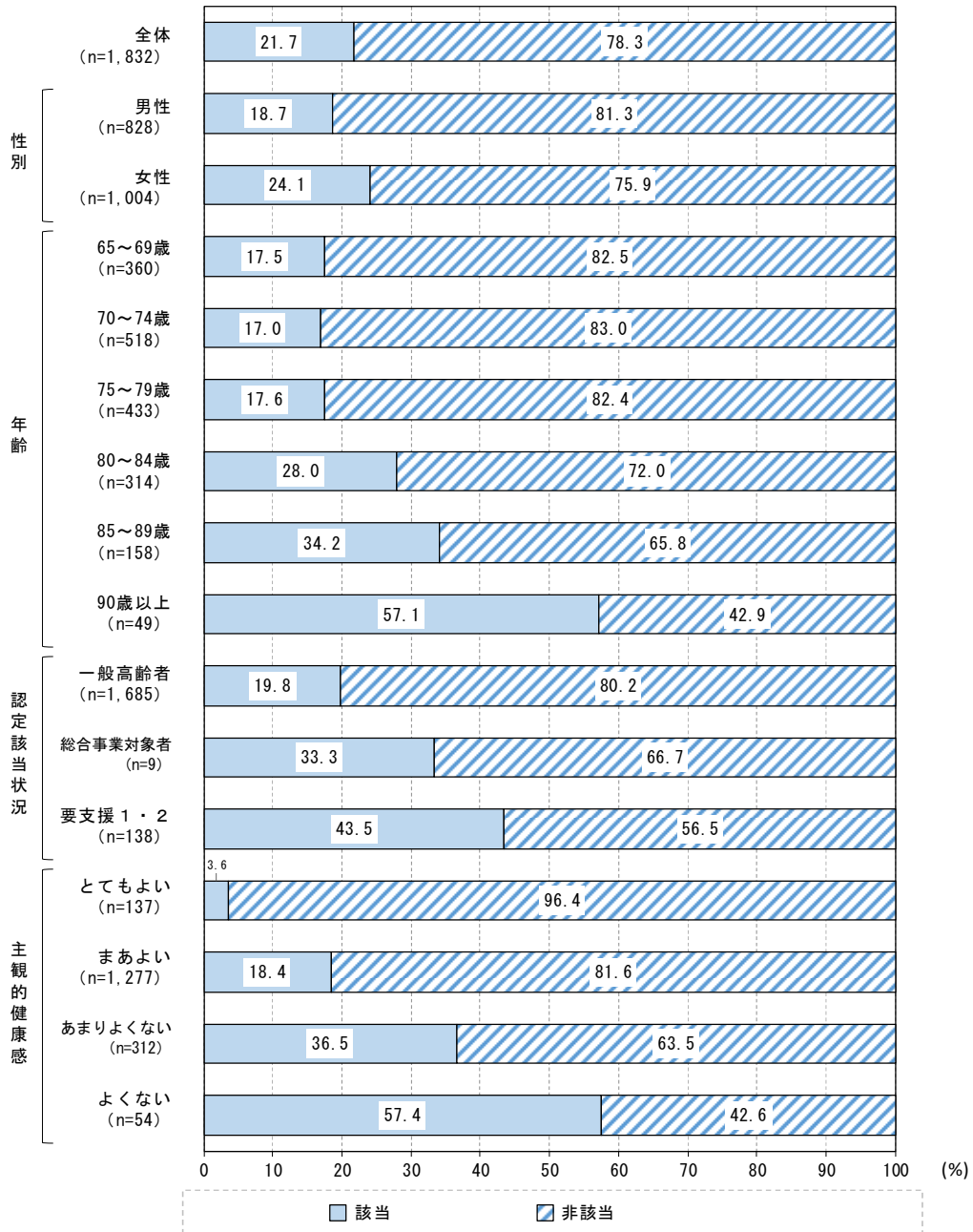
## ◆閉じこもりのリスクの判定

### ●閉じこもりのリスク

- 閉じこもりのリスクについて、リスクに「該当」する方が 21.7%となっています。
- 前回調査との比較では、リスクに「該当」する方が前回調査（18.1%）と比べて 3.6 ポイント増加しています。
- 性別についてみると、女性ではリスクに「該当」する方が 24.1%と男性に比べて多くなっています。
- 年齢が高いほどリスクに「該当」する方の割合が多くなる傾向がみられます。特に 90 歳以上ではリスクに「該当」する方の割合が 57.1%と半数以上になっています。
- 認定該当状況についてみると、総合事業対象者、要支援 1・2 ではリスクに「該当」する方が一般高齢者に比べて多くなっています。
- 主観的健康感についてみると、主観的健康観が悪いほどリスクに「該当」する方の割合が多くなる傾向がみられます。



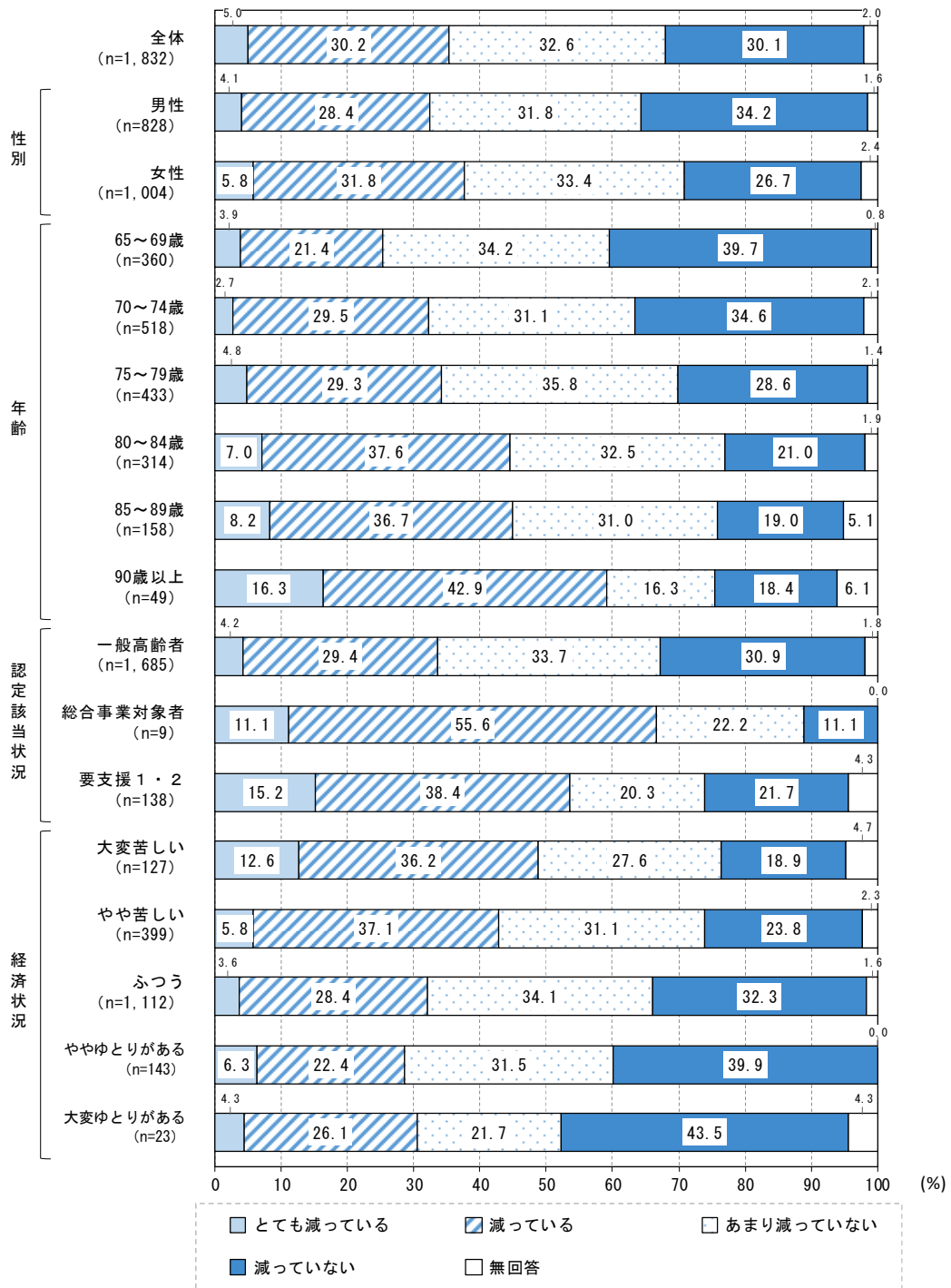
【図表 2-9 閉じこもりのリスク】



●問2.7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ)

- 昨年と比べた外出の回数について、「あまり減っていない」が32.6%で最も多く、次いで「減っている」が30.2%、「減っていない」が30.1%となっています。「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている方”は35.2%となっています。
- 前回調査との比較では、昨年と比べた外出の回数について、“減っている方”は前回調査(25.6%)と比べて9.6ポイント増加しています。
- 年齢についてみると、年齢が高いほど“減っている方”の割合が多くなる傾向がみられます。特に90歳以上では「とても減っている」は16.3%と80～84歳に比べて約2倍となっています。
- 経済状況についてみると、経済的にゆとりがあるほど「減っていない」の割合が多くなっています。

【図表 2-10 昨年と比べた外出の回数】

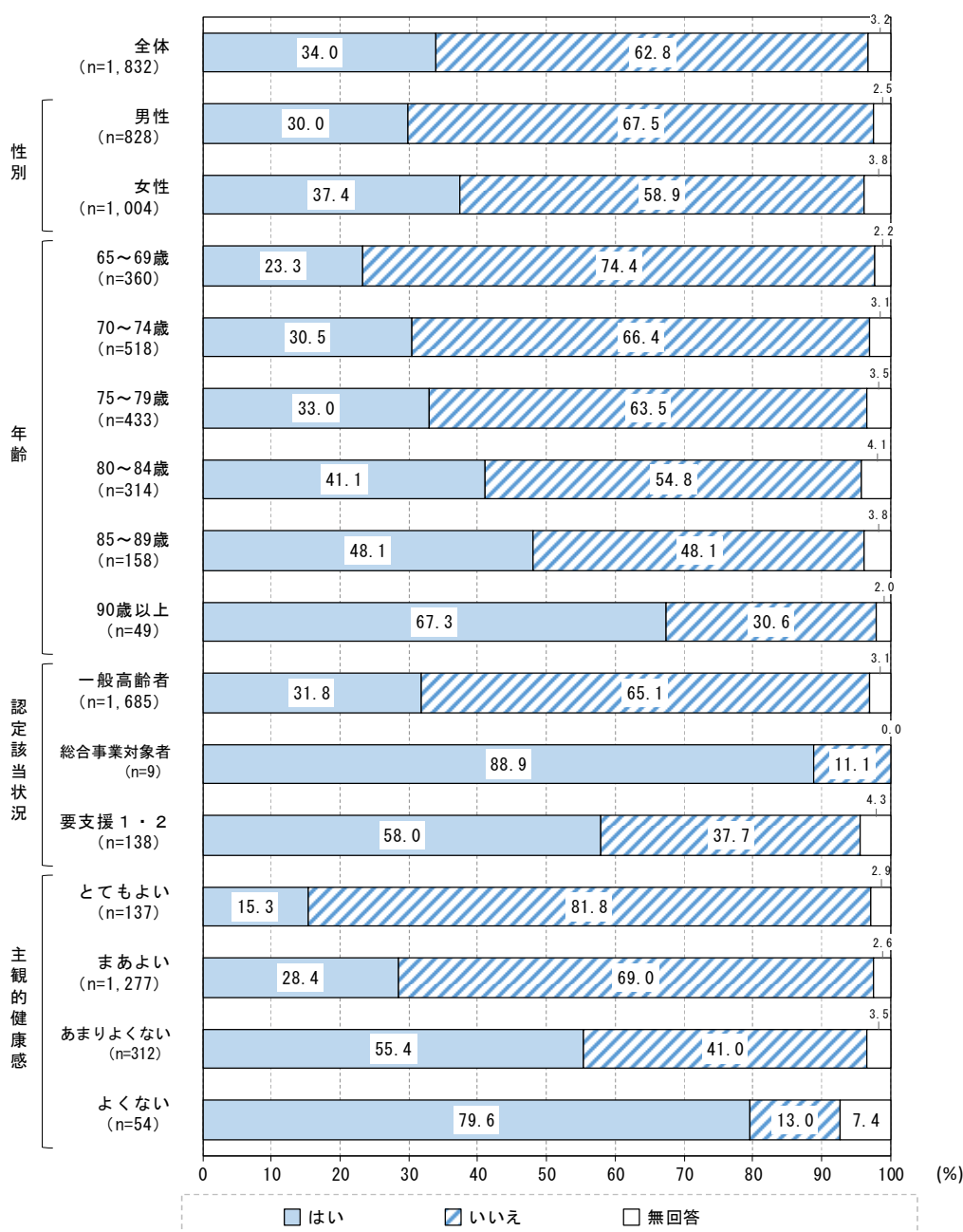


## ② 外出を控えているか

### ●問2.8 外出を控えていますか。(1つだけ)

- 外出を控えているかについて、「はい」が34.0%、「いいえ」が62.8%となっています。
- 前回調査との比較では、「はい」が前回調査(20.1%)と比べて13.9ポイント増加しています。
- 性別についてみると、「はい」は女性が37.4%と男性の30.0%に比べて多くなっています。
- 年齢についてみると、年齢が高いほど「はい」が多くなる傾向がみられます。特に90歳以上では67.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 主観的健康感についてみると、主観的健康感が悪いほど、「はい」の割合が多くなっています。

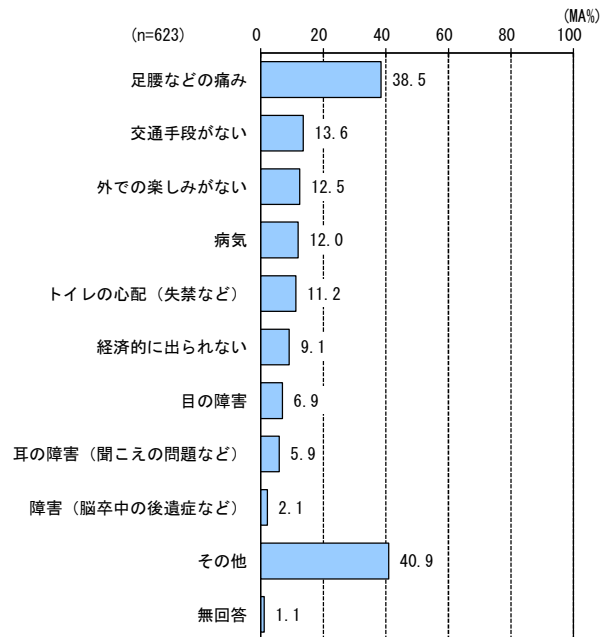
【図表 2-11 外出を控えているか】



●問2.8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

- 外出を控えている理由について、「その他」(40.9%)を除くと、「足腰などの痛み」が38.5%と最も多く、次いで「交通手段がない」が13.6%となっています。
- 「その他」の内訳として、「コロナウイルス」を理由とした回答が多くなっています。
- 年齢についてみると、85歳以上では「足腰の痛み」が約6割と他の区分に比べて多くなっています。そのほか、85～89歳では「交通手段がない」が26.3%、90歳以上では「耳の障害(聞こえの問題など)」が33.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 家族構成についてみると、1人暮らしでは「交通手段がない」が25.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【図表 2-12 外出を控えている理由(MA)】



単位：％

		母数 (n)	外出を控えている理由(MA)					目の 障害
			病 気	(障 害 後 遺 症 中 の 脳 卒 中 の 後 遺 症 な ど)	足 腰 な ど の 痛 み	(ト イ レ の 心 配 な ど)	(耳 の 障 害 問 題 こ え の な ど)	
全体		623	12.0	2.1	38.5	11.2	5.9	6.9
性別	男性	248	12.9	3.2	36.3	14.9	5.6	6.9
	女性	375	11.5	1.3	40.0	8.8	6.1	6.9
年齢	65～69歳	84	15.5	1.2	▼ 21.4	8.3	2.4	3.6
	70～74歳	158	15.8	1.9	▼ 27.8	8.2	1.9	3.8
	75～79歳	143	9.8	2.8	36.4	10.5	2.1	5.6
	80～84歳	129	10.1	2.3	48.1	14.7	6.2	7.8
	85～89歳	76	10.5	2.6	△ 59.2	15.8	13.2	11.8
	90歳以上	33	6.1	-	△ 57.6	12.1	△ 33.3	△ 21.2
認定該当 状況	一般高齢者	535	11.2	1.5	34.2	10.8	4.1	5.6
	総合事業対象者	8	△ 37.5	-	△ 50.0	12.5	△ 25.0	△ 37.5
	要支援1・2	80	15.0	6.3	△ 66.3	13.8	△ 16.3	12.5
家族構成	1人暮らし	105	13.3	5.7	46.7	13.3	10.5	6.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	267	13.1	0.7	29.6	11.6	4.1	4.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	15	13.3	-	40.0	13.3	13.3	-
	息子・娘との2世帯	129	8.5	3.1	47.3	11.6	4.7	7.0
	その他	97	12.4	1.0	40.2	7.2	4.1	12.4

単位：％

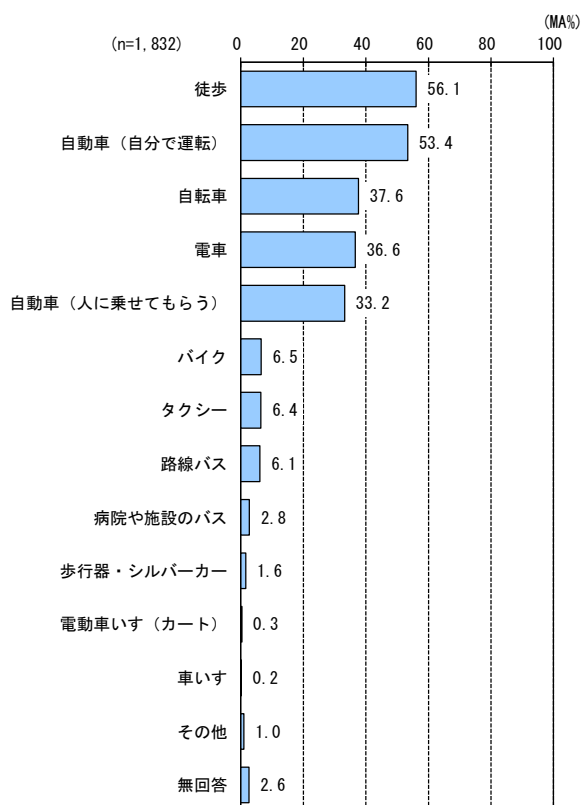
		母数 (n)	外出を控えている理由(MA)				
			楽 外 し で の み が な い	出 経 ら 濟 れ 的 な い	交 通 手 段 が な い	そ の 他	無 回 答
全体		623	12.5	9.1	13.6	40.9	1.1
性別	男性	248	12.9	7.7	12.9	37.5	0.8
	女性	375	12.3	10.1	14.1	43.2	1.3
年齢	65～69歳	84	15.5	15.5	9.5	△ 53.6	1.2
	70～74歳	158	10.1	9.5	3.8	△ 58.2	0.6
	75～79歳	143	11.9	10.5	14.0	42.7	0.7
	80～84歳	129	15.5	8.5	19.4	▼ 28.7	0.8
	85～89歳	76	13.2	2.6	△ 26.3	▼ 14.5	2.6
	90歳以上	33	6.1	3.0	18.2	▼ 27.3	3.0
認定該当 状況	一般高齢者	535	13.3	9.9	11.8	45.0	1.3
	総合事業対象者	8	-	12.5	△ 25.0	▼ 25.0	-
	要支援1・2	80	8.8	3.8	△ 25.0	▼ 15.0	-
家族構成	1人暮らし	105	13.3	11.4	△ 25.7	▼ 24.8	3.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	267	9.4	8.6	7.9	49.1	0.4
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	15	20.0	-	6.7	▼ 20.0	-
	息子・娘との2世帯	129	15.5	6.2	17.1	41.1	-
	その他	97	14.4	13.4	14.4	42.3	2.1

### ③ 外出の際の移動手段

#### ●問2.9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

- 外出する際の移動手段について、「徒歩」が 56.1%で最も多く、次いで「自動車（自分で運転）」が 53.4%、「自転車」が 37.6%となっています。
- 年齢についてみると、90 歳以上では「徒歩」が 36.7%と他の区分に比べて少なくなっています。また、「自動車（人に乗せてもらう）」が 51.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 年齢が高いほど「タクシー」の割合が多くなる傾向がみられます。
- 認定該当状況についてみると、総合事業対象者・要支援 1・2 では「自動車（人に乗せてもらう）」が一般高齢者に比べて多くなっています。
- 家族構成についてみると、1 人暮らしでは「電車」が 42.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【図表 2-13 外出する際の移動手段(MA)】



単位：%

		母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)						路線バス
			徒歩	自転車	バイク	(自動車 自分で運転)	(自動車 もらに乗せて)	電車	
全体		1,832	56.1	37.6	6.5	53.4	33.2	36.6	6.1
性別	男性	828	55.7	38.3	5.7	△ 69.3	▼ 20.3	33.9	4.6
	女性	1,004	56.5	37.1	7.2	▼ 40.2	△ 43.9	38.7	7.3
年齢	65～69歳	360	53.6	34.4	6.9	△ 71.1	29.7	32.5	3.3
	70～74歳	518	58.3	37.5	8.3	60.4	30.7	40.9	4.2
	75～79歳	433	61.0	45.7	7.9	51.7	33.3	40.9	6.0
	80～84歳	314	56.1	36.3	2.9	43.9	34.4	33.1	9.2
	85～89歳	158	47.5	32.3	4.4	▼ 25.3	41.8	30.4	10.1
	90歳以上	49	▼ 36.7	▼ 16.3	2.0	▼ 14.3	△ 51.0	▼ 24.5	12.2
認定該当 状況	一般高齢者	1,685	57.8	39.6	6.8	56.4	31.4	37.6	5.6
	総合事業対象者	9	▼ 44.4	-	-	▼ 11.1	△ 66.7	▼ 22.2	11.1
	要支援1・2	138	▼ 36.2	▼ 15.9	2.9	▼ 18.8	△ 53.6	▼ 24.6	10.9
家族構成	1人暮らし	285	52.3	39.3	6.3	▼ 39.3	▼ 22.1	42.1	6.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	809	60.7	39.3	6.4	59.7	33.4	39.2	4.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	83	56.6	32.5	6.0	△ 72.3	▼ 21.7	34.9	1.2
	息子・娘との2世帯	355	52.4	37.5	5.9	50.4	39.7	34.6	8.7
	その他	264	54.5	34.1	8.0	51.1	39.8	28.4	8.0

単位：%

		母数 (n)	外出する際の移動手段(MA)						無回答
			バス 院や 施設の	車 い す	(電動 車い す カー ト)	シ 歩 ル 行 器 ・ カ ー	タ ク シ ー	そ の 他	
全体		1,832	2.8	0.2	0.3	1.6	6.4	1.0	2.6
性別	男性	828	1.7	0.1	0.4	0.8	5.2	0.7	2.3
	女性	1,004	3.7	0.2	0.2	2.3	7.5	1.2	2.9
年齢	65～69歳	360	1.7	-	-	0.6	3.6	0.3	1.7
	70～74歳	518	1.5	-	-	0.4	4.1	0.4	2.1
	75～79歳	433	3.5	-	0.5	1.2	5.5	1.2	1.8
	80～84歳	314	2.5	0.6	0.3	1.9	8.9	1.6	3.2
	85～89歳	158	3.8	0.6	-	5.1	15.2	1.9	7.0
	90歳以上	49	△ 16.3	-	4.1	△ 14.3	16.3	4.1	4.1
認定該当 状況	一般高齢者	1,685	2.0	0.1	0.1	0.8	5.5	0.9	2.3
	総合事業対象者	9	△ 22.2	-	△ 11.1	11.1	11.1	△ 11.1	11.1
	要支援1・2	138	11.6	1.4	2.2	△ 11.6	△ 18.1	1.4	6.5
家族構成	1人暮らし	285	4.9	-	1.1	3.5	9.5	2.1	3.9
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	809	2.2	0.1	0.2	0.6	5.4	0.2	2.3
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	83	-	-	-	2.4	-	1.2	1.2
	息子・娘との2世帯	355	3.7	-	-	2.0	7.6	1.1	2.3
	その他	264	2.3	0.4	-	2.3	6.4	1.1	2.3



## 5. 食べることについて

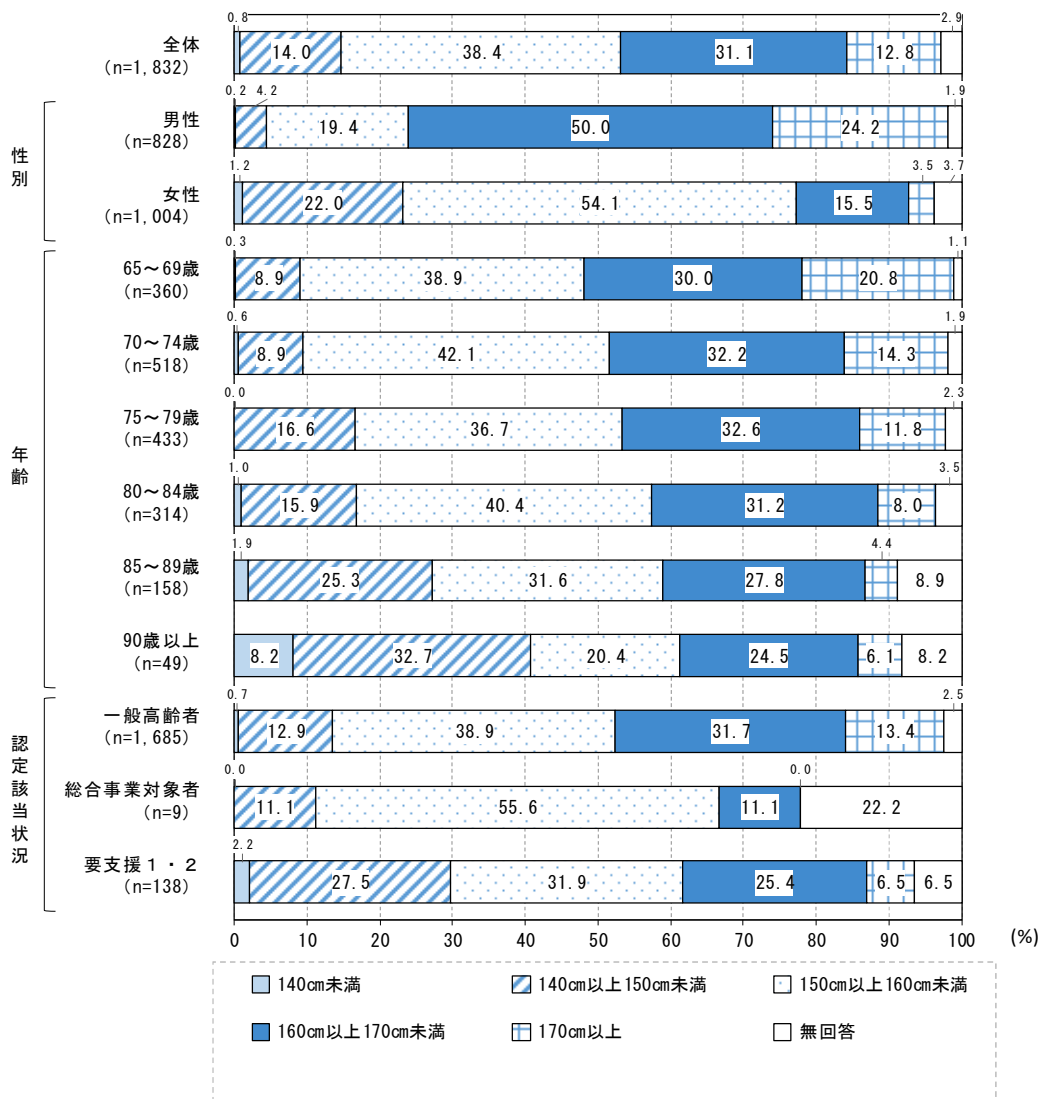
### (1) 身長・体重・BMI

#### ① 身長

##### ●問3.1 身長（数字で記入）

○身長について、「150cm以上160cm未満」が38.4%で最も多く、次いで「160cm以上170cm未満」が31.1%、「140cm以上150cm未満」が14.0%となっています。

【図表 3-1 身長】

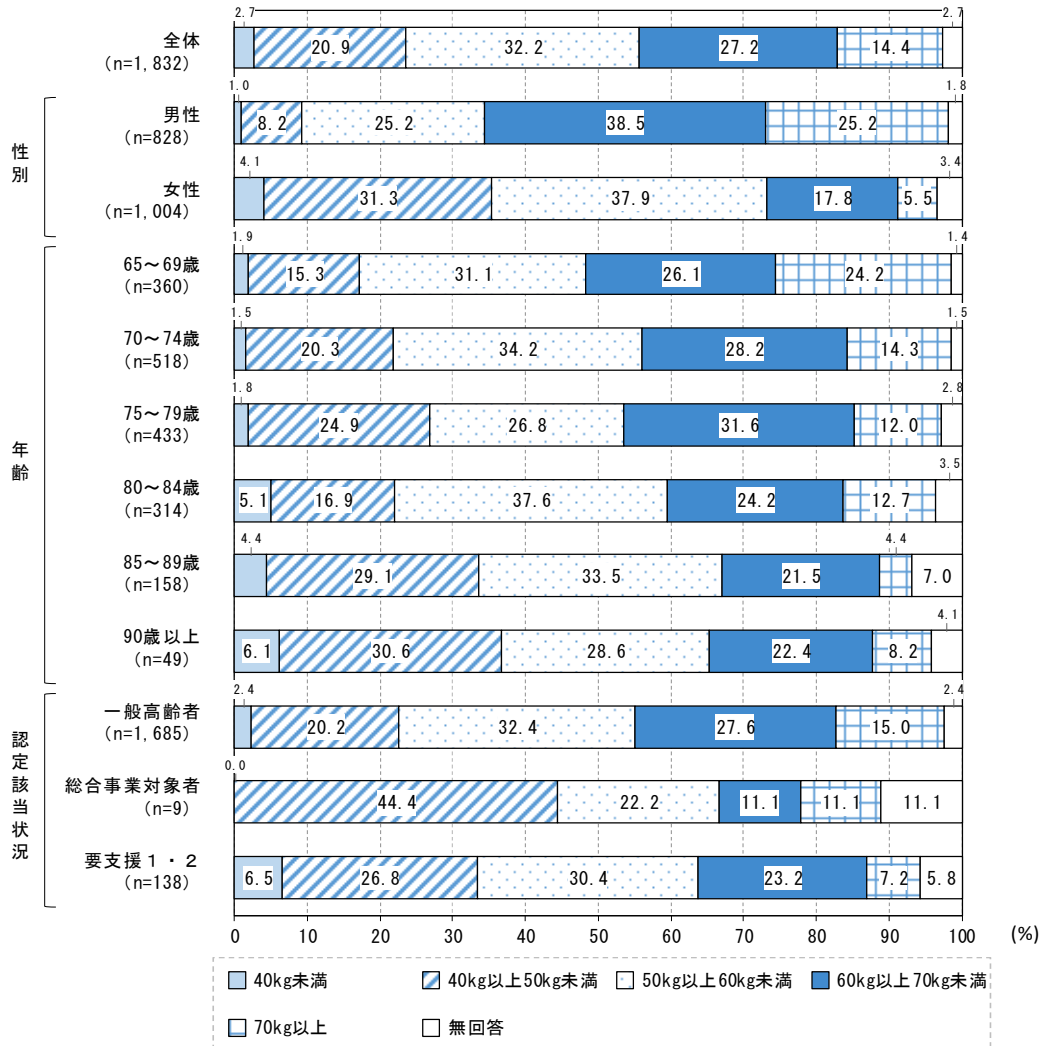


## ② 体重

### ●問3.1 体重（数字で記入）

○体重について、「50kg以上60kg未満」が32.2%で最も多く、次いで「60kg以上70kg未満」が27.2%、「40kg以上50kg未満」が20.9%となっています。

【図表 3-2 体重】

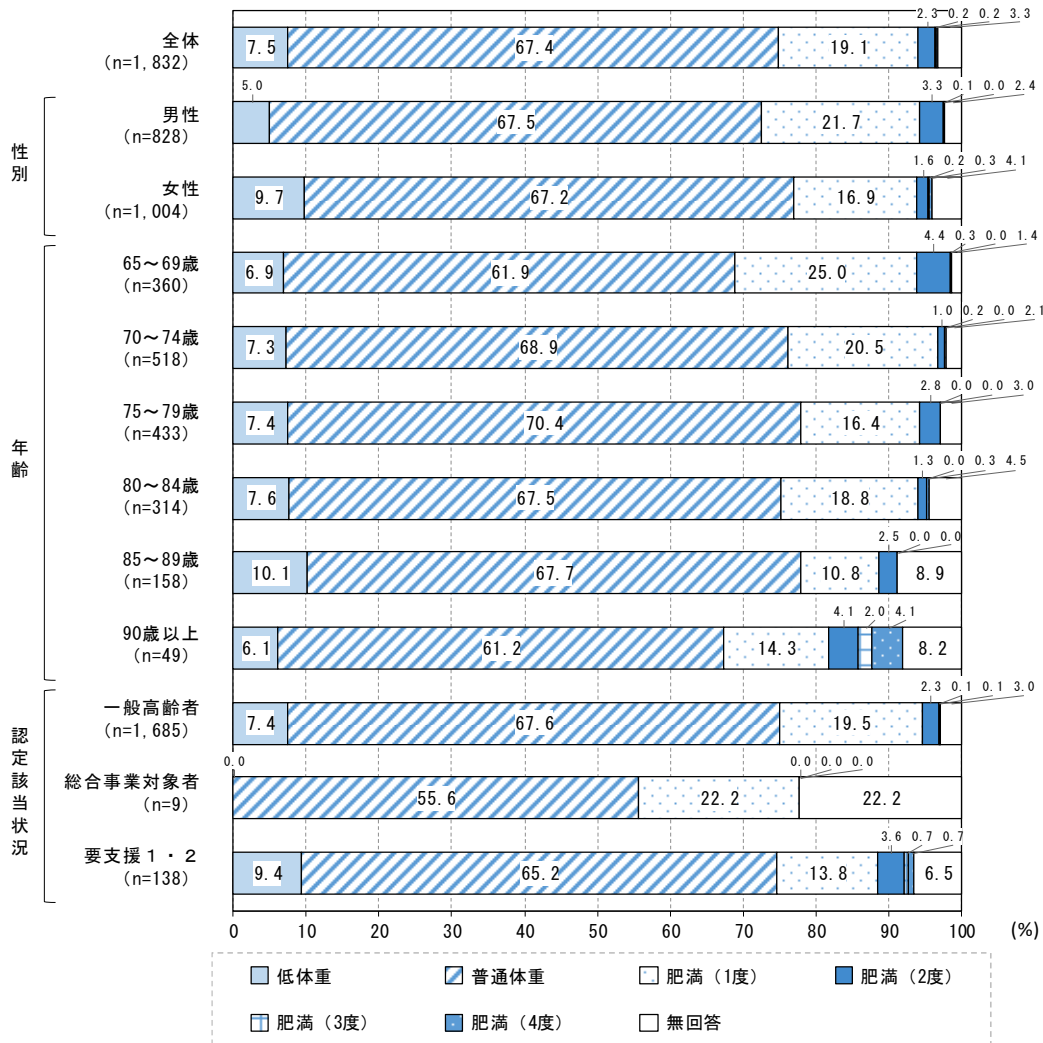


### ③ BMI

#### ●問3.1 BMI (体重 (kg) ÷身長 (m) ÷身長 (m) で計算)

- BMI について、「普通体重」が 67.4%で最も多く、次いで「肥満 (1 度)」が 19.1%、「低体重」が 7.5%となっています。
- 前回調査との比較では、「低体重」が前回調査 (6.4%) と比べて 1.1 ポイント増加しています。

【図表 3-3 BMI】



※BMI について：区分分けについて、以下の通り計算した。

低体重：BMI18.5 未満

普通体重：BMI18.5~25 未満

肥満 (1 度)：BMI25~30 未満

肥満 (2 度)：BMI30~35 未満

肥満 (3 度)：BMI35~40 未満

肥満 (4 度)：BMI40 以上

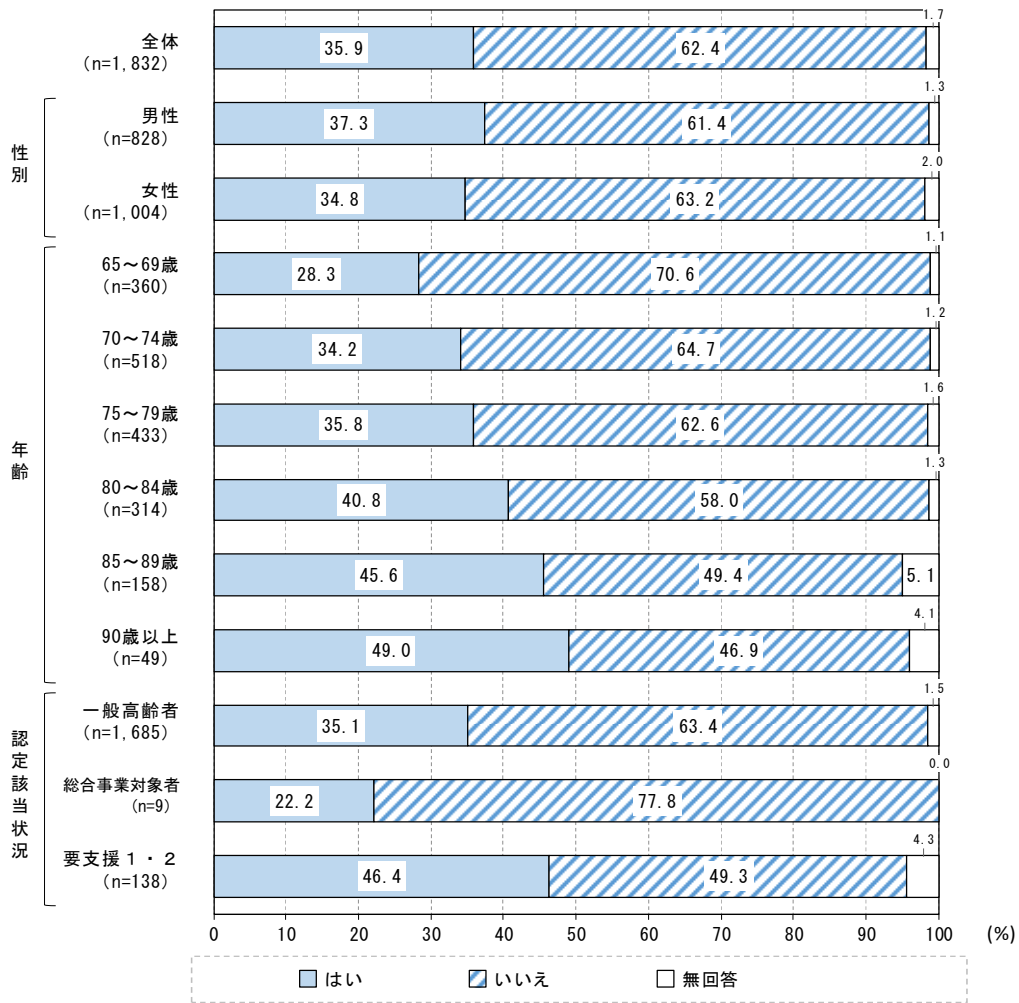
(2) 口腔

① 口腔内の健康状態

●問3.2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ)

- 半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が 35.9%、「いいえ」が 62.4%となっています。
- 前回調査との比較では、「はい」が前回調査 (34.0%) と比べて 1.9 ポイント増加しています。

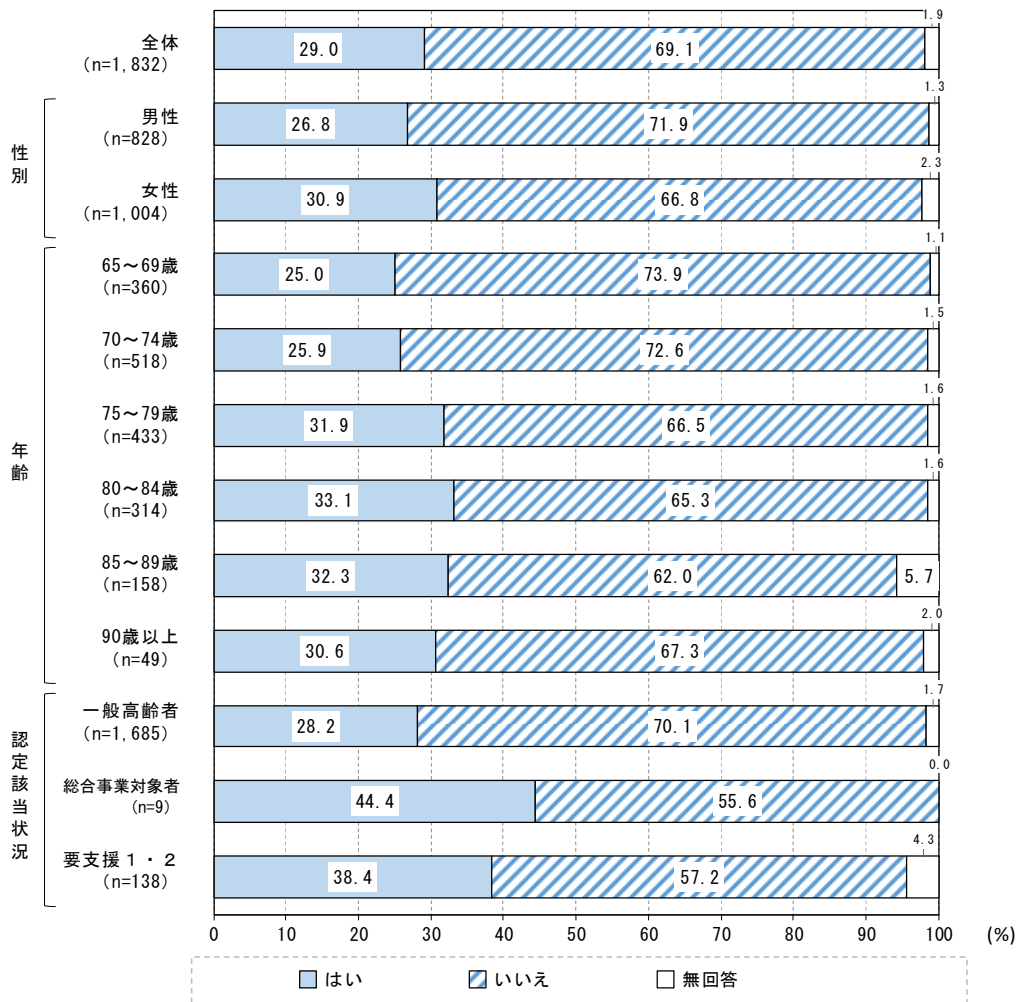
【図表 3-4 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか】



●問3.3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ)

- お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が29.0%、「いいえ」が69.1%となっています。
- 前回調査との比較では、「はい」が前回調査(25.2%)と比べて3.8ポイント増加しています。

【図表 3-5 お茶や汁物等でむせることがあるか】

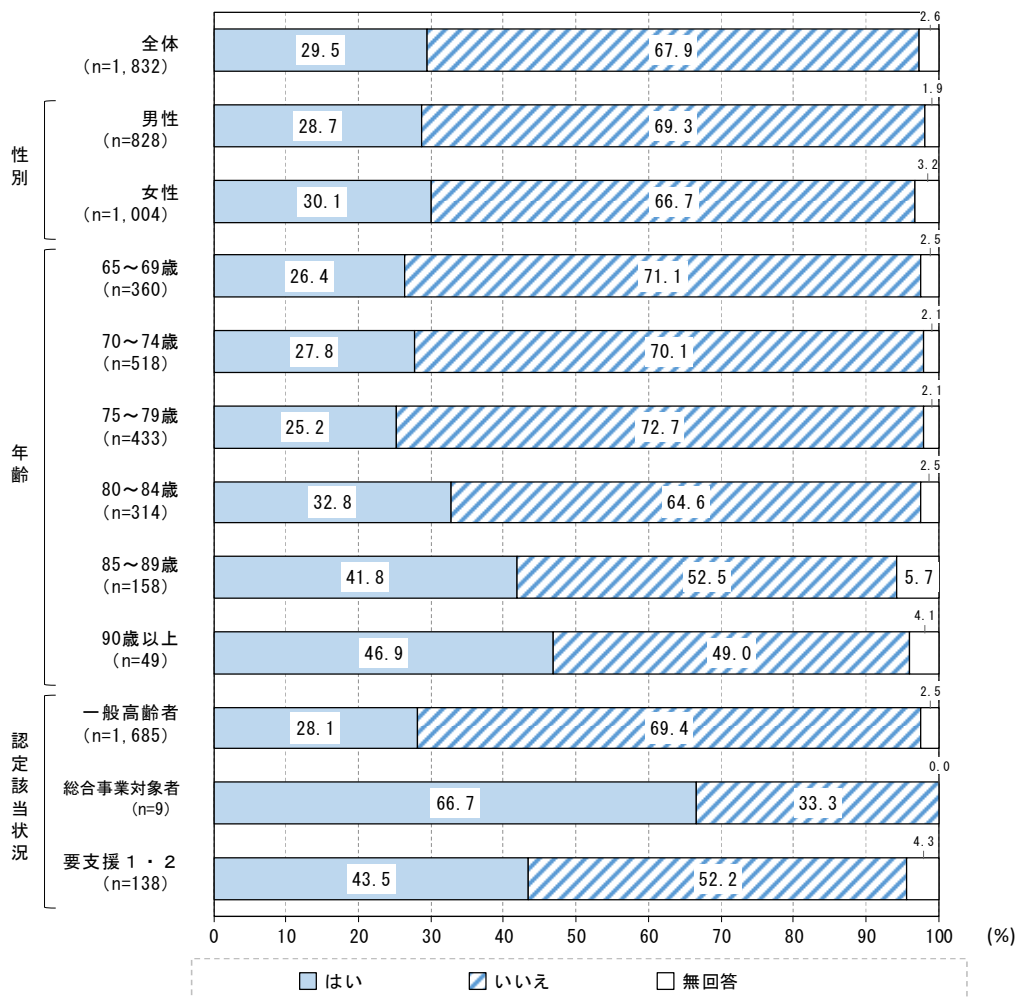


●問3.4 口の渇きが気になりますか。(1つだけ)

○口の渇きが気になるかについて、「はい」が29.5%、「いいえ」が67.9%となっています。

○前回調査との比較では、「はい」が前回調査(27.0%)と比べて2.5ポイント増加しています。

【図表 3-6 口の渇きが気になるか】

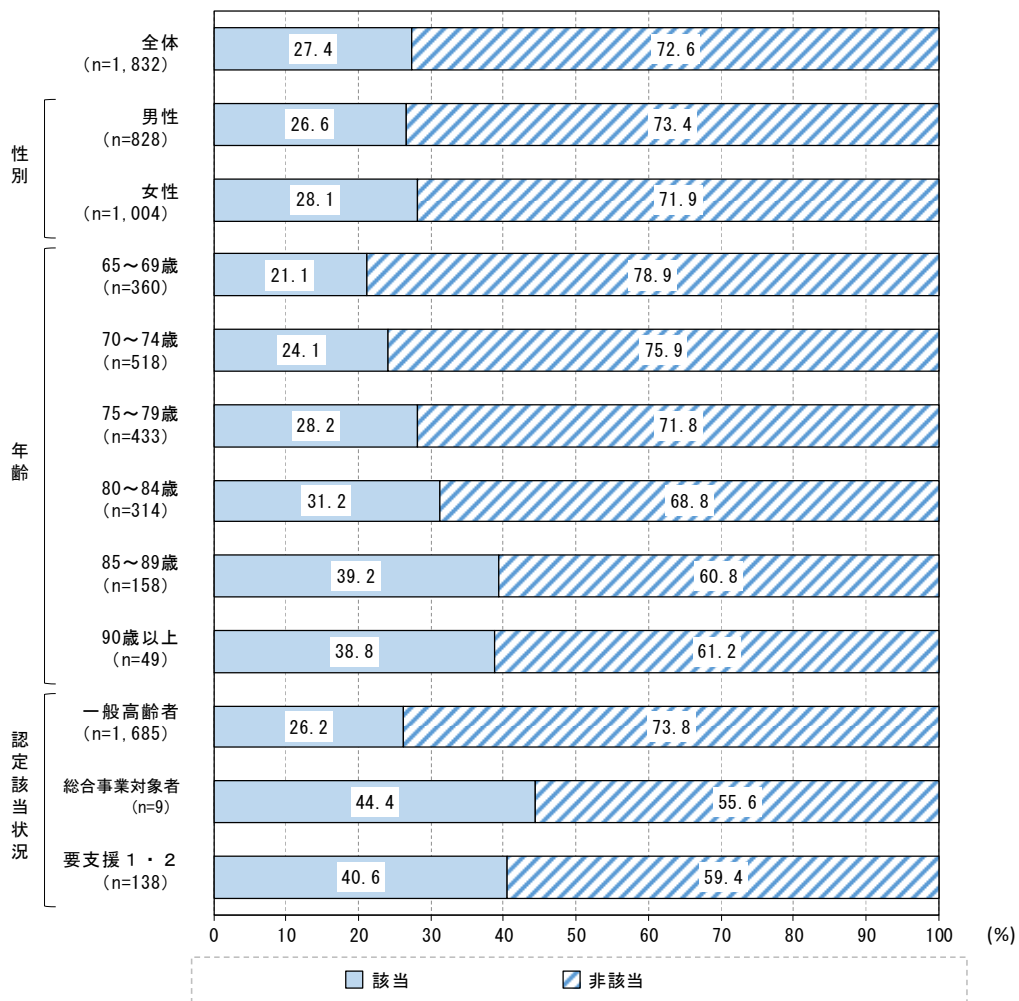


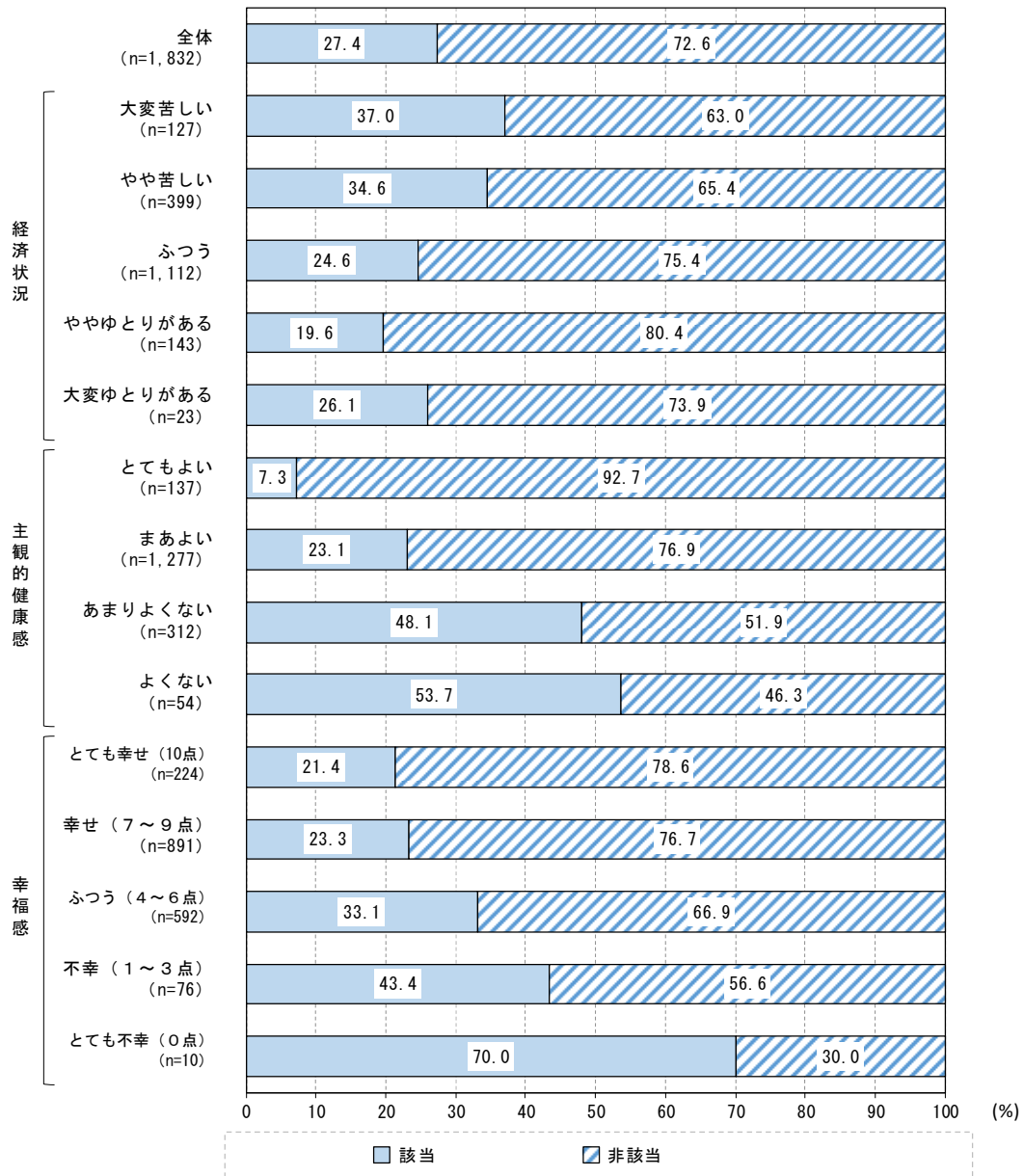
## ◆口腔機能の低下リスクの判定

### ●口腔機能の低下リスク

- 口腔機能の低下リスクについて、リスクに「該当」する方が27.4%となっています。
- 前回調査との比較では、リスクに「該当」する方が前回調査（24.5%）と比べて2.9ポイント増加しています。
- 年齢についてみると、年齢が高いほどリスクに「該当」する方が多くなる傾向がみられます。
- 85歳以上ではリスクに「該当」する方が約4割と65～69歳に比べて2倍程度となっています。
- 主観的健康感についてみると、主観的健康感が良いほど、リスクに「該当」する方が少なくなる傾向がみられます。
- 幸福感についてみると、幸福感が良いほど、リスクに「該当」する方が少なくなる傾向がみられます。

【図表 3-7 口腔機能の低下リスク】







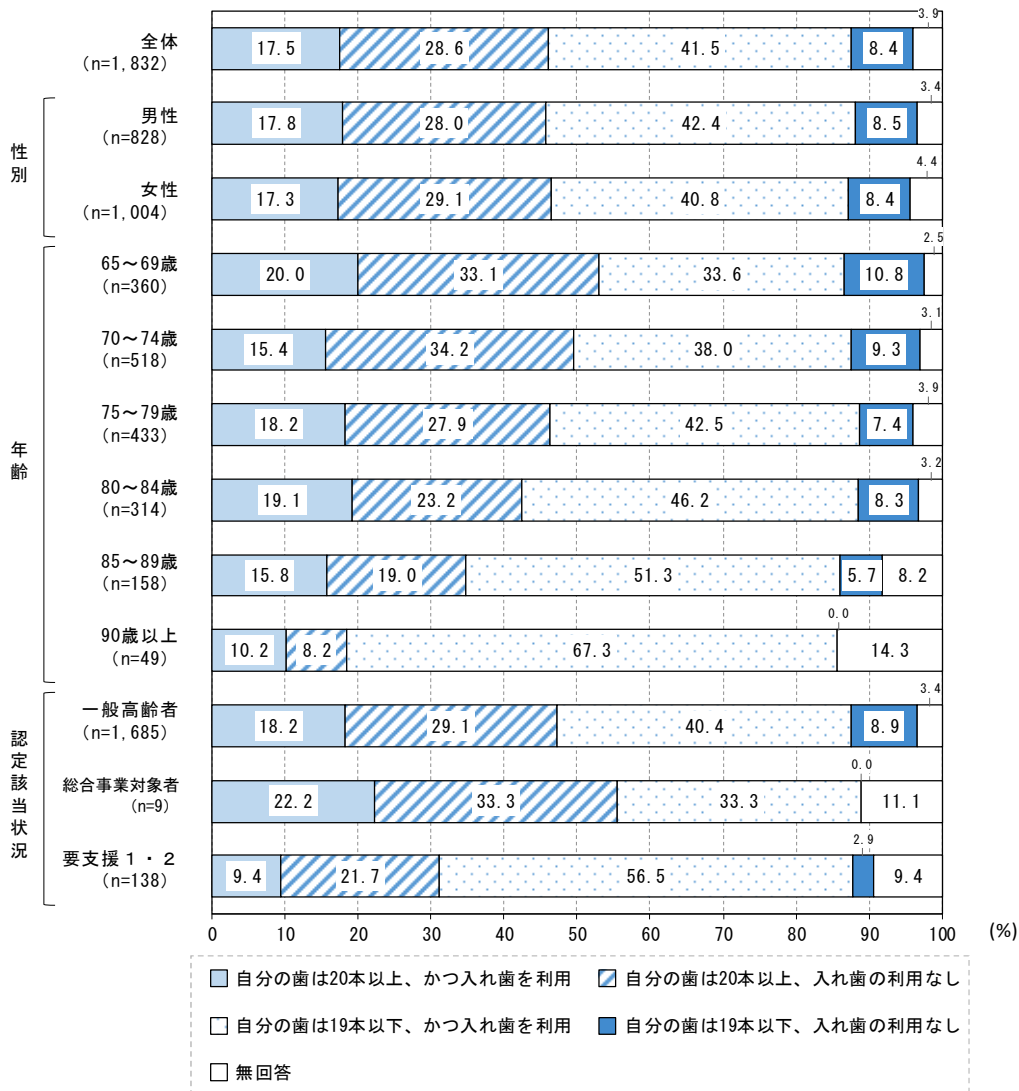
## ② 歯の状況

### ●問3.5 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つだけ)

○歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が41.5%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が28.6%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.5%となっています。「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を合わせた“入れ歯利用ありの方”は59.0%となっています。

○年齢についてみると、年齢が高いほど「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が多くなる傾向がみられます。

【図表 3-8 歯の数と入れ歯の利用状況】



### (3) 栄養

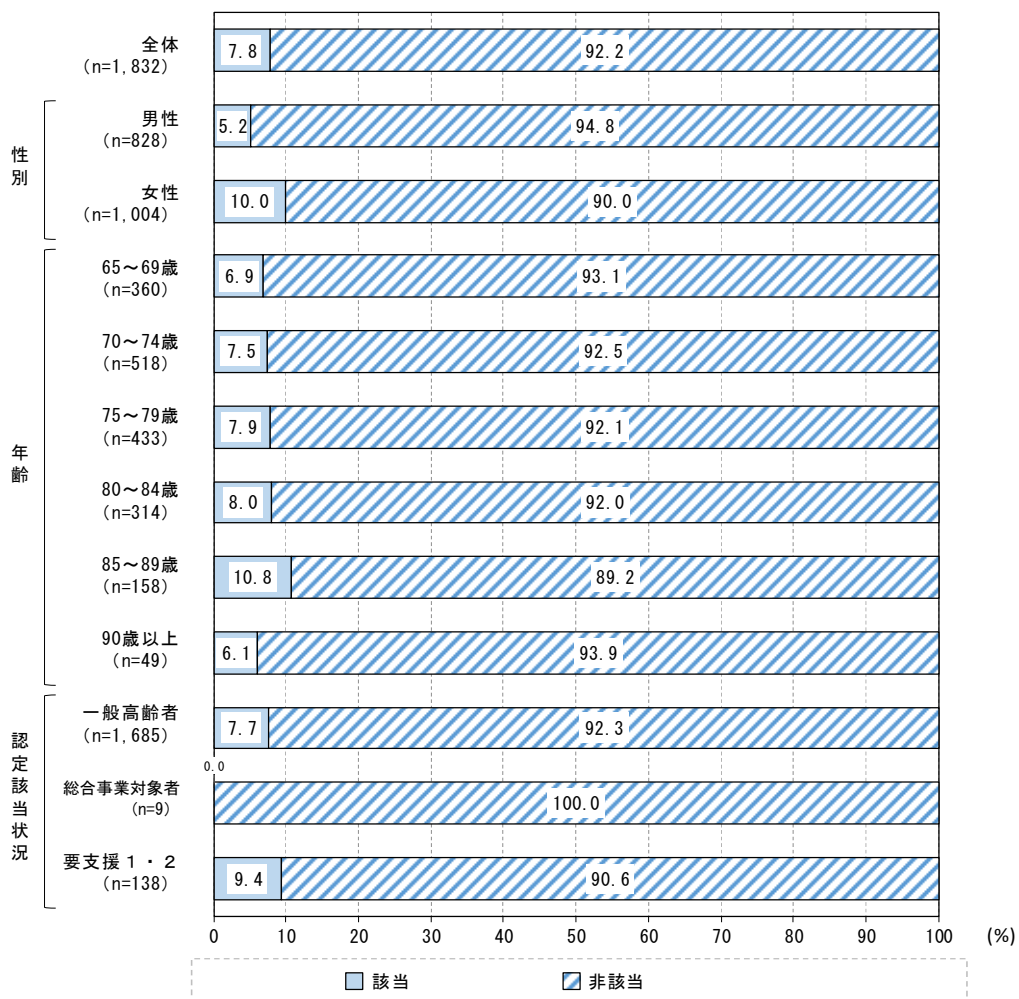
#### ① 体重の状況

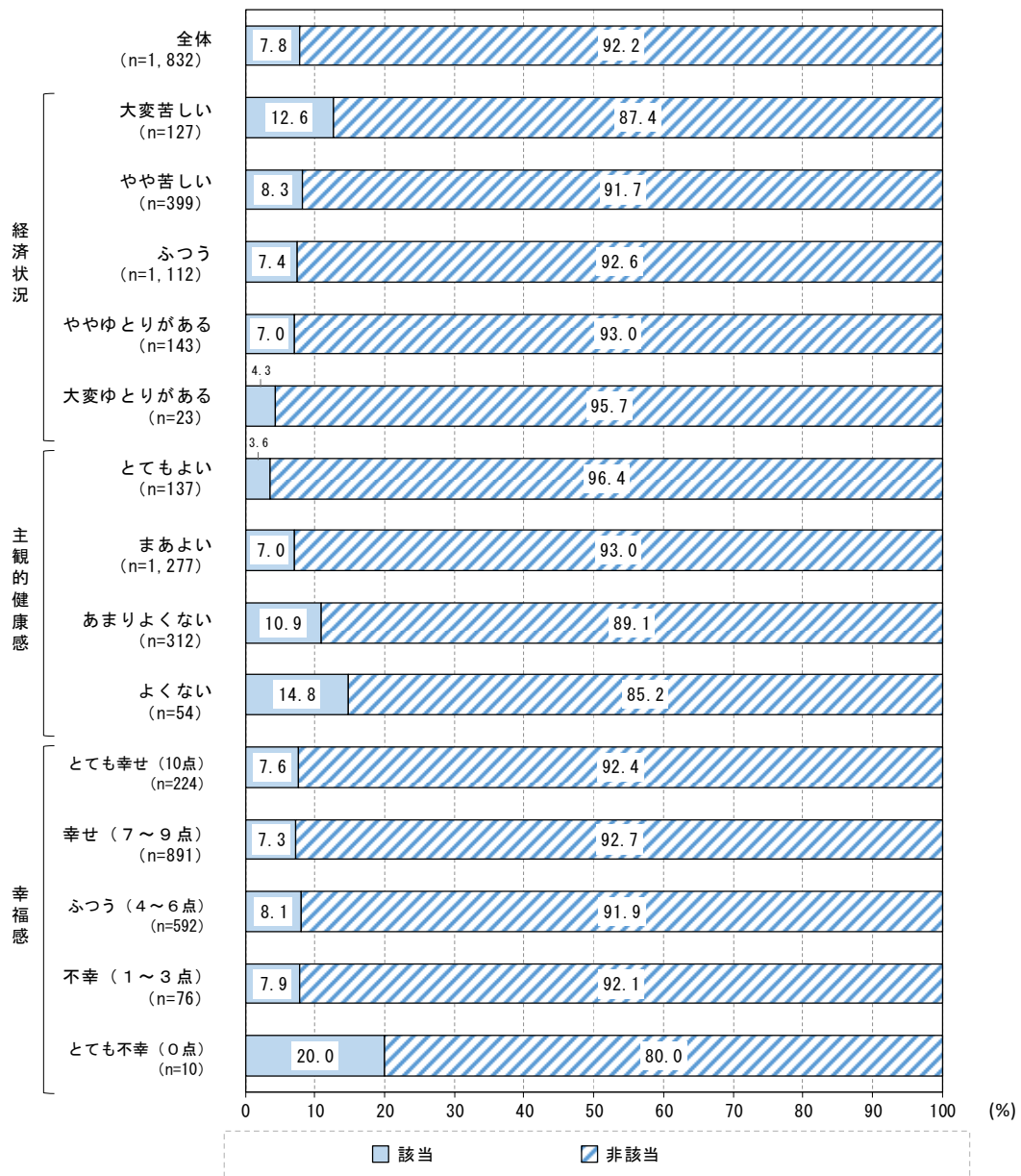
#### ◆栄養改善のリスクの判定

##### ●栄養改善のリスク

- 栄養改善のリスクについて、リスクに「該当」する方が7.8%となっています。
- 前回調査との比較では、栄養改善のリスクについてリスクに「該当」する方が前回調査(6.3%)と比べて1.5ポイント増加しています。
- 経済状況についてみると、経済的にゆとりがあるほどリスクに「該当」する方が少なくなる傾向がみられます。
- 主観的健康観についてみると、主観的健康感が良いほどリスクに「該当」する方が少なくなる傾向がみられます。
- 幸福感についてみると、幸福感が良いほどリスクに「該当」する方が少なくなる傾向がみられます。

【図表 3-9 栄養改善のリスク】



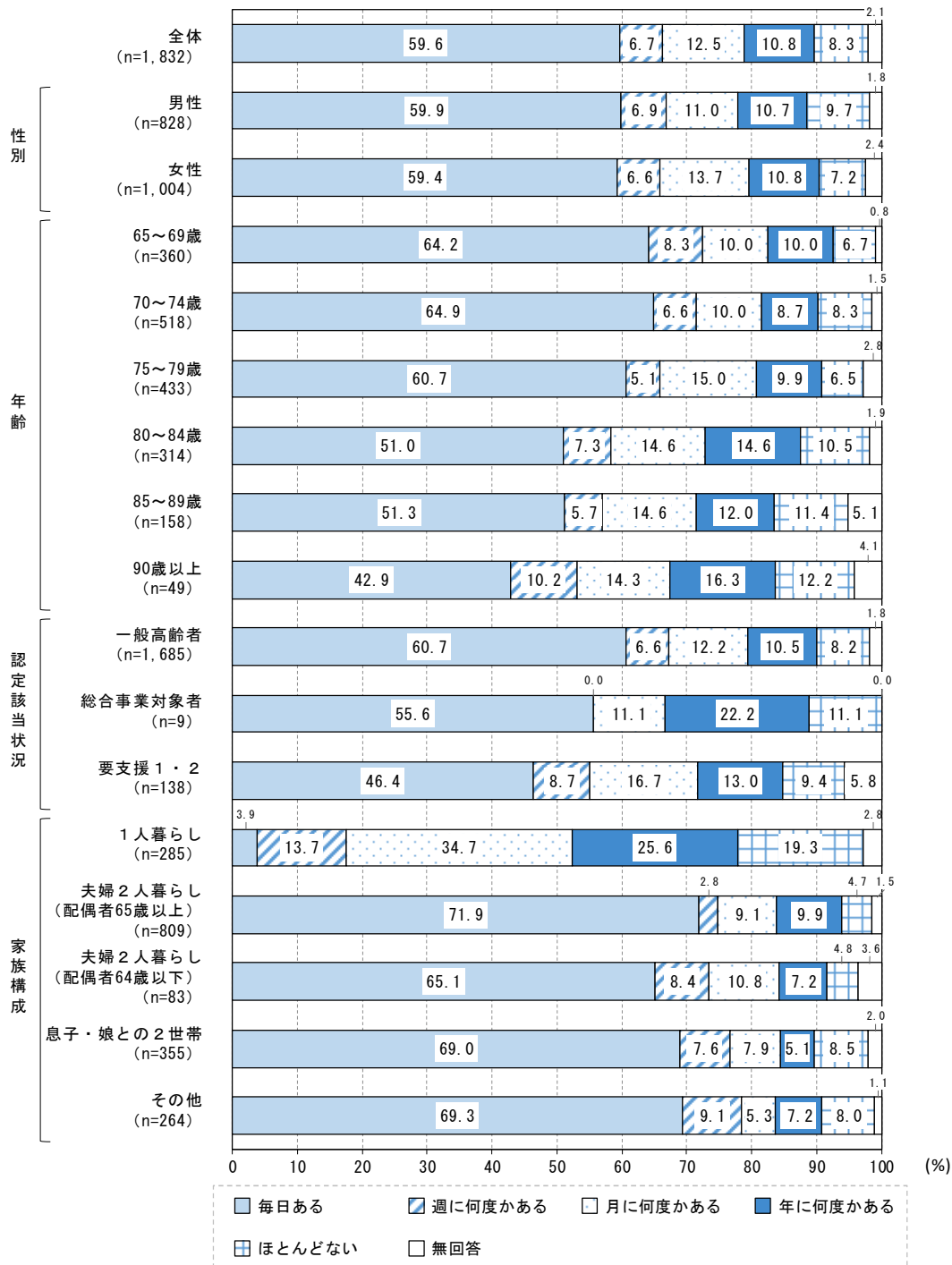


## ② 孤食の状況

### ●問3.6 どなたかと食事をともにする機会がありますか。(1つだけ)

- 共食の有無について、「毎日ある」が59.6%で最も多く、次いで「月に何度かある」が12.5%、「年に何度かある」が10.8%となっています。
- 認定該当状況についてみると、総合事業対象者、要支援1・2では「毎日ある」の割合が一般高齢者に比べて少なくなっています。
- 家族構成についてみると、1人暮らしでは「毎日ある」が3.9%と他の区分に比べて少なく、「ほとんどない」が19.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【図表 3-10 共食の有無】



## 6. 毎日の生活について

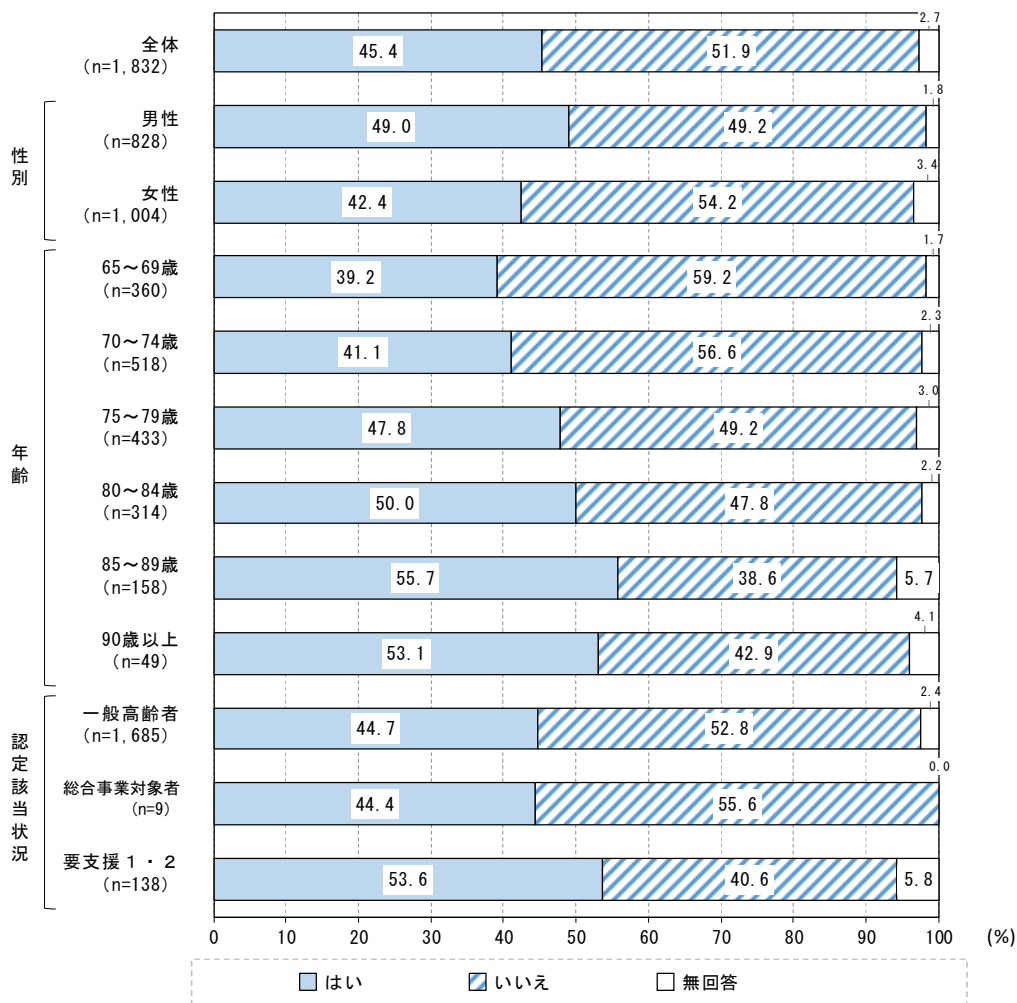
### (1) 物忘れ

#### ●問4.1 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ)

○物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が45.4%、「いいえ」が51.9%となっています。

○前回調査との比較では、「はい」は前回調査(45.4%)と同じ結果となっています。

【図表 4-1 物忘れが多いと感じるか】

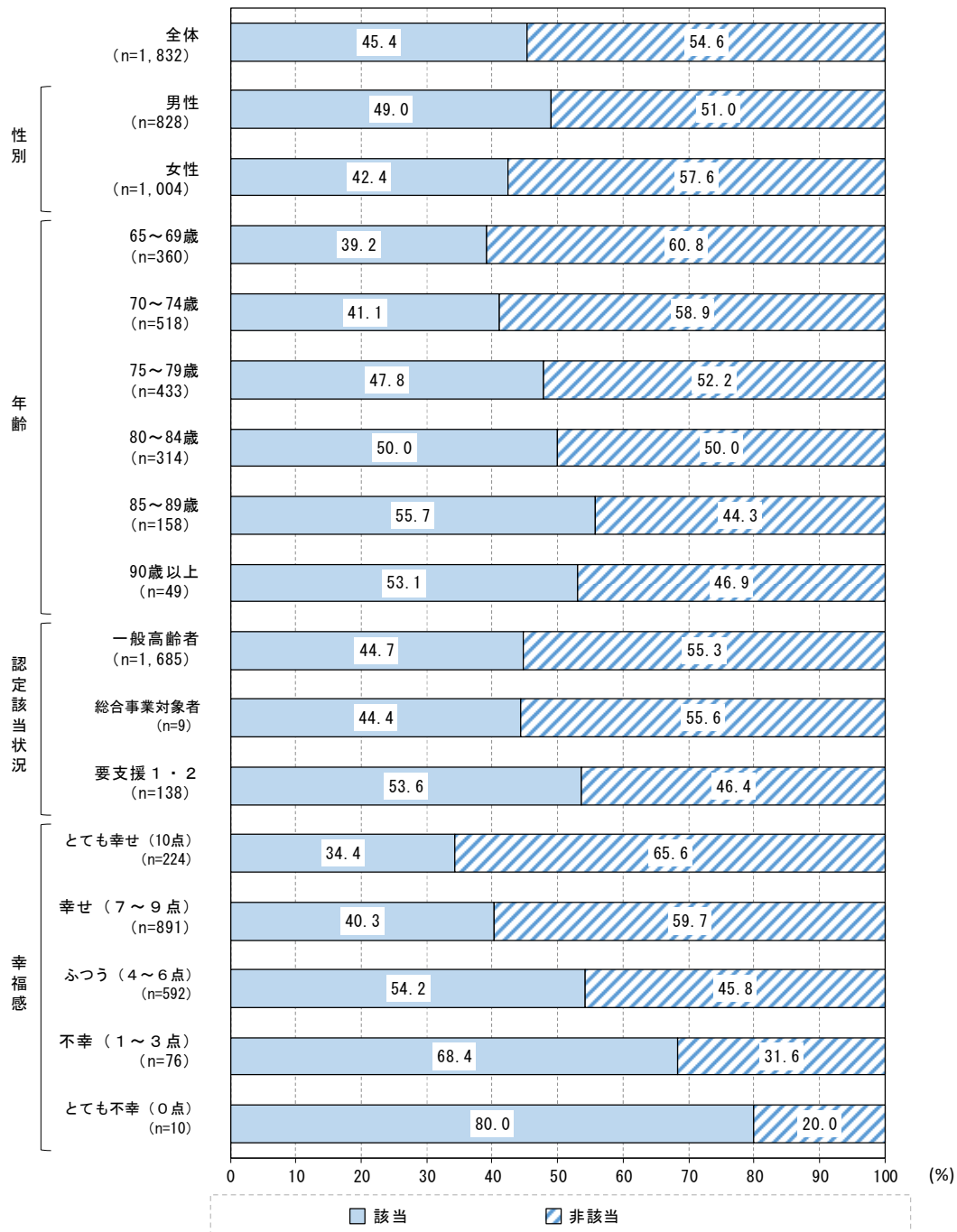


## ◆認知機能の低下リスクの判定

### ●認知機能の低下リスク

- 認知機能の低下リスクについて、リスクに「該当」する方が45.4%となっています。
- 前回調査との比較では、リスクに「該当」する方の割合は前回調査（45.4%）と同じ結果となっています。
- 幸福感についてみると、幸福感が高いほど、リスクに「該当」する方の割合が少なくなる傾向が見られます。

【図表 4-2 認知機能の低下リスク】

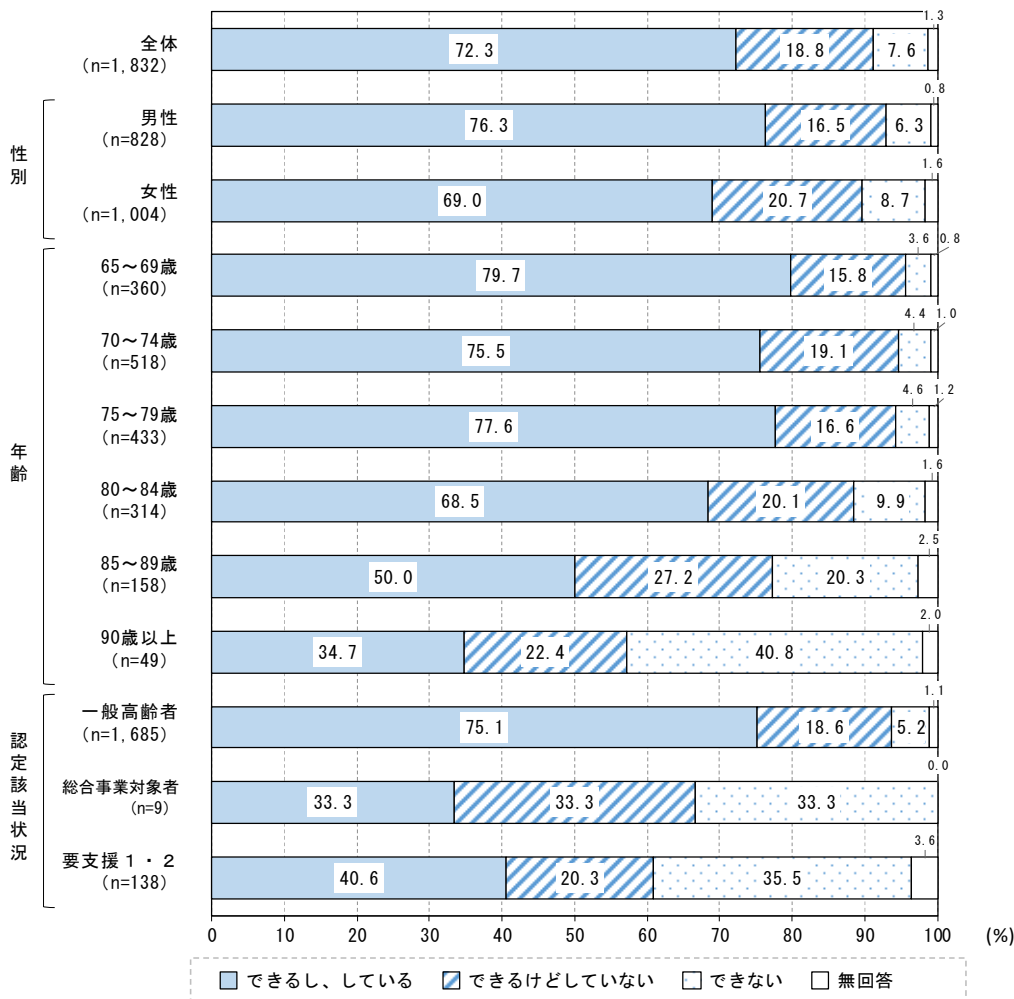


(2) IADL（手段的自立度）の状況

●問4.2 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（1つだけ）

- バスや電車を使った1人での外出について、「できるし、している」が72.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が18.8%、「できない」が7.6%となっています。
- 前回調査との比較では、「できるし、している」が前回調査（78.2%）と比べて5.9ポイント低下し、「できない」（6.4%）が1.2ポイント増加しています。

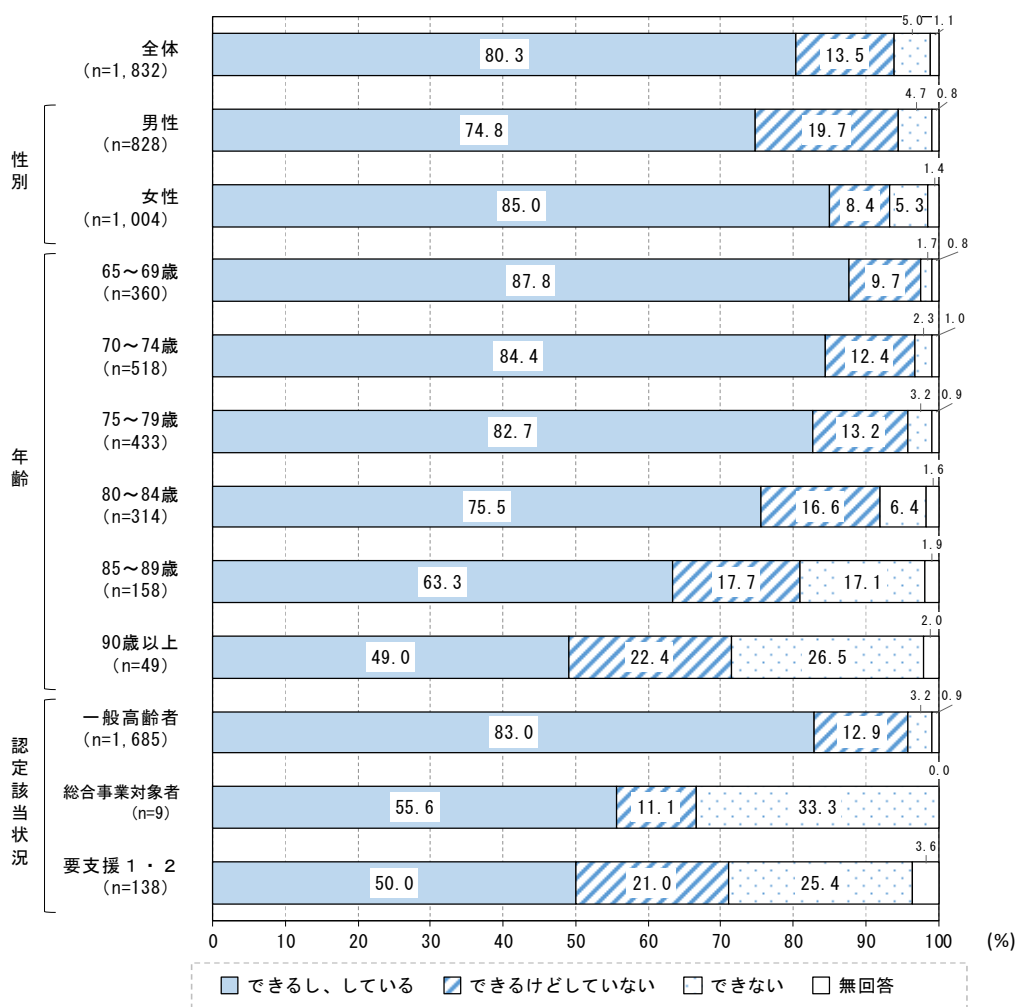
【図表 4-3 バスや電車を使った1人での外出】



●問4.3 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ)

- 食品・日用品の買物について、「できるし、している」が 80.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 13.5%、「できない」が 5.0%となっています。
- 前回調査との比較では、「できるし、している」が前回調査 (79.8%) と比べて 0.5 ポイント増加しており、「できない」では前回調査 (4.3%) と比べて 0.7 ポイント増加しています。
- 性別についてみると、男性では「できるけどしていない」が 19.7%と女性に比べて多くなっています。

【図表 4-4 食品・日用品の買物】

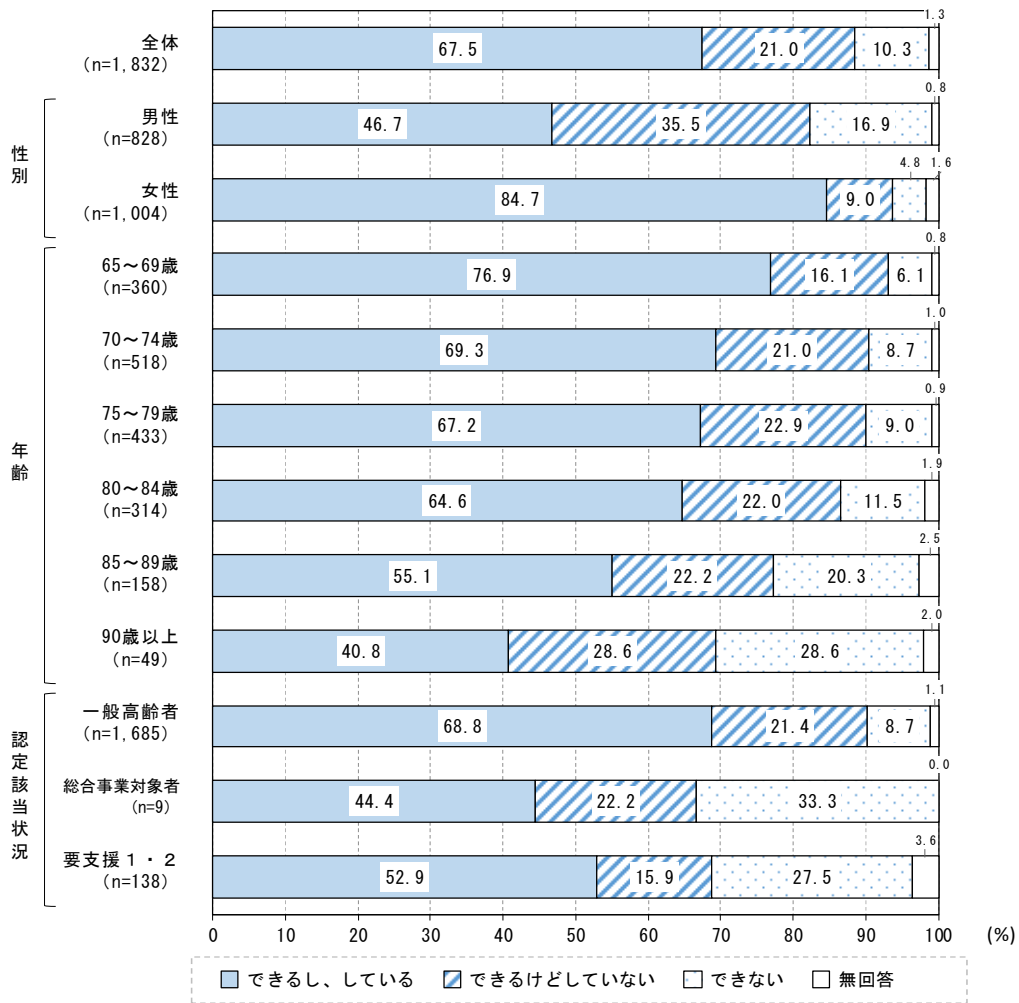




●問4.4 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ)

- 食事の用意について、「できるし、している」が67.5%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が21.0%、「できない」が10.3%となっています。
- 前回調査との比較では、「できるし、している」が前回調査(64.8%)と比べて2.7ポイント増加、「できない」は前回調査(9.0%)と比べて1.3ポイントの増加となっています。
- 性別についてみると、女性では「できるし、している」が84.7%と男性に比べて多くなっています。また、男性では「できるけどしていない」が35.5%、「できない」が16.9%と女性に比べて多くなっています。

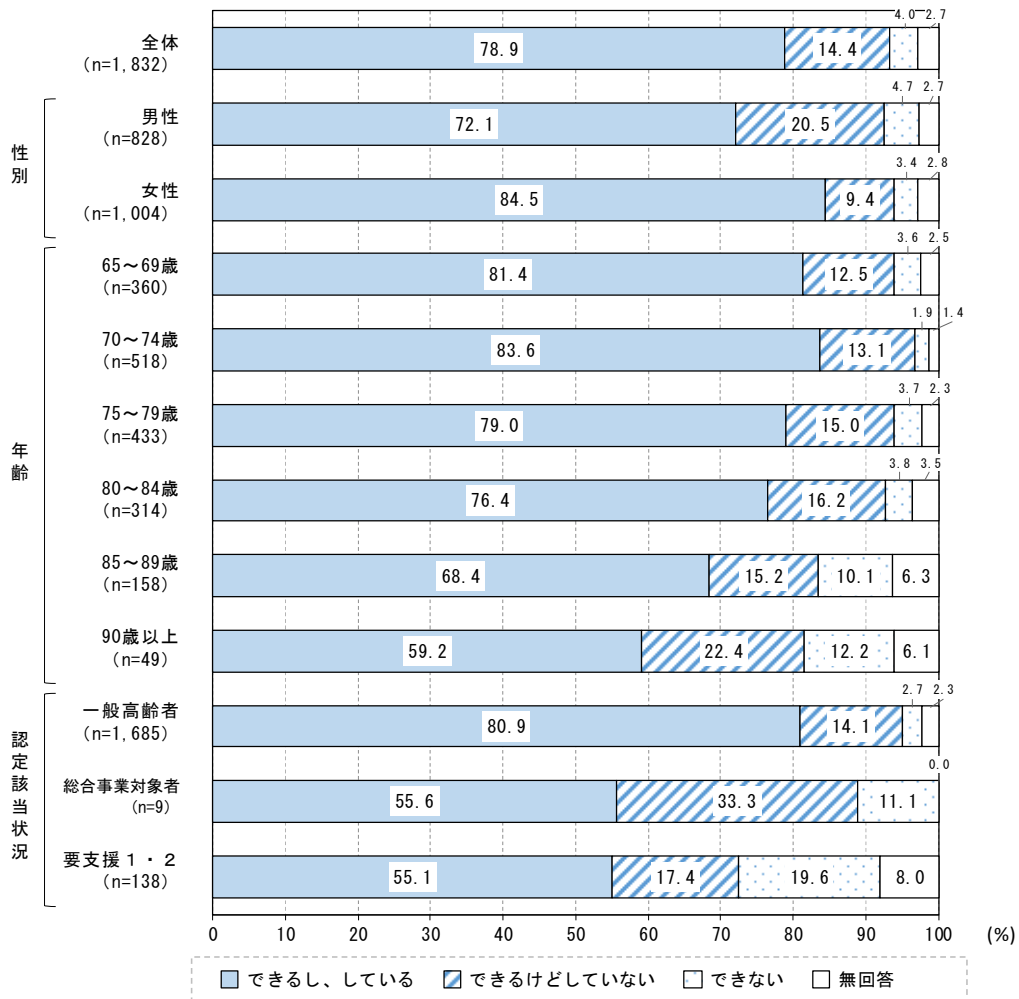
【図表 4-5 食事の用意】



●問4.5 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ)

- 請求書の支払いについて、「できるし、している」が78.9%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が14.4%、「できない」が4.0%となっています。
- 前回調査との比較では、「できるし、している」が前回調査(78.9%)と同じ結果、「できない」は前回調査(3.8%)と比べて0.2ポイント増加しています。

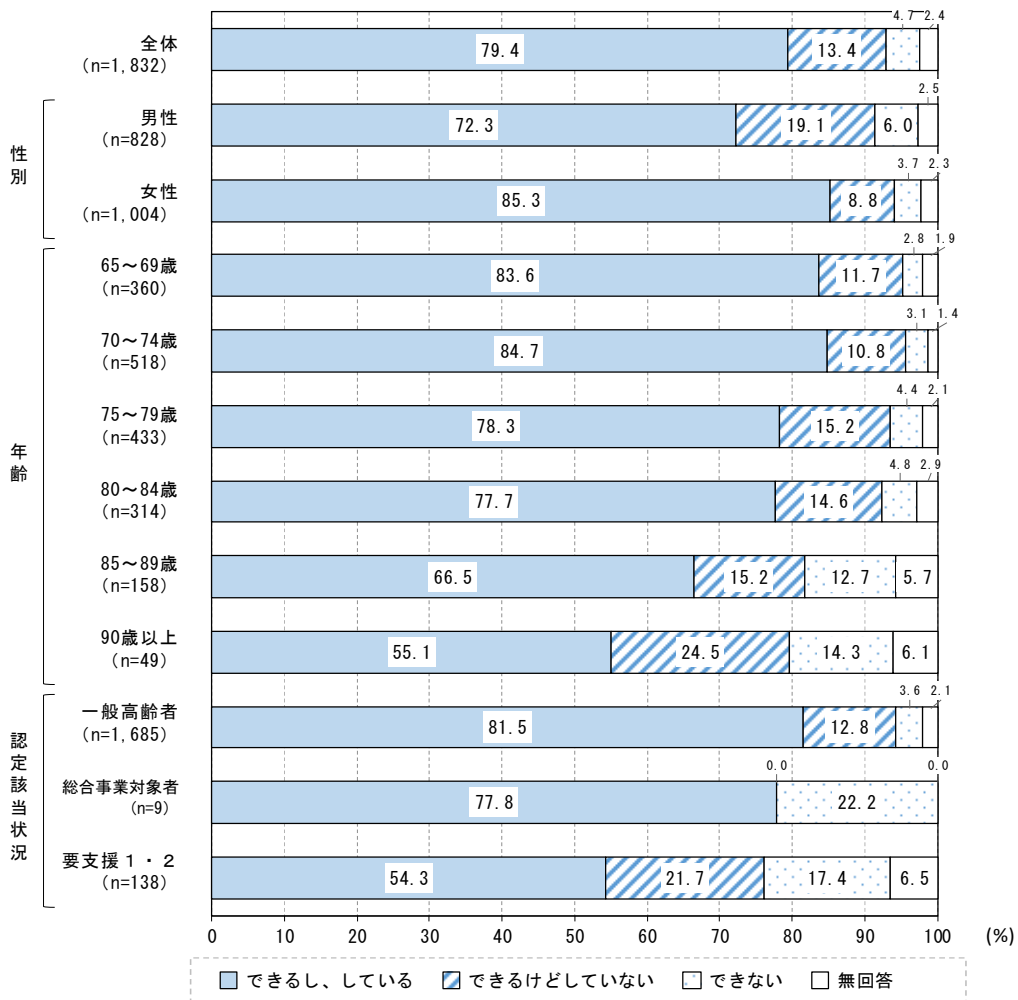
【図表 4-6 請求書の支払い】



●問4.6 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ)

- 預貯金の出し入れについて、「できるし、している」が79.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.4%、「できない」が4.7%となっています。
- 前回調査との比較では、「できるし、している」が前回調査(78.6%)と比べて0.8ポイント増加、「できない」は前回調査(4.3%)と比べて0.4ポイントの増加となっています。

【図表 4-7 預貯金の出し入れ】



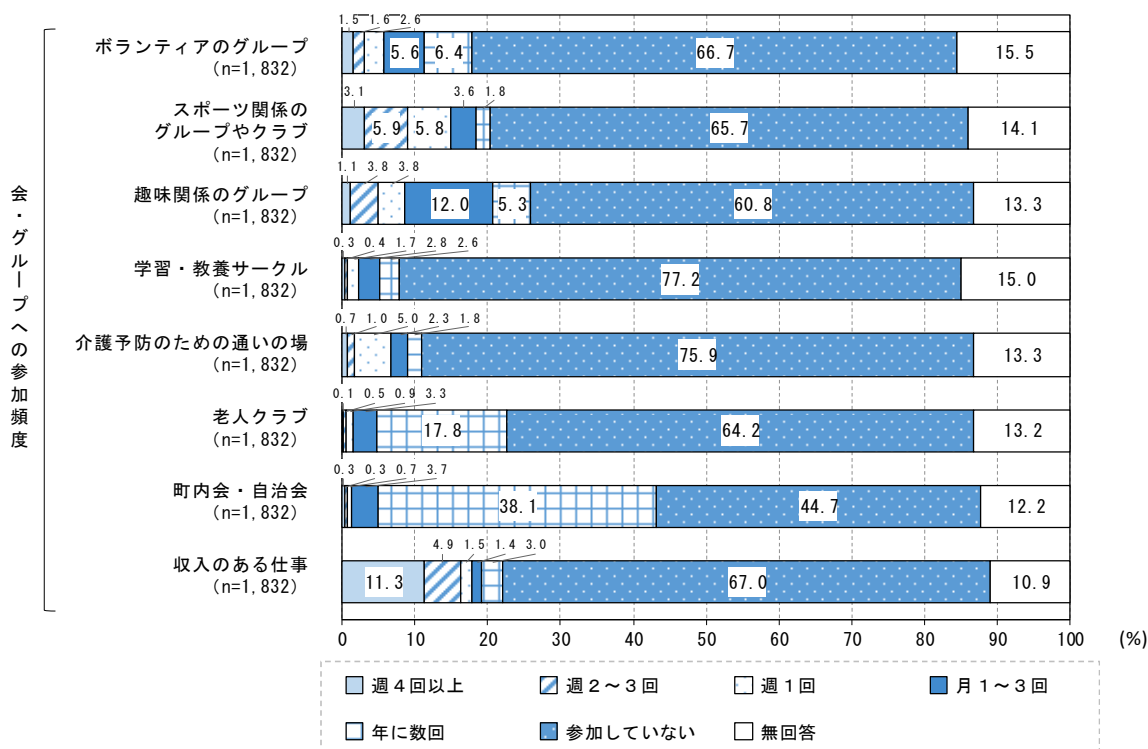
## 7. 地域活動

### (1) 地域活動づくりへの参加意向

●問5.1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(①～⑧それぞれ1つ)

- ①～⑧いずれのグループも「参加していない」が最も多くなっています。
- 「年に数回」以上を合わせた“参加している”では「町内会・自治会」が43.1%と最も多く、次いで「趣味関係のグループ」が26.0%となっています。
- 「月に1～3回」以上を合わせた“参加している”では「趣味関係のグループ」が20.7%と最も多く、次いで「収入のある仕事」が19.1%、「スポーツ関係のグループ」が18.4%となっています。

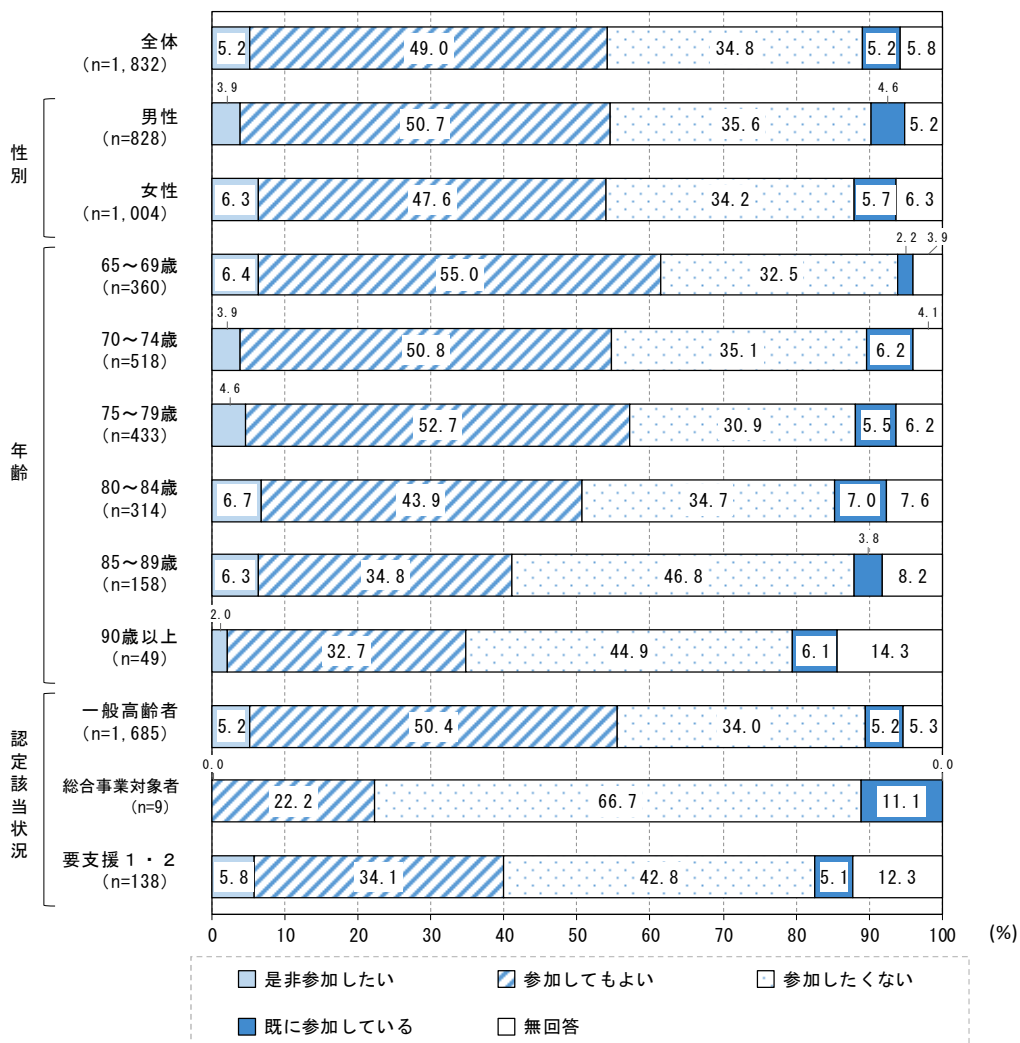
【図表 5-1 会・グループへの参加頻度】



●問5.2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ)

- 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が49.0%で最も多く、次いで「参加したくない」が34.8%、「是非参加したい」「既に参加している」が5.2%となっています。
- 前回調査との比較では、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は54.2%となっており、前回調査(54.7%)と比べて0.5ポイント低下しています。
- 性別についてみると、女性では「是非参加したい」が6.3%と男性に比べて多くなっています。
- 年齢についてみると、90歳以上では“参加意向がある方”は34.7%と他の区分に比べて少なくなっています。

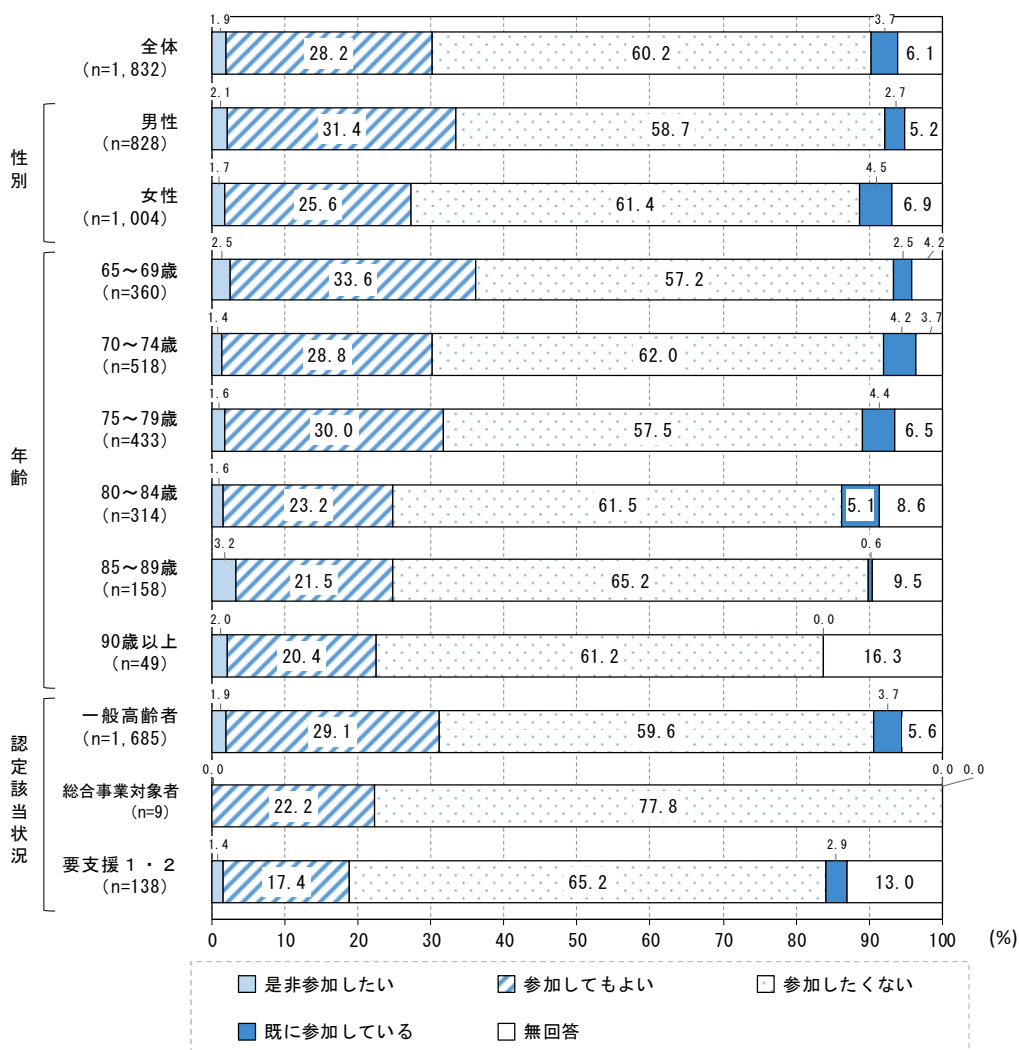
【図表 5-2 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向】



●問5.3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つだけ）

- 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が60.2%で最も多く、次いで「参加してもよい」が28.2%、「既に参加している」が3.7%となっています。
- 前回調査との比較では、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は30.1%となっており、前回調査（31.8%）と比べて1.7ポイントの低下となっています。
- 性別についてみると、男性では「参加してもよい」が31.4%と女性に比べて多くなっています。
- 年齢についてみると、79歳以下では“参加意向がある方”が3割以上となっています。

【図表 5-3 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向】



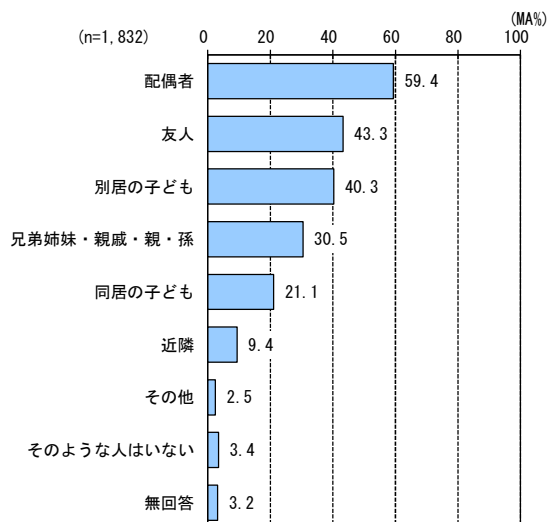
## 8. たすけあいについて

### (1) 周囲との相互の関係

#### ●問6.1(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人。(いくつでも)

○あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が 59.4%で最も多く、次いで「友人」が 43.3%、「別居の子ども」が 40.3%となっています。

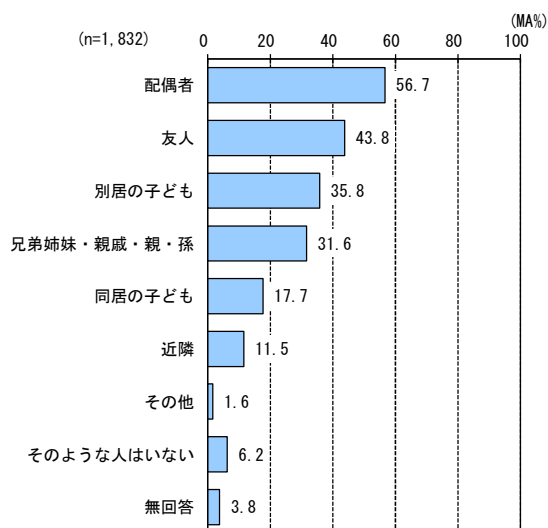
【図表 6-1 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)】



#### ●問6.1(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人。(いくつでも)

○反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が 56.7%で最も多く、次いで「友人」が 43.8%、「別居の子ども」が 35.8%となっています。

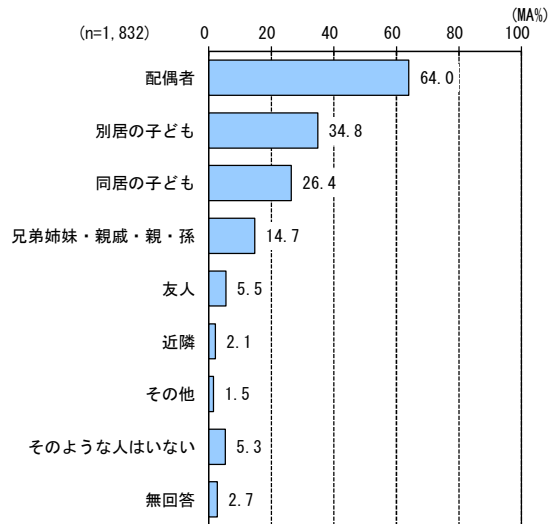
【図表 6-2 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)】



●問6.1(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(いくつでも)

○あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が64.0%で最も多く、次いで「別居の子ども」が34.8%、「同居の子ども」が26.4%となっています。

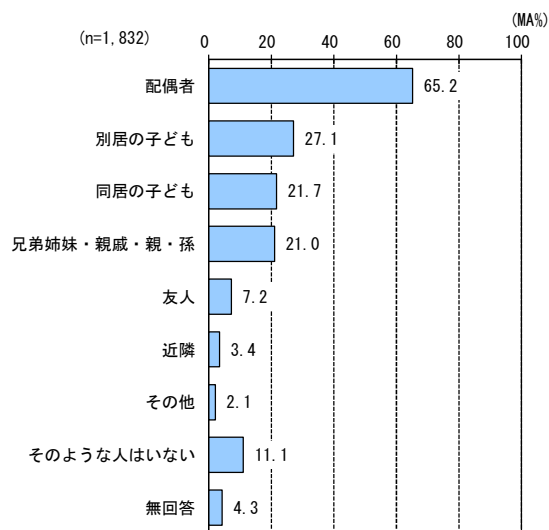
【図表 6-3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)】



●問6.1(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人。(いくつでも)

○反対に、看病や世話をしてあげる人について、「配偶者」が65.2%で最も多く、次いで「別居の子ども」が27.1%、「同居の子ども」が21.7%となっています。

【図表 6-4 反対に、看病や世話をしてあげる人(MA)】



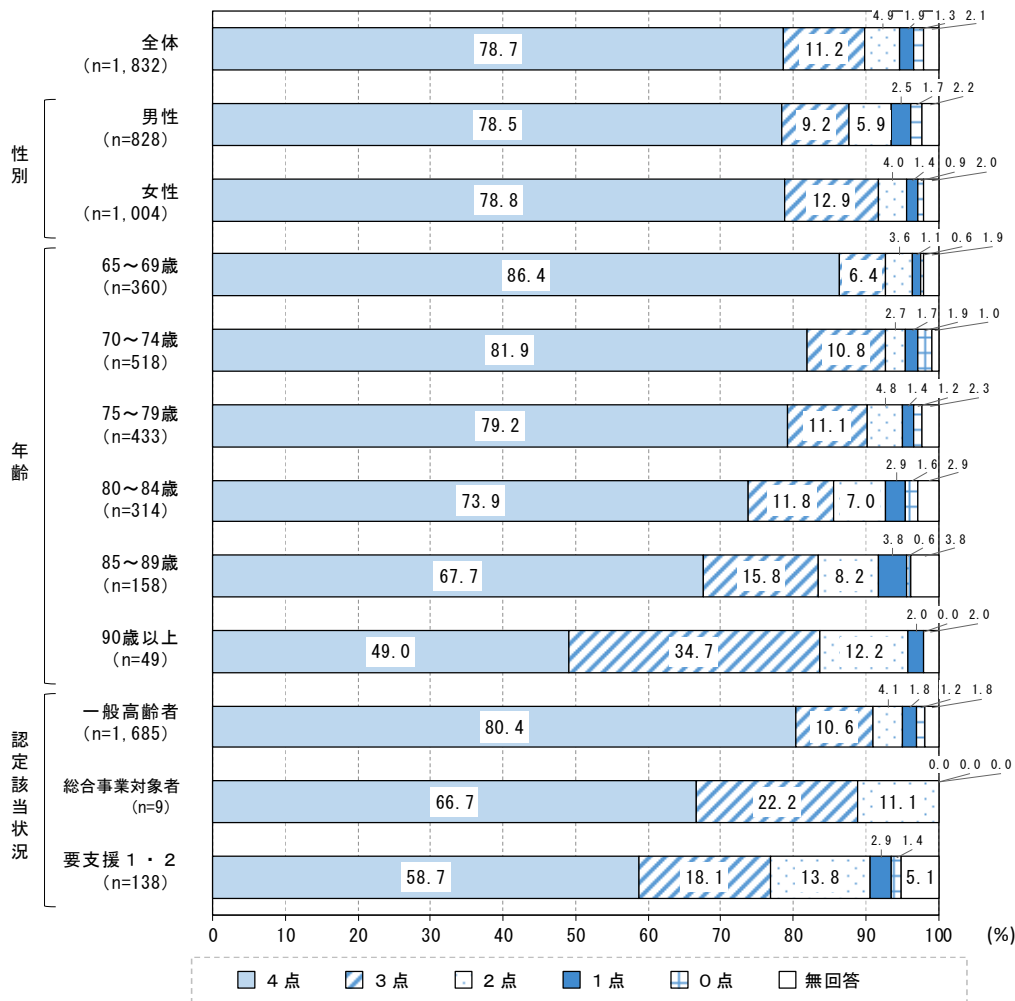


## ◆たすけあい合計点

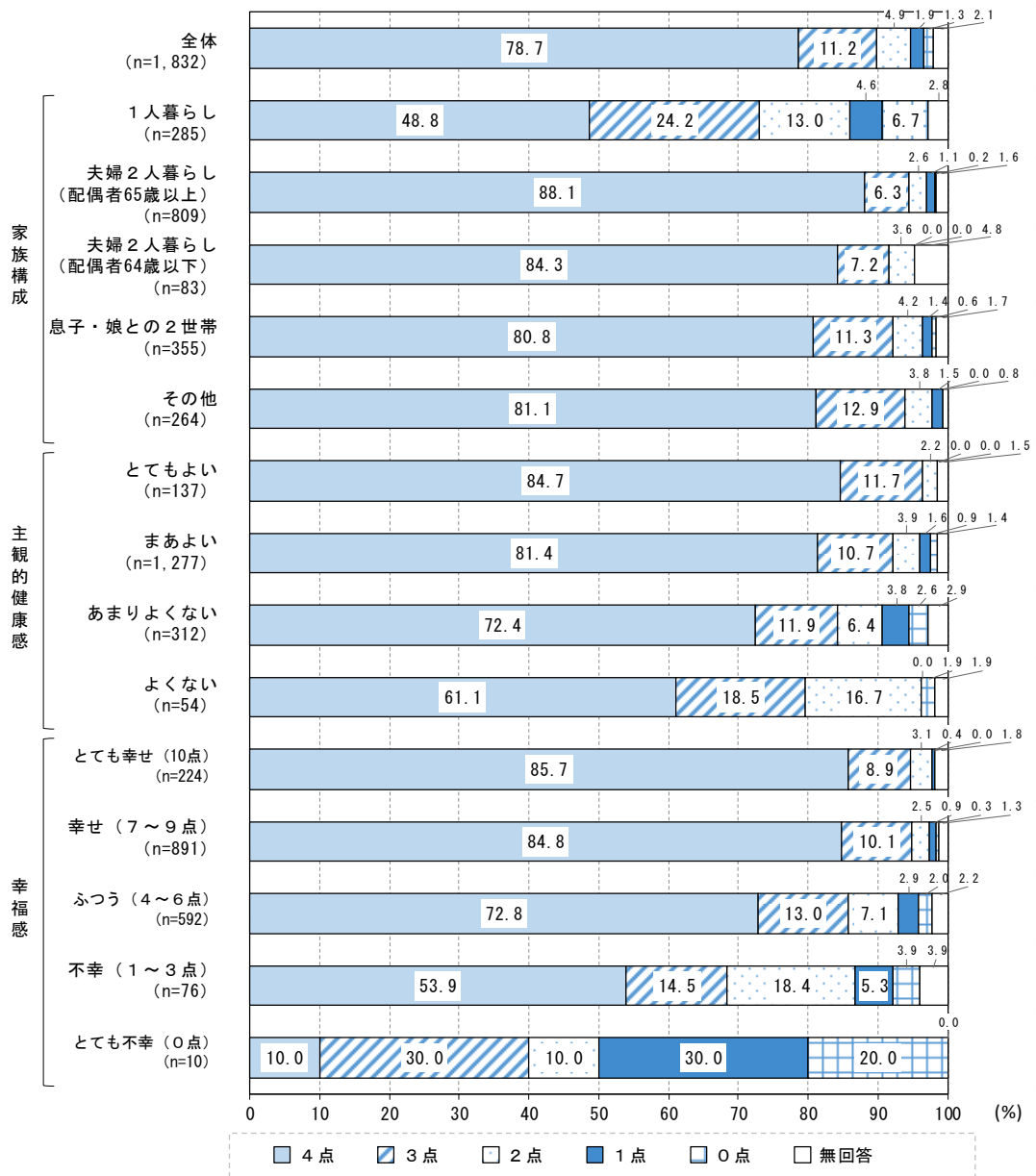
### ●たすけあいの合計点

- たすけあいの合計点について、「4点」が78.7%で最も多く、次いで「3点」が11.2%、「2点」が4.9%となっています。
- 年齢についてみると、年齢が高いほど「4点」の割合が少なくなる傾向がみられます。特に90歳以上では49.0%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 家族構成についてみると、1人暮らしでは「4点」が48.8%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 主観的健康感についてみると、主観的健康感が悪いほど「4点」が少なくなる傾向がみられます。
- 幸福感についてみると、幸福感が低いほど「4点」が少なくなる傾向がみられます。

【図表 6-5 たすけあいの合計点】



※助けあいの合計点:問 6.1(1)～(4)の各設問において、「そのような人はいない」以外の選択肢を選択している場合、1点とし、助けあいの合計点とした。

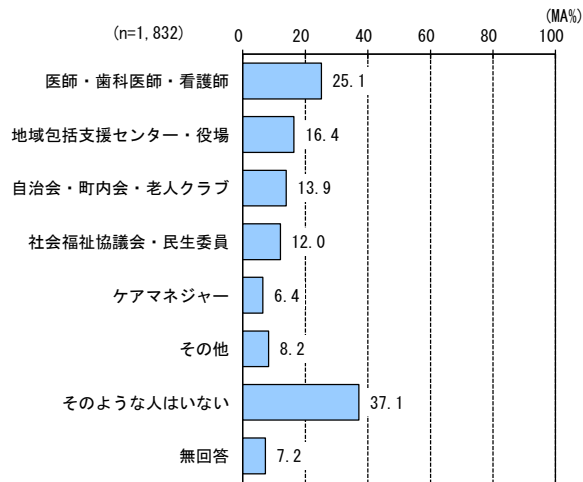


(2) 家族や友人・知人以外の相談相手

●問6.1(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。  
(いくつでも)

- 何かあったときの相談相手について、「そのような人はいない」が 37.1%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 25.1%、「地域包括支援センター・役場」が 16.4%となっています。
- 性別についてみると、男性では「自治会・町内会・老人クラブ」が 16.8%と女性に比べて多くなっています。
- 年齢についてみると、65～69 歳では「そのような人はいない」が 41.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【図表 6-6 何かあったときの相談相手(MA)】



単位：%

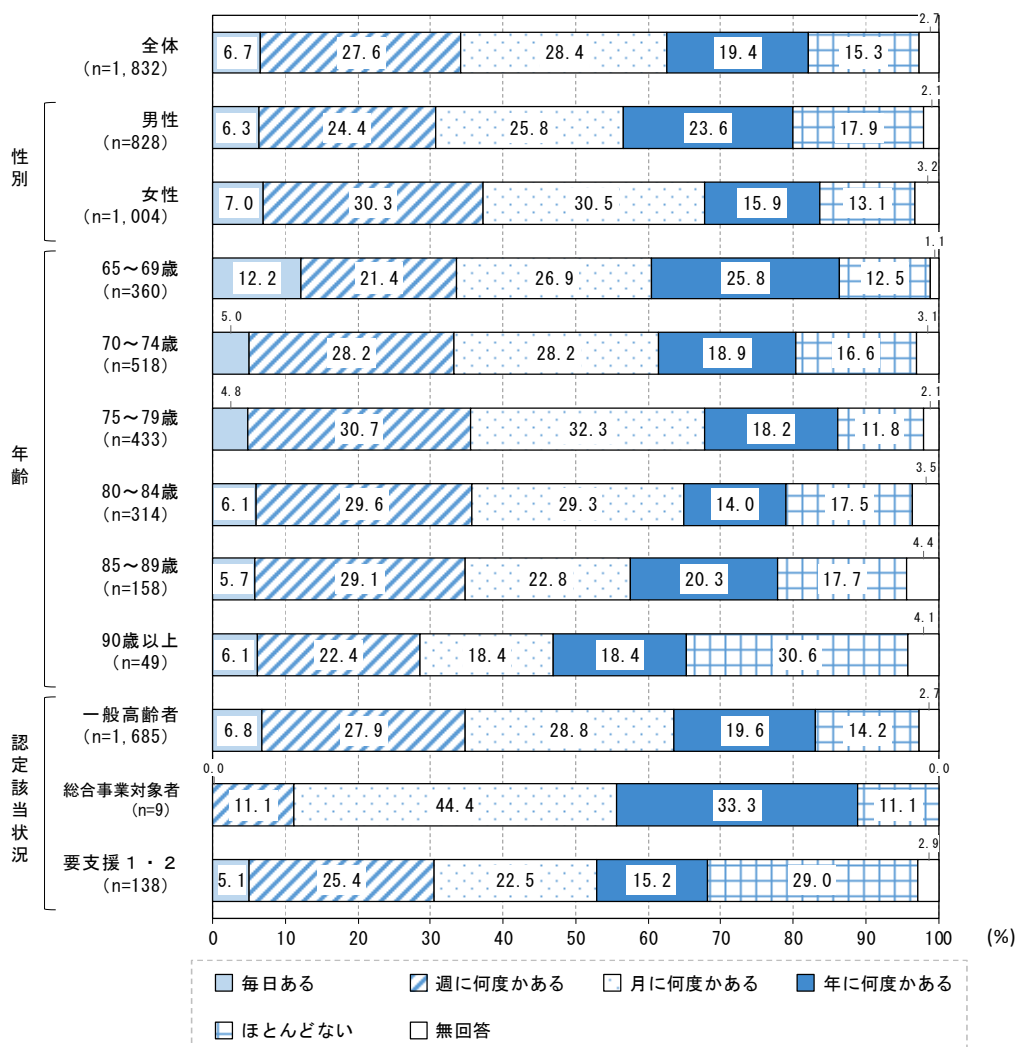
	母数 (n)	何かあったときの相談相手(MA)							無回答	
		・自治会 ・老人会 ・ク ・ラ ・町内会	・社会 ・民生福 ・祉協 ・議 ・員会	ケ ・ア ・マ ・ネ ・ジ ・ャー	・医 ・看 ・師 ・歯 ・科 ・医 ・師	セ ・地 ・域 ・包 ・括 ・支 ・援 ・中 ・心	そ ・の ・他	は ・そ ・の ・よ ・う ・な ・人 ・は ・い ・な ・い		
全体	1,832	13.9	12.0	6.4	25.1	16.4	8.2	37.1	7.2	
性別	男性	828	16.8	12.2	6.8	25.7	15.6	7.0	38.4	5.6
	女性	1,004	11.5	11.9	6.2	24.5	17.1	9.3	36.0	8.6
年齢	65～69歳	360	11.1	7.5	6.7	24.2	12.8	10.8	41.9	5.6
	70～74歳	518	12.0	10.2	2.5	25.5	17.0	10.0	39.4	7.7
	75～79歳	433	16.2	12.0	4.8	23.3	20.8	7.9	34.6	7.2
	80～84歳	314	17.2	17.5	9.2	26.4	15.9	6.1	33.1	7.0
	85～89歳	158	15.2	15.8	13.3	27.8	13.9	3.2	32.9	9.5
90歳以上	49	8.2	16.3	△ 20.4	24.5	10.2	4.1	36.7	8.2	
認定該当 状況	一般高齢者	1,685	14.1	11.6	4.3	25.0	15.8	8.7	37.9	7.3
	総合事業対象者	9	-	11.1	△ 22.2	△ 55.6	△ 44.4	-	33.3	-
	要支援 1・2	138	11.6	17.4	△ 31.2	23.9	21.7	3.6	27.5	6.5

### (3) 友人・知人との関係性

#### ●問6.1(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ)

- 友人・知人と会う頻度について、「月に何度かある」が 28.4%で最も多く、次いで「週に何度かある」が 27.6%、「年に何度かある」が 19.4%となっています。
- 前回調査との比較では、「毎日ある」「週に何度かある」「月に何度かある」「年に何度かある」を合わせた“ある”は 82.1%で、前回調査 (86.0%) よりも 3.9 ポイント低下しています。
- 性別についてみると、女性では「週に何度かある」が 30.3%と男性に比べて多くなっています。
- 年齢についてみると、65～69 歳では「毎日ある」が 12.2%と他の区分に比べて多く、「週に何度かある」が 21.4%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 90 歳以上では「ほとんどない」が 30.6%と他の区分に比べて多くなっています。
- 認定該当状況についてみると、要支援 1・2 では「ほとんどない」が 29.0%と他の区分に比べて多くなっています。

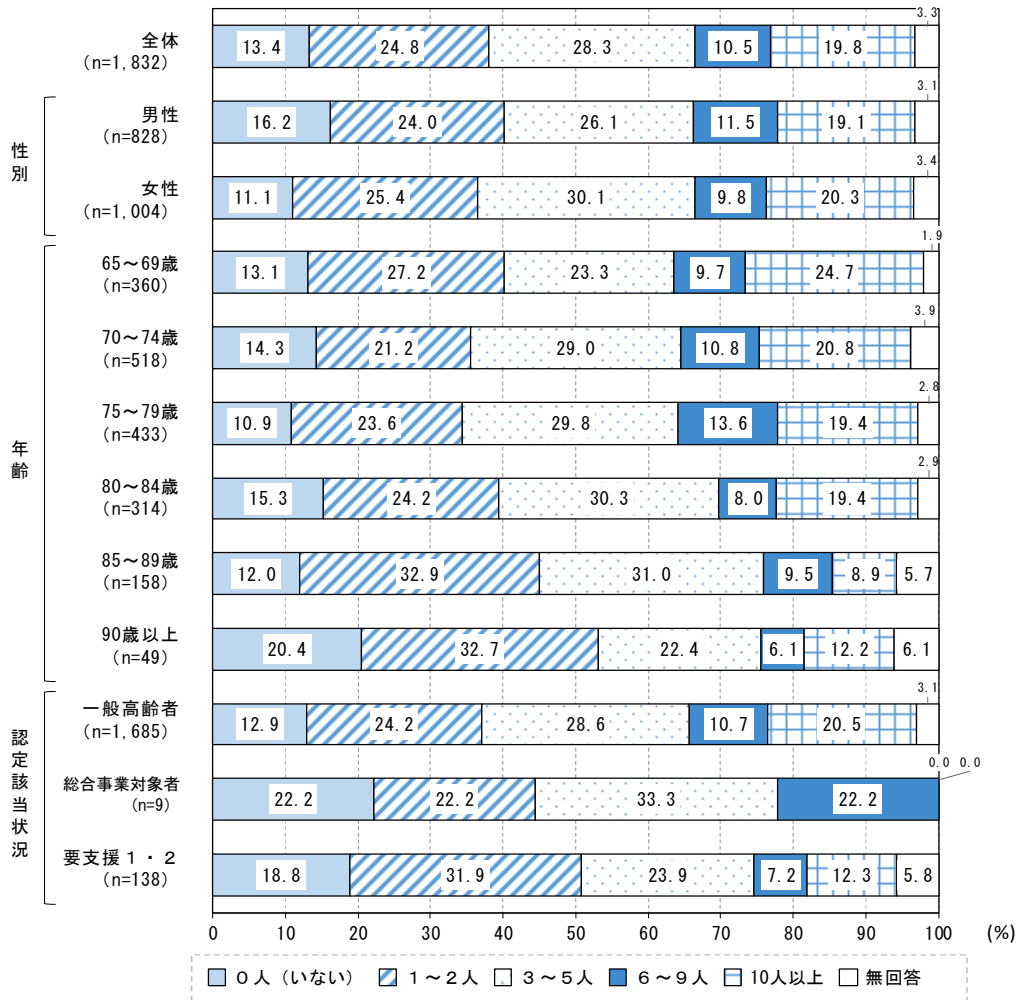
【図表 6-7 友人・知人と会う頻度】



●問6.1(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(1つだけ)

- この1か月間で会った友人・知人の数について、「3～5人」が28.3%で最も多く、次いで「1～2人」が24.8%、「10人以上」が19.8%となっています。
- 性別についてみると、男性では「0人(いない)」が16.2%と女性に比べて多くなっています。
- 年齢についてみると、年齢が高いほど「0人(いない)」「1～2人」の割合がおおむね多くなる傾向がみられます。特に90歳以上では「0人(いない)」が20.4%と他の区分に比べて多くなっています。

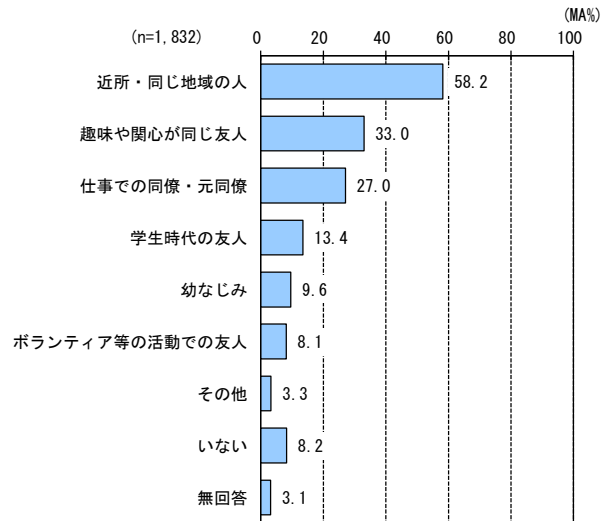
【図表 6-8 この1か月間で会った友人・知人の数】



●問6.1(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

- よく会う友人・知人との関係について、「近所・同じ地域の人」が 58.2%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 33.0%、「仕事での同僚・元同僚」が 27.0%となっています。
- 性別についてみると、男性では「仕事での同僚・元同僚」が 32.0%と女性に比べて多くなっています。

【図表 6-9 よく会う友人・知人との関係 (MA)】



単位：%

		母数 (n)	よく会う友人・知人との関係 (MA)								
			地近域の・人同じ	幼なじみ	友学生時代の	・仕事での同僚	同趣味や関心が	のボランティア等の友人等	その他	いない	無回答
全体		1,832	58.2	9.6	13.4	27.0	33.0	8.1	3.3	8.2	3.1
性別	男性	828	50.6	12.0	12.8	32.0	30.9	7.9	3.1	10.1	2.5
	女性	1,004	64.5	7.7	13.9	22.9	34.7	8.4	3.4	6.6	3.6
年齢	65～69歳	360	50.6	10.6	16.9	△ 42.2	28.1	8.6	3.3	7.2	1.4
	70～74歳	518	53.7	10.6	15.4	30.1	35.3	9.1	3.5	8.9	2.9
	75～79歳	433	64.0	11.1	12.9	23.8	38.3	8.3	3.2	6.7	2.8
	80～84歳	314	62.1	5.1	8.9	19.4	30.3	9.2	2.9	10.2	4.1
	85～89歳	158	67.7	10.1	12.7	▼ 9.5	29.7	1.9	2.5	7.0	5.1
90歳以上	49	57.1	6.1	▼ 2.0	▼ 16.3	24.5	6.1	6.1	12.2	8.2	
認定該当状況	一般高齢者	1,685	58.4	9.7	13.8	28.2	33.6	8.1	3.3	7.7	2.8
	総合事業対象者	9	66.7	11.1	11.1	22.2	▼ 11.1	-	-	△ 22.2	-
	要支援1・2	138	55.8	8.7	9.4	▼ 12.3	26.8	9.4	3.6	13.8	6.5

## 9. 健康について

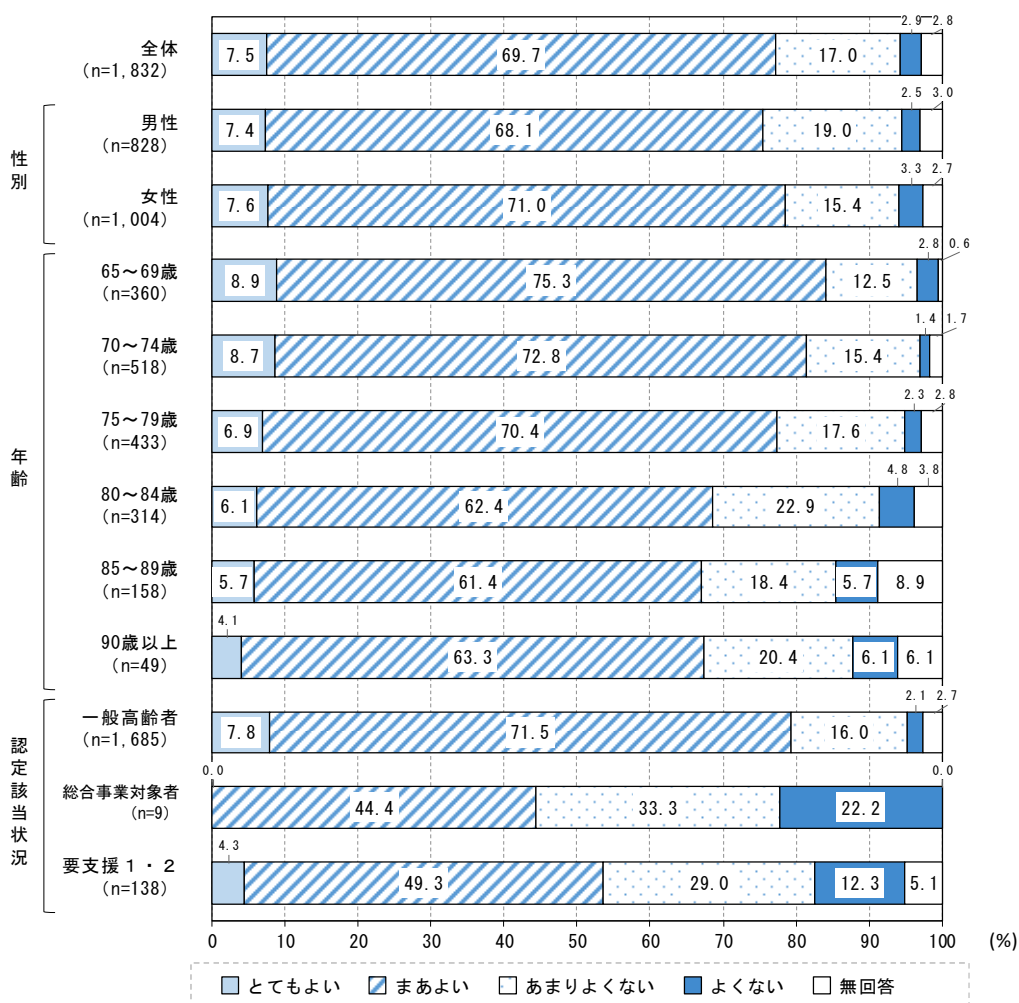
### (1) 健康状態

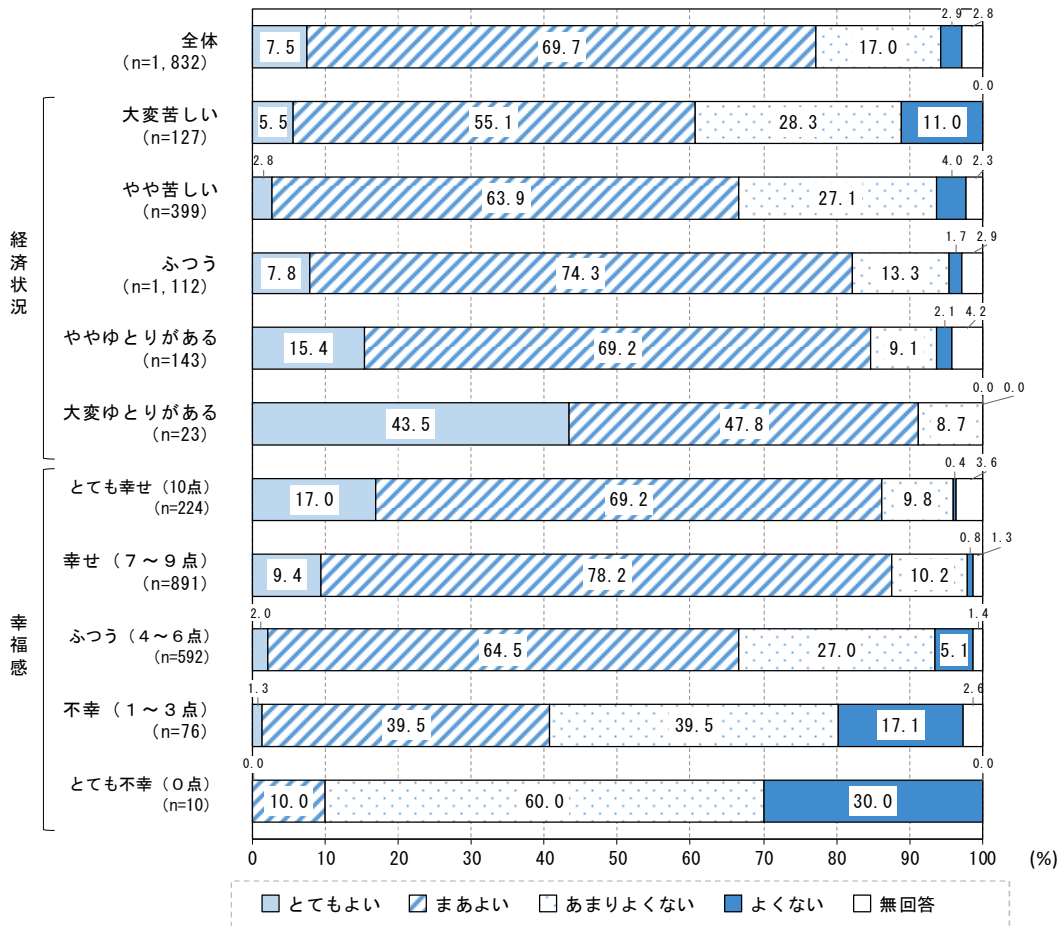
#### ① 主観的健康感

##### ●問7.1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ)

- 主観的健康感について、「まあよい」が69.7%で最も多く、次いで「あまりよくない」が17.0%、「とてもよい」が7.5%となっています。
- 前回調査との比較では、「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい方”は77.2%となっており、前回調査(78.2%)と比べて1.0ポイント低下しています。
- 年齢についてみると、年齢が高いほど“よい方”の割合が少なくなる傾向がみられます。
- 経済状況についてみると、経済的にゆとりがあるほど“よい方”の割合が多くなる傾向がみられます。
- 幸福感についてみると、幸福感が高いほど“よい方”の割合が多くなる傾向がみられます。

【図表 7-1 主観的健康感】





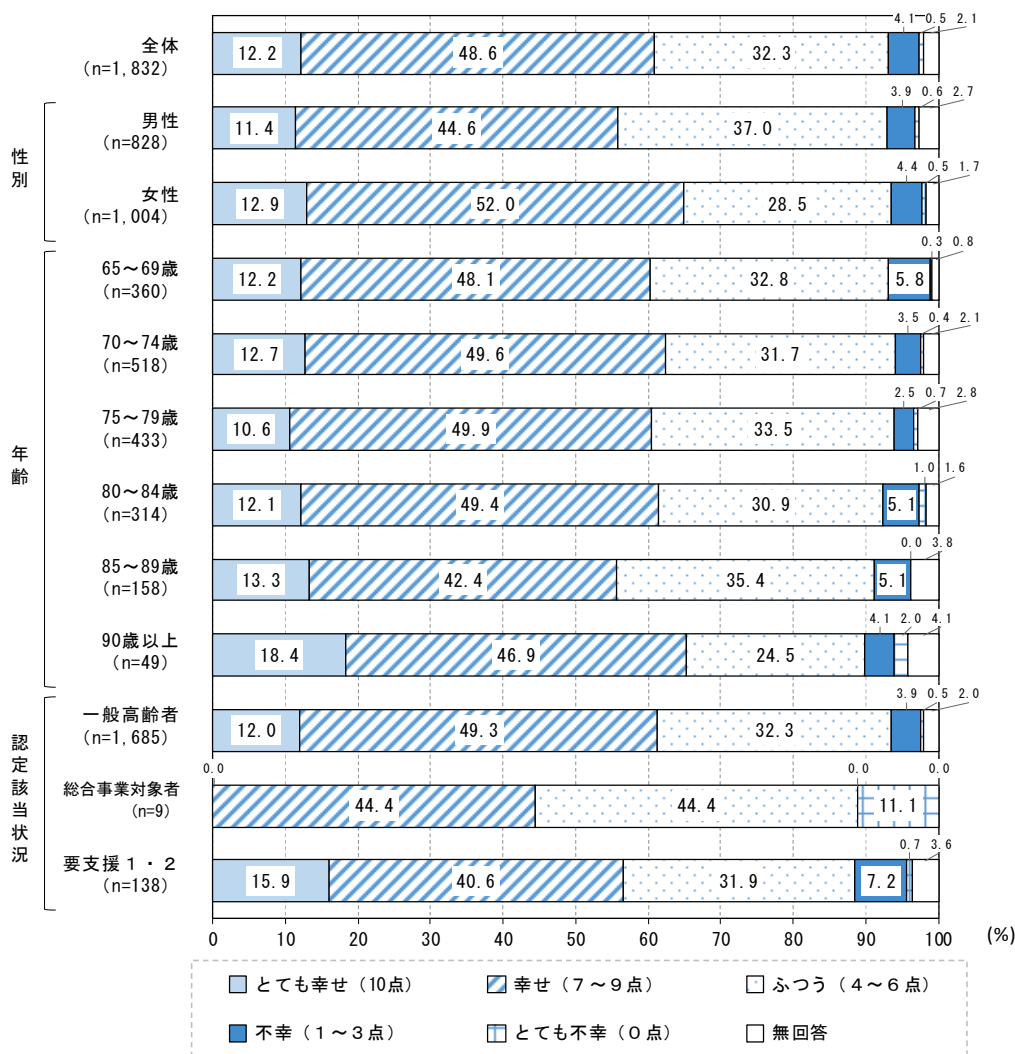


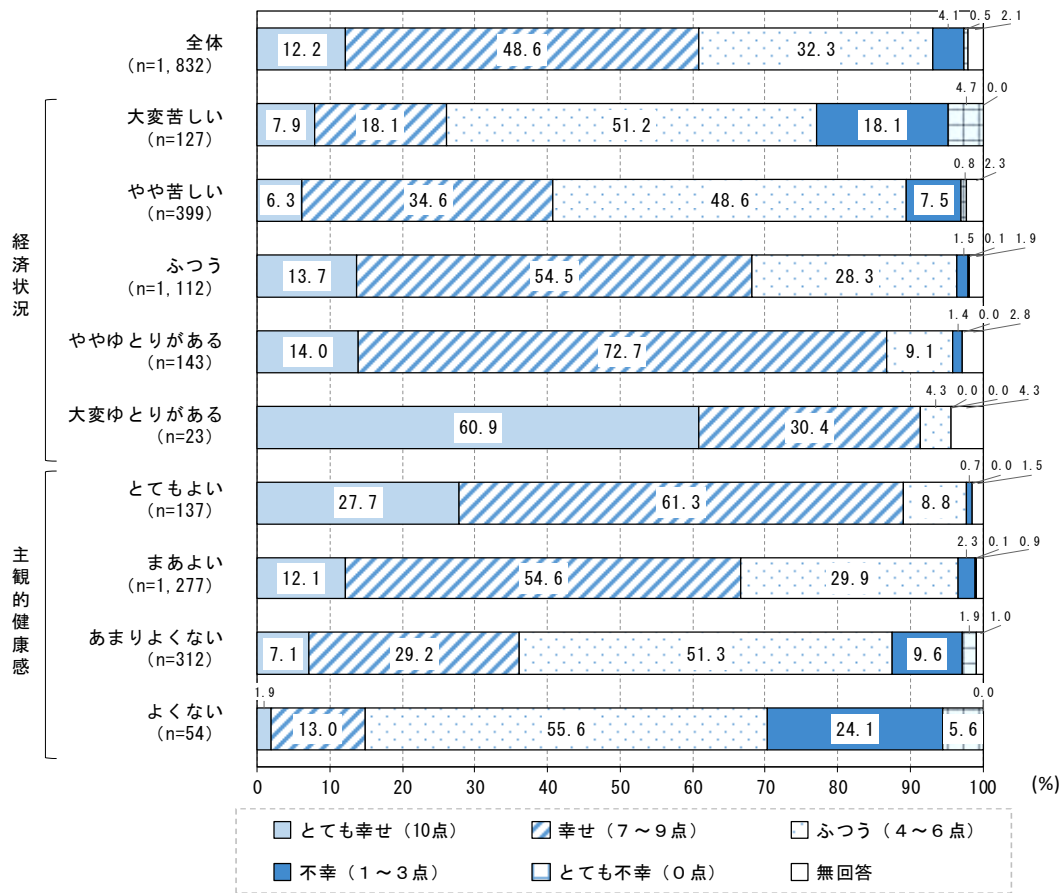
## ② こころの健康

### ●問7.2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ)

- 幸福感について、「幸せ（7～9点）」が48.6%で最も多く、次いで「ふつう（4～6点）」が32.3%、「とても幸せ（10点）」が12.2%となっています。
- 経済状況についてみると、経済的にゆとりがあるほど「とても幸せ（10点）」「幸せ（7～9点）」を合わせた“幸せ”の割合が多くなっています。
- 主観的健康感についてみると、主観的健康感が良いほど“幸せ”の割合が多くなっています。

【図表 7-2-1 幸福感】

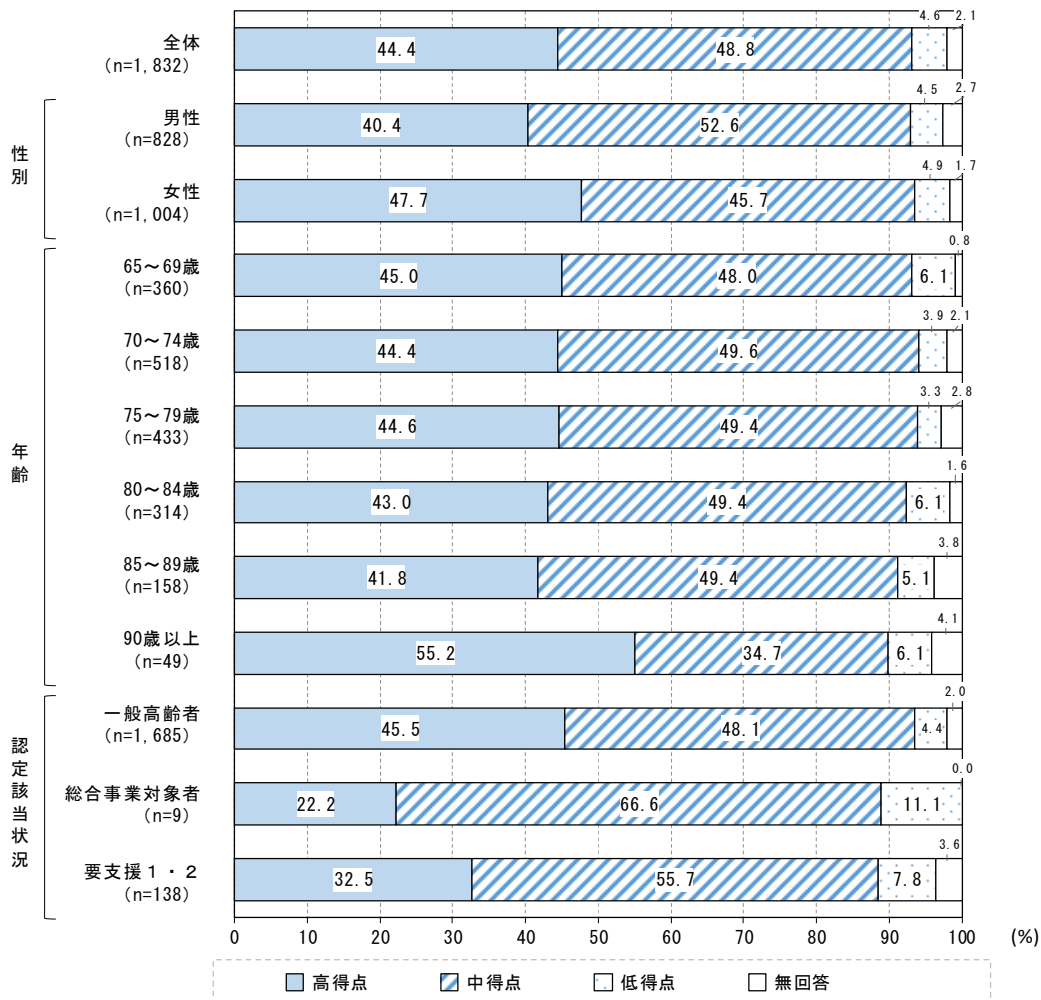




## ● 幸福感（3区分）

- 幸福感（3区分）について、「中得点（7～4点）」が48.8%で最も多く、次いで「高得点（10～8点）」が44.4%、「低得点（3～0点）」が4.6%となっています。
- 前回調査との比較では、「高得点（10～8点）」が、前回調査（48.8%）と比べて4.4ポイント増加、「中得点（7～4点）」は前回調査（43.5%）と比べて5.3ポイント増加、「低得点（3～0点）」は前回調査（4.8%）と比べて0.2ポイント低下しています。

【図表 7-2-2 幸福感（3区分）】

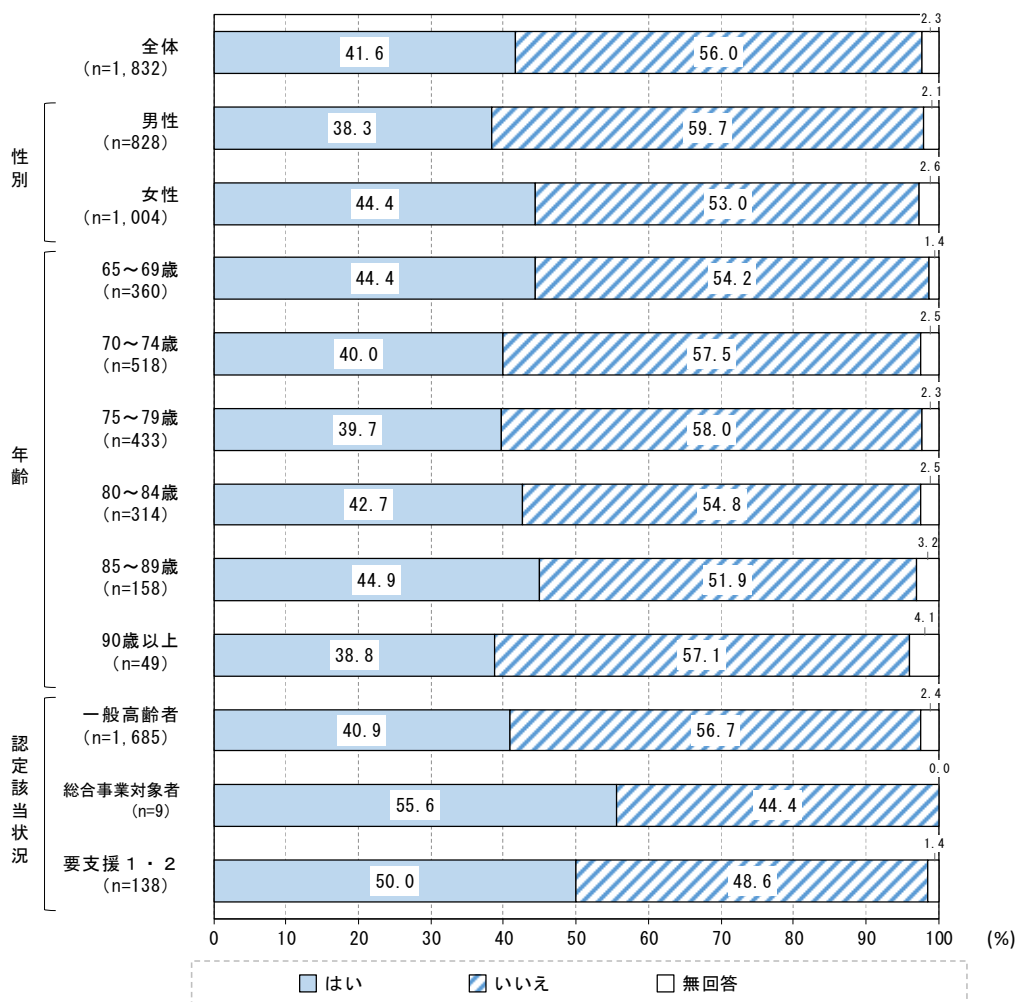


※ 10～8点を高得点、7～4点を中得点、3～0点を低得点として集計した。

●問7.3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ)

- 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が41.6%、「いいえ」が56.0%となっています。
- 前回調査との比較では、「はい」は前回調査(37.3%)と比べて4.3ポイント増加しています。

【図表 7-3 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか】

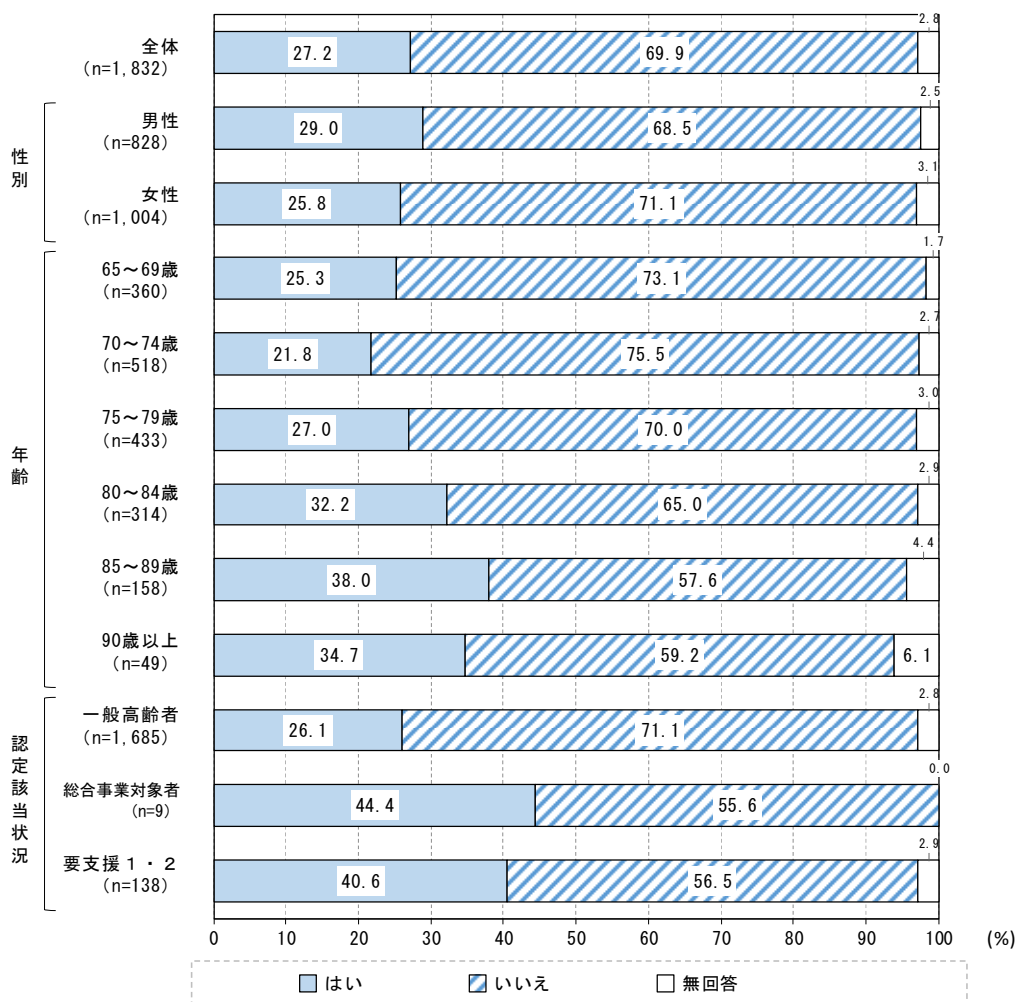


●問7.4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ)

○どうしても物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が27.2%、「いいえ」が69.9%となっています。

○前回調査との比較では、「はい」が前回調査(23.7%)と比べて3.5ポイント増加しています。

【図表 7-4 どうしても物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか】

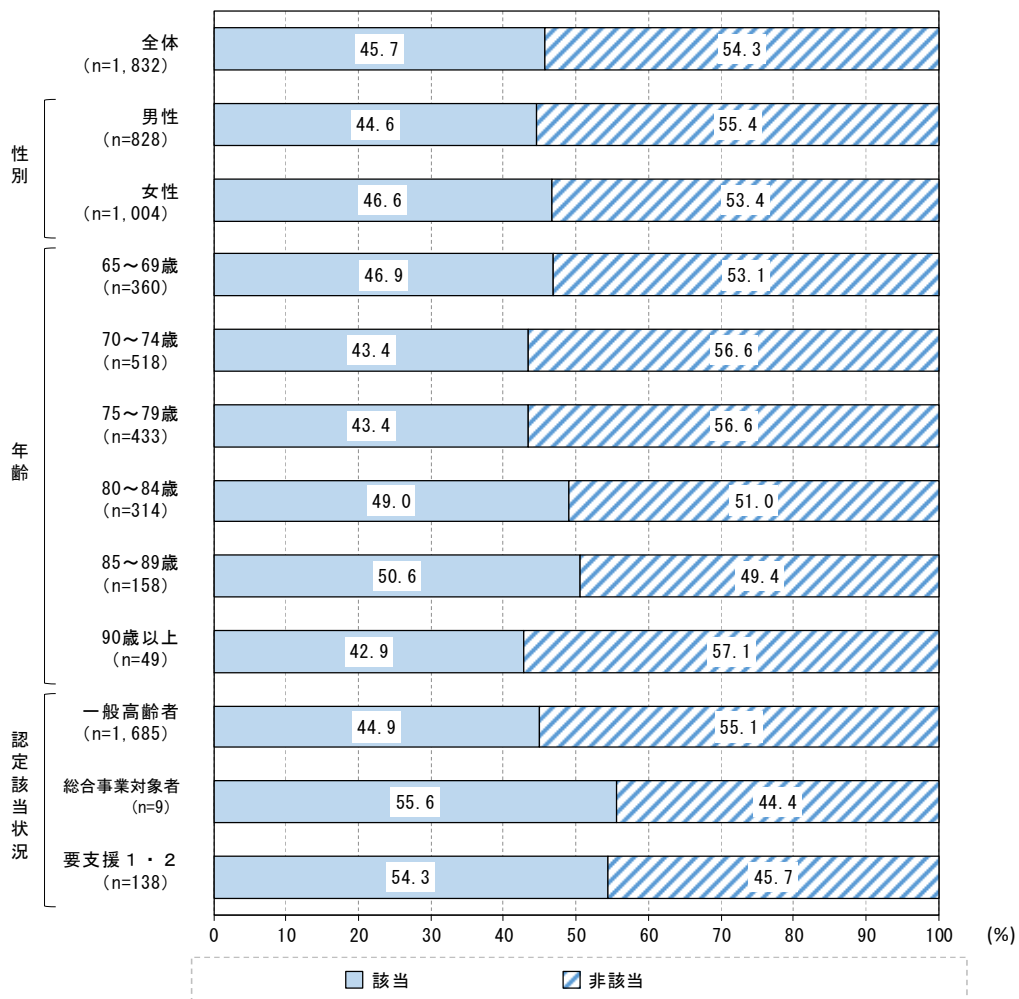


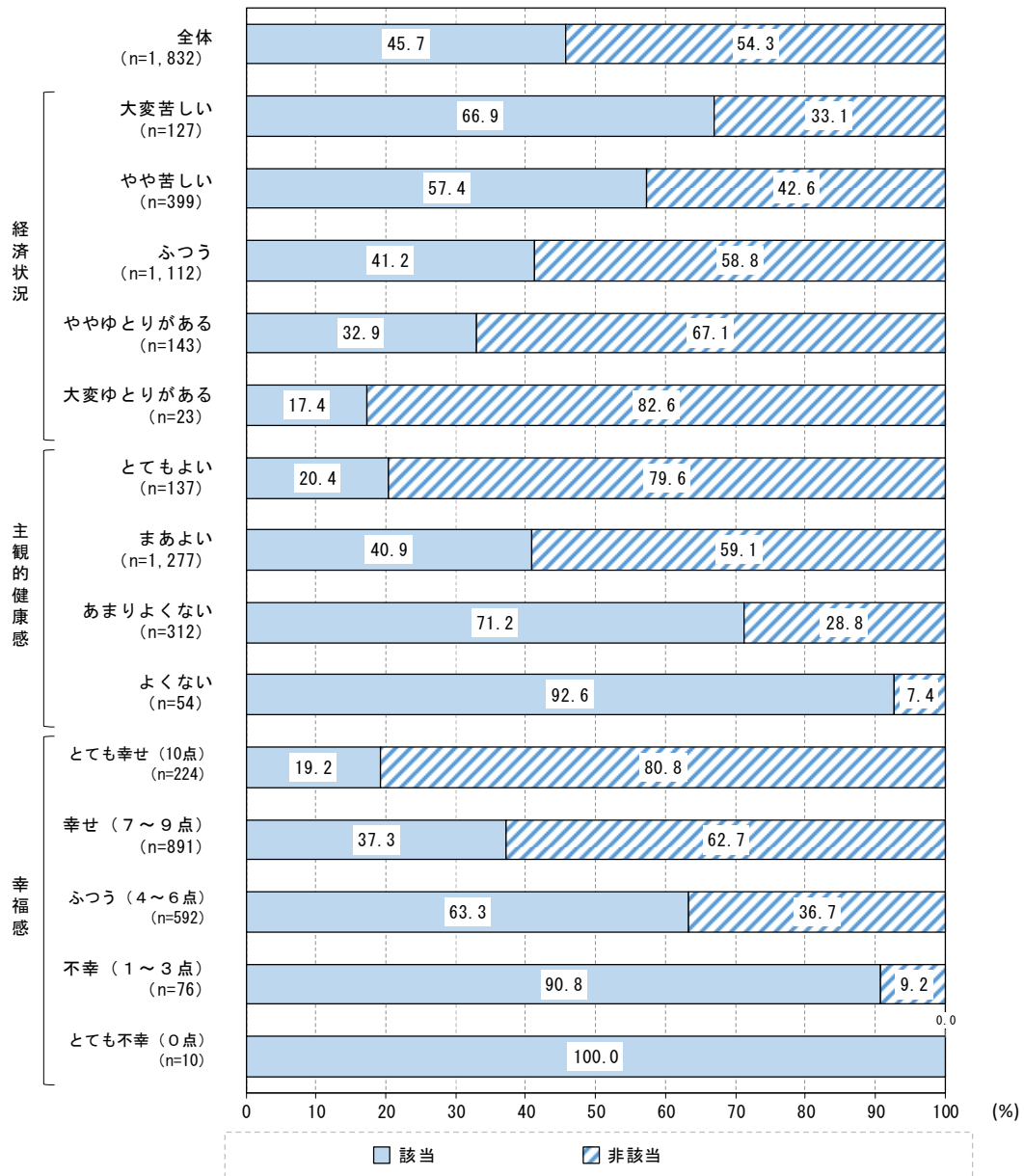
## ◆うつ病のリスクの判定

### ● うつ病のリスク

- うつ病のリスクについて、リスクに「該当」する方が45.7%となっています。
- 前回調査との比較では、リスクに「該当」する方は前回調査（41.0%）と比べて4.7ポイント増加しています。
- 経済状況についてみると、経済的にゆとりがあるほどリスクに「該当」する方の割合が少なくなる傾向がみられます。
- 主観的健康感についてみると、主観的健康感が良いほどリスクに「該当」する方の割合が少なくなる傾向がみられます。
- 幸福感についてみると、幸福感が良いほどリスクに「該当」する方の割合が少なくなる傾向がみられます。

【図表 7-5 うつ病のリスク】



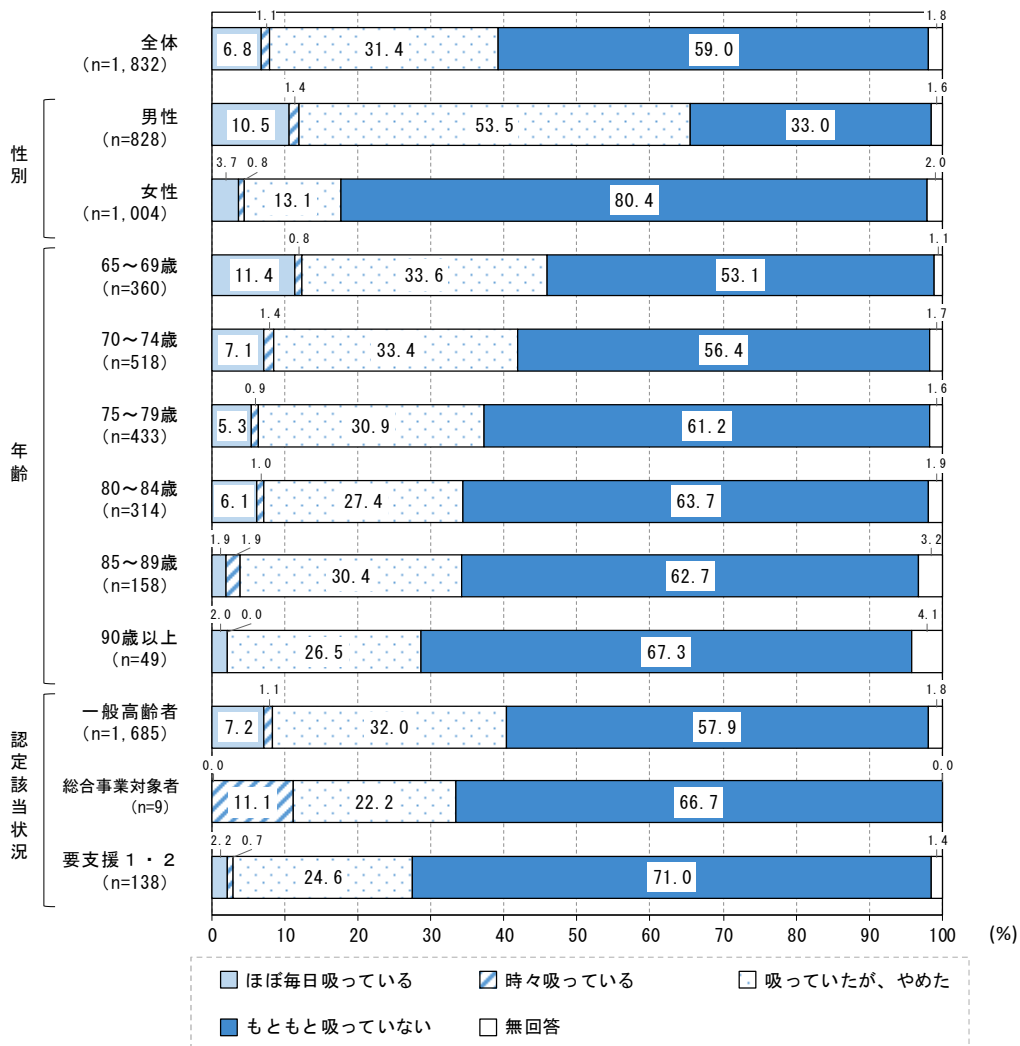


(2) 喫煙

●問7.5 タバコは吸っていますか。(1つだけ)

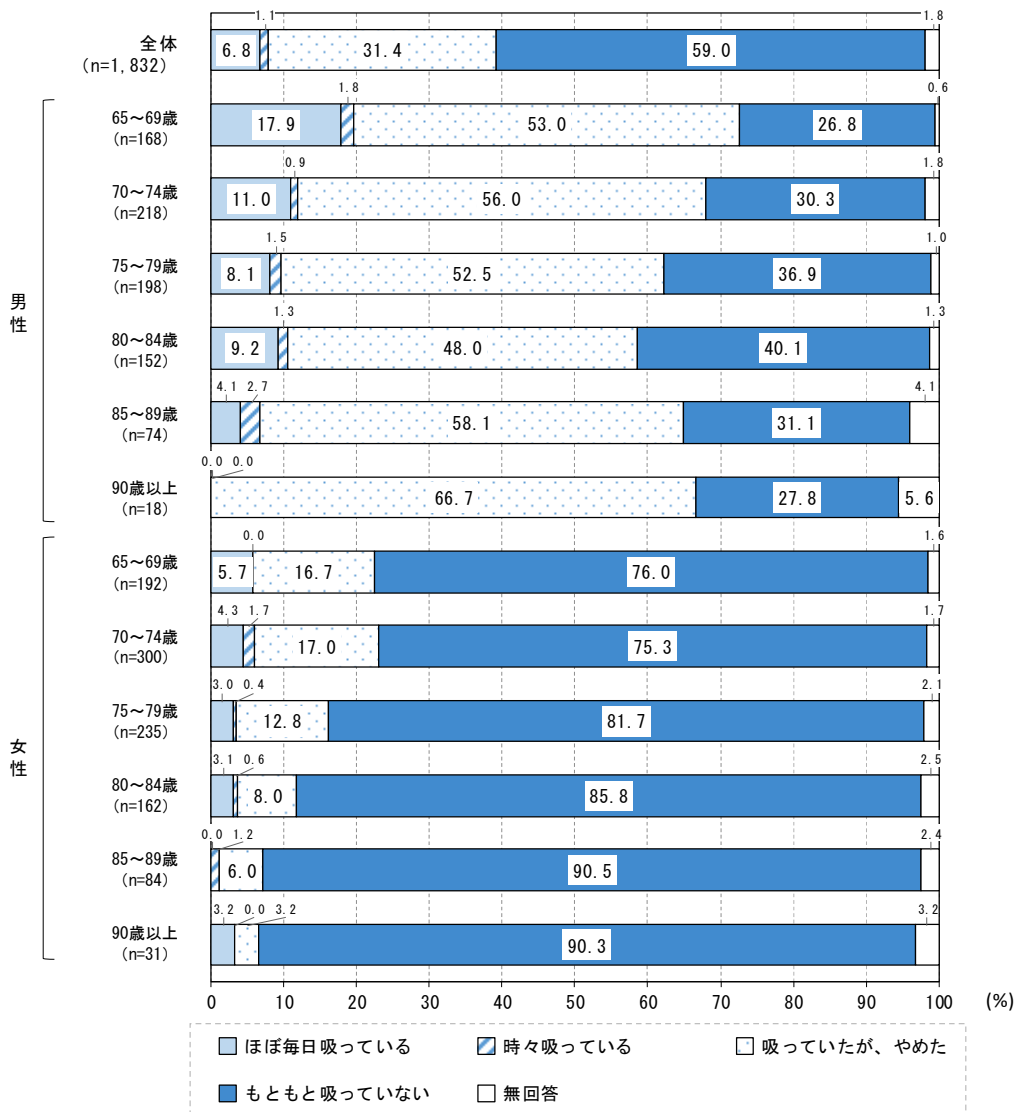
- 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が59.0%で最も多く、次いで「吸っていたが、やめた」が31.4%、「ほぼ毎日吸っている」が6.8%となっています。
- 性別についてみると、男性では「ほぼ毎日吸っている」が10.5%と女性に比べて多くなっています。また、男性では「吸っていたがやめた」が53.5%、女性が13.1%となっています。
- 年齢についてみると、年齢が高いほど「もともと吸っていない」の割合が多くなる傾向が見られます。
- 性・年齢についてみると、年齢が上がるほど、男性では「吸っていたが、やめた」の割合が多く、女性では「もともと吸っていない」が多くなる傾向が見られます。

【図表 7-6-1 喫煙の状況】





【図表 7-6-2 喫煙の状況（性別・年齢区分別）】

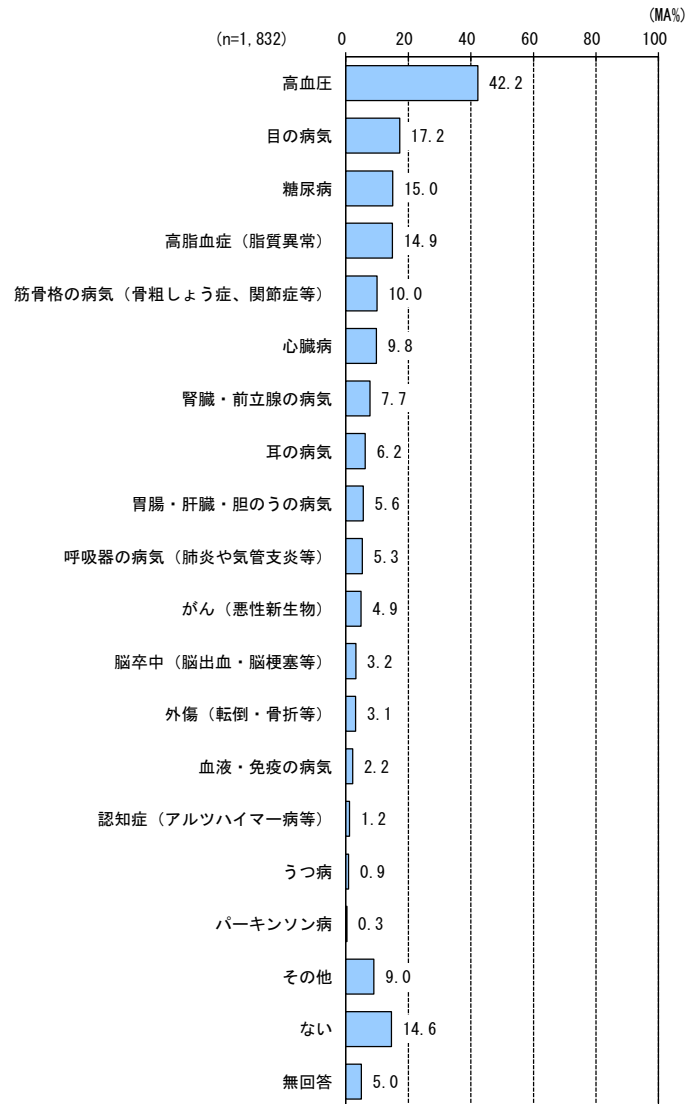


### (3) 病気の状況

#### ●問7.6 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

- 現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が 42.2%で最も多く、次いで「目の病気」が 17.2%、「糖尿病」が 15.0%となっています。
- 性別についてみると、男性では「糖尿病」が 19.0%と女性に比べて多くなっています。
- 女性では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が 12.9%と男性に比べて多くなっています。
- 年齢についてみると、年齢が高いほど「目の病気」の割合が多くなっています。
- 経済状況についてみると、経済的に苦しいほど「糖尿病」の割合が多くなる傾向がみられます。

【図表 7-7 現在治療中、または後遺症のある病気 (MA)】



単位：％

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)									
			ない	高血圧	(脳卒中・ 脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	(脂質異常症)	(呼吸器の 肺炎や 気管支炎等)	胆胃腸の う・肝臓・ の病気	腎臓・ 前立腺 の病気	(骨粗しょう 症等)
全体		1,832	14.6	42.2	3.2	9.8	15.0	14.9	5.3	5.6	7.7	10.0
性別	男性	828	14.7	42.3	4.5	13.0	19.0	11.7	6.9	6.0	12.4	6.5
	女性	1,004	14.4	42.2	2.2	7.2	11.7	17.5	4.0	5.2	3.8	12.9
年齢	65～69歳	360	20.8	34.2	2.2	6.4	14.7	15.0	5.0	5.3	6.4	7.5
	70～74歳	518	16.8	41.3	3.5	7.3	12.5	19.3	5.4	5.2	6.8	9.1
	75～79歳	433	12.2	42.3	4.4	11.5	16.9	14.3	4.8	5.1	6.9	9.2
	80～84歳	314	10.8	47.8	2.9	12.7	16.6	13.1	6.7	7.3	9.6	13.1
	85～89歳	158	10.1	48.1	1.9	14.6	13.3	7.6	5.1	5.7	11.4	12.0
	90歳以上	49	▼ 4.1	△ 57.1	4.1	12.2	20.4	8.2	2.0	4.1	10.2	△ 20.4
認定該当 状況	一般高齢者	1,685	15.3	41.5	2.7	9.3	14.6	15.3	5.2	5.6	7.8	8.7
	総合事業対象者	9	-	△ 66.7	11.1	-	-	22.2	△ 22.2	11.1	-	△ 22.2
	要支援1・2	138	7.2	49.3	9.4	17.4	20.3	10.1	5.8	5.1	7.2	△ 25.4
経済状況	大変苦しい	127	10.2	37.0	7.9	10.2	21.3	12.6	11.0	3.9	9.4	13.4
	やや苦しい	399	12.5	43.4	4.5	10.3	17.8	14.3	5.0	7.5	7.5	11.5
	ふつう	1,112	15.3	42.2	2.5	9.5	13.2	15.3	4.9	5.7	7.6	9.4
	ややゆとりがある	143	15.4	44.8	1.4	8.4	16.1	17.5	4.9	2.1	7.7	8.4
	大変ゆとりがある	23	△ 30.4	34.8	4.3	△ 21.7	8.7	17.4	-	-	4.3	8.7

単位：％

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)									
			(外傷・ 転倒・ 骨折等)	(がん 悪性 新生物)	血液・ 免疫の 病気	うつ 病	(認知 症 アルツ ハイマ ー)	パー キン ソン 病	目の 病気	耳の 病気	その 他	無 回 答
全体		1,832	3.1	4.9	2.2	0.9	1.2	0.3	17.2	6.2	9.0	5.0
性別	男性	828	1.8	4.8	2.4	1.2	1.4	-	16.2	5.4	8.2	4.5
	女性	1,004	4.2	5.0	2.1	0.7	1.0	0.5	18.0	6.9	9.6	5.5
年齢	65～69歳	360	1.9	6.1	1.4	1.7	-	0.3	14.4	3.9	9.4	5.3
	70～74歳	518	2.3	3.9	2.9	0.8	0.4	0.2	14.5	5.2	7.3	4.6
	75～79歳	433	2.8	4.6	2.3	0.9	2.8	-	16.9	6.0	10.6	4.8
	80～84歳	314	4.5	5.7	1.6	0.6	1.6	0.6	20.4	6.1	9.6	4.8
	85～89歳	158	5.7	4.4	2.5	0.6	1.9	0.6	24.1	11.4	9.5	6.3
	90歳以上	49	6.1	6.1	4.1	-	-	-	26.5	△ 20.4	2.0	6.1
認定該当 状況	一般高齢者	1,685	2.3	4.7	2.2	1.0	0.9	0.1	16.6	5.9	9.0	5.2
	総合事業対象者	9	11.1	△ 33.3	-	-	-	-	22.2	△ 22.2	-	-
	要支援1・2	138	12.3	5.1	2.9	-	4.3	2.2	24.6	9.4	8.7	3.6
経済状況	大変苦しい	127	7.1	7.1	0.8	2.4	1.6	0.8	18.9	11.8	13.4	4.7
	やや苦しい	399	4.0	6.3	2.5	2.0	1.3	0.3	17.5	6.5	11.3	5.0
	ふつう	1,112	2.6	4.4	2.0	0.5	1.1	0.1	17.0	5.8	8.1	5.1
	ややゆとりがある	143	0.7	2.1	4.2	-	1.4	0.7	18.9	3.5	7.0	2.8
	大変ゆとりがある	23	4.3	4.3	-	-	4.3	-	13.0	8.7	4.3	4.3

## 10. 認知症にかかる相談窓口の把握について

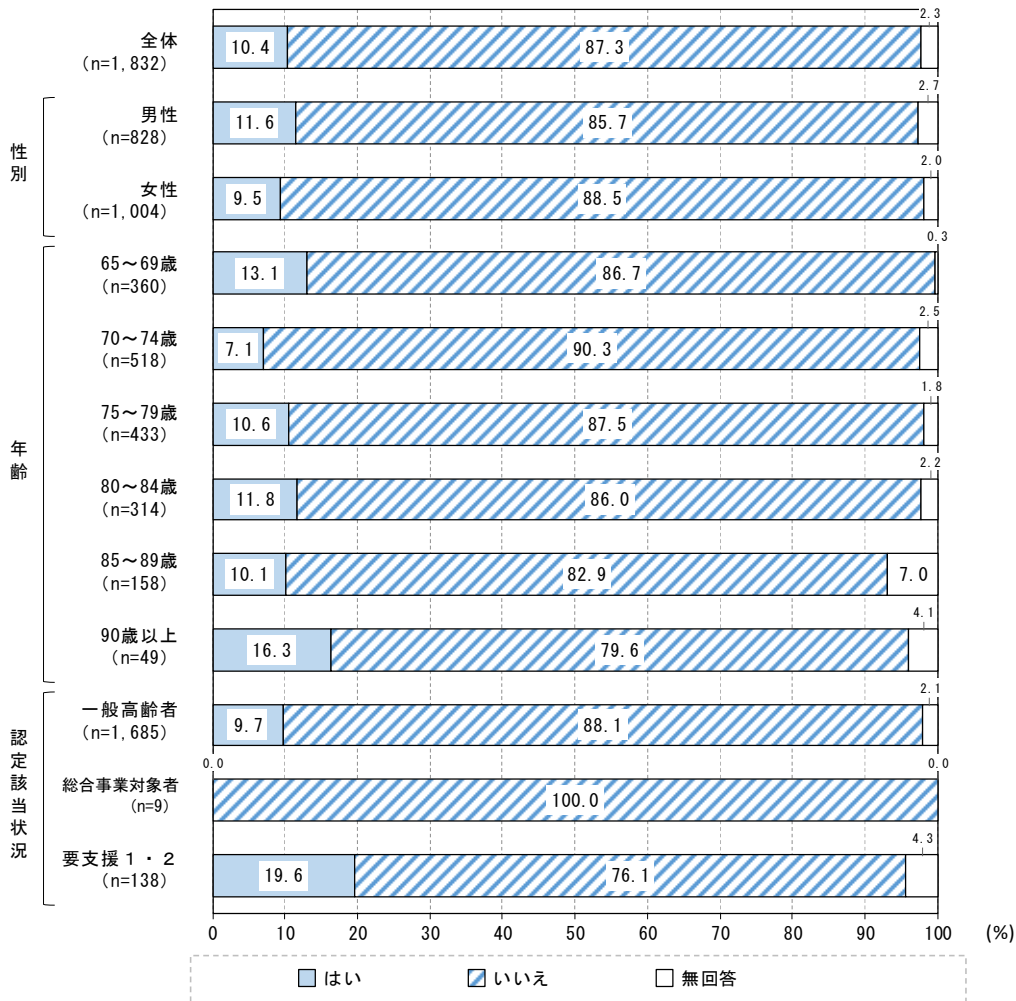
### (1) 認知症の症状の有無

#### ●問8.1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ)

○認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについて、「はい」が10.4%、「いいえ」が87.3%となっています。

○前回調査との比較では、「はい」が前回調査(8.4%)と比べて2.0ポイント増加しています。

【図表 8-1 自身や家族の認知症の症状有無】

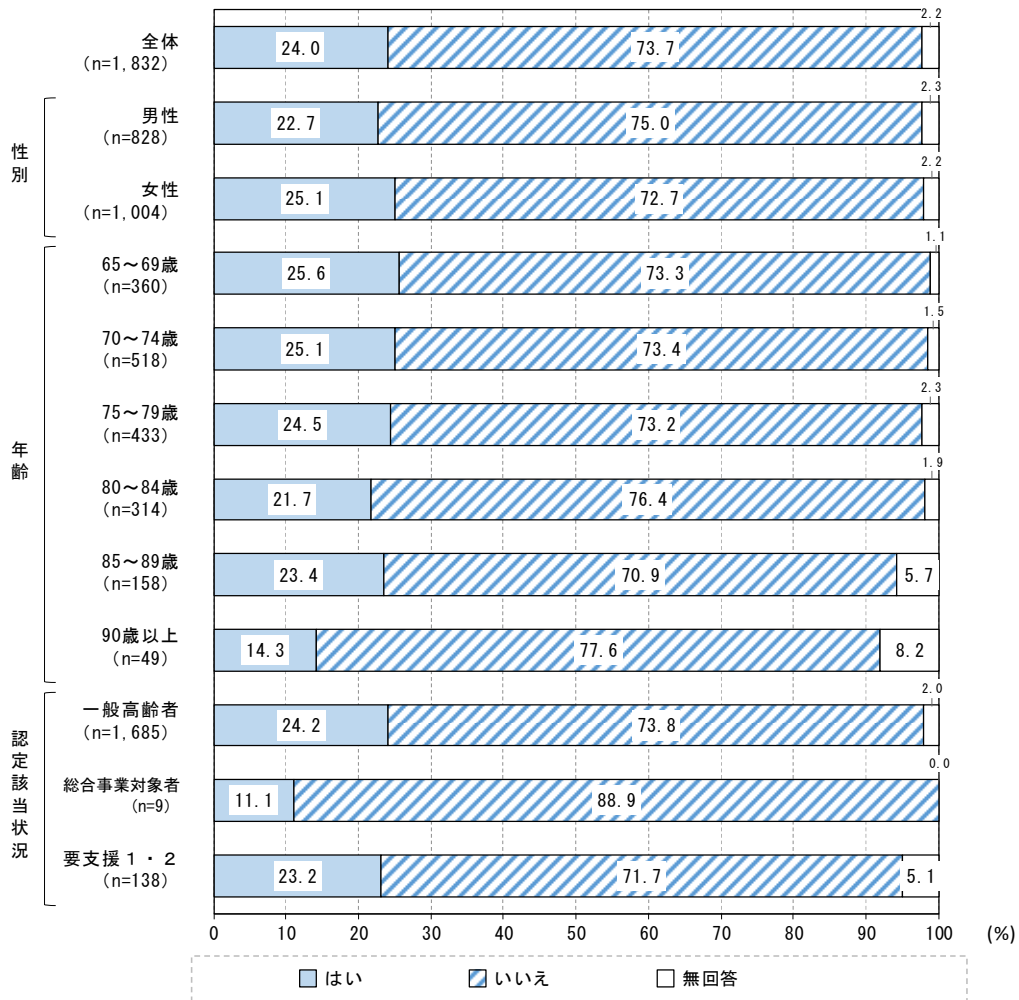


(2) 認知症の相談窓口の周知状況

●問8.2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ)

- 認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい」が 24.0%、「いいえ」が 73.7%となっています。
- 前回調査との比較では、「はい」は前回調査 (27.0%) と比べて 3.0 ポイント低下しています。

【図表 8-2 認知症に関する相談窓口の周知状況】



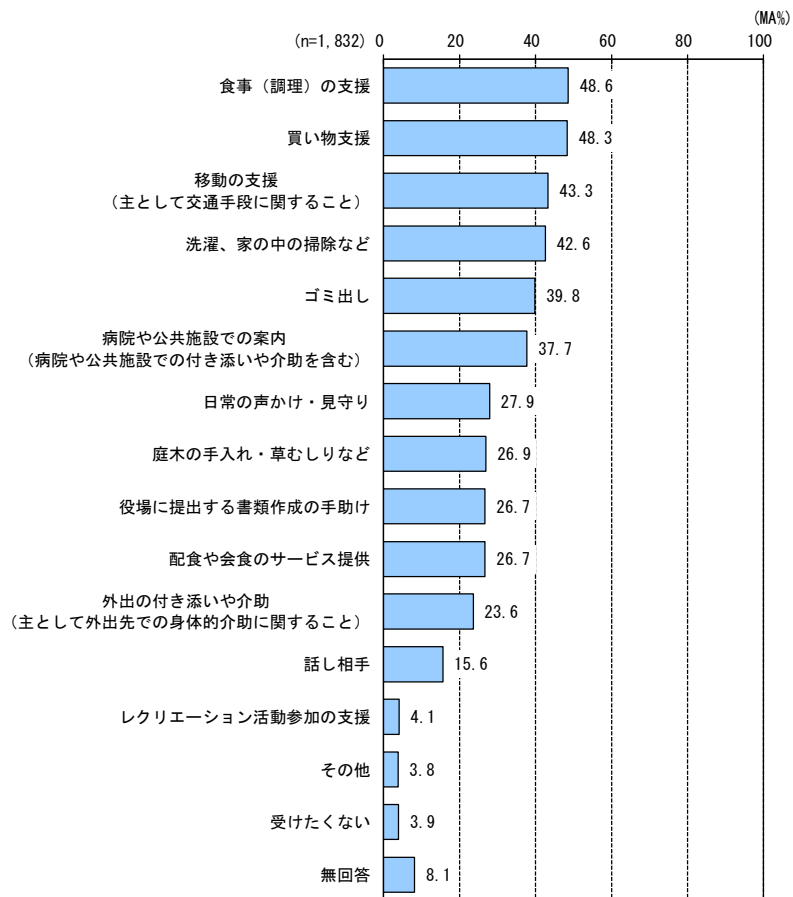
## 11. 日常生活について

### (1) 日常的に受けたい支援

●問9.1 あなたご自身に介護が必要になった場合、日常的に受けたいと思う支援は何ですか。(いくつでも)

- 介護が必要になった場合、日常的に受けたいと思う支援について、「食事（調理）の支援」が48.6%で最も多く、次いで「買い物支援」が48.3%、「移動の支援（主として交通手段に関する事）」が43.3%となっています。
- 認定該当状況についてみると、総合事業対象者、要支援1・2では「病院や公共施設での案内（病院や公共施設での付き添いや介助を含む）」が5割以上と一般高齢者に比べて多くなっています。
- 家族構成についてみると、1人暮らし、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）では「ゴミ出し」が約4割と他の区分に比べて多くなっています。また、息子・娘との2世帯では「買い物支援」が36.1%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 介護・介助の必要性についてみると、介護・介助が必要な人ほど「外出の付き添いや介助（主として外出先での身体的介助に関する事）」、「病院や公共施設での案内（病院や公共施設での付き添いや介助を含む）」が多くなる傾向がみられます。
- 経済状況についてみると、経済状況が苦しいほど「移動の支援（主として交通手段に関する事）」が48.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 主観的健康感についてみると、主観的健康観が悪いほど「移動の支援（主として交通手段に関する事）」が多くなる傾向がみられます。
- 幸福感についてみると、「レクリエーション活動参加の支援」と回答した方では、とても幸せ（10点）が5.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 各種リスク判定結果についてみると、運動器の機能低下リスクに該当している方、IADL（手段的自立度）が3点以下の方には、「移動の支援（主として交通手段に関する事）」がそれぞれ46.8%、47.1%と2番目に多くなっています。また、たすけあいの合計点が2点以下の方では「洗濯、家の中の掃除など」が多くなっています。

【図表 9-1 介護必要時に希望する支援(MA)】



		介護が必要になった場合、日常的に受けたいと思う支援															
認定該当状況	母数 (n)	日常生活の声かけ・見守り	洗濯、家の中の掃除など	ゴミ出し	草庭むしりなど	食事（調理）の支援	買い物支援	話し相手	（移）主として交通手段	（外）病院や公共施設での案内	書役作成の手助け	配食や会食のサービス提供	活動参加の支援	その他	受けたくない	無回答	
				27.9	42.6	39.8	26.9	48.6	48.3	15.6	43.3	23.6	37.7	26.7	26.7	4.1	3.8
	全体	27.9	42.6	39.8	26.9	48.6	48.3	15.6	43.3	23.6	37.7	26.7	26.7	4.1	3.8	3.9	8.1
	一般高齢者	27.7	42.8	39.6	26.5	49.0	48.3	15.1	42.9	23.2	36.4	26.6	26.6	4.1	4.0	3.9	8.3
	総合事業対象者	9	△ 55.6	△ 66.7	△ 66.7	△ 77.8	△ 66.7	△ 55.6	△ 77.8	△ 55.6	△ 66.7	△ 44.4	△ 44.4	11.1	-	-	-
	要支援1・2	138	29.0	38.4	40.6	28.3	42.0	19.6	46.4	26.1	△ 51.4	26.8	31.2	4.3	1.4	3.6	6.5
	1人暮らし	285	31.6	43.2	44.6	33.0	40.7	17.5	41.1	22.5	40.7	28.4	28.1	5.3	4.9	3.5	7.4
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	809	29.5	46.7	45.4	28.2	54.6	15.1	45.1	24.0	39.7	27.3	30.5	4.2	2.6	4.1	5.4
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	83	31.3	45.8	38.6	33.7	53.0	18.1	41.0	25.3	43.4	33.7	36.1	4.8	1.2	-	10.8
	息子・娘との2世帯	355	25.9	36.9	▼ 29.6	21.1	43.7	▼ 36.1	40.6	22.0	33.8	22.0	17.2	2.8	5.1	4.2	10.7
	その他	264	21.6	38.6	34.5	24.2	47.0	12.5	45.8	26.1	34.5	27.3	23.9	4.5	5.7	4.9	10.2
	介護・介助は必要ない	1,516	28.4	42.8	40.4	26.7	49.6	15.0	43.4	23.3	37.2	26.5	26.6	4.6	3.9	4.1	7.3
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	121	28.1	43.8	40.5	25.6	48.8	16.5	41.3	24.8	39.7	31.4	25.6	3.3	2.5	3.3	11.6
	現在、何らかの介護を受けている	125	23.2	44.0	40.0	31.2	42.4	20.8	44.8	28.0	46.4	27.2	29.6	2.4	4.8	4.0	7.2
	大変苦しい	127	21.3	41.7	38.6	19.7	41.7	11.8	48.0	21.3	37.0	34.6	23.6	3.1	2.4	6.3	11.8
	やや苦しい	399	28.6	43.6	40.4	28.3	47.4	14.5	44.6	23.6	37.1	30.3	29.3	4.3	3.5	4.0	10.3
	ふつう	1,112	28.1	42.4	40.4	27.4	50.4	16.5	42.7	23.9	38.8	25.7	25.6	4.1	4.0	3.8	6.7
	ややゆとりがある	143	32.2	44.8	39.2	27.3	49.7	14.7	44.8	26.6	35.0	18.2	32.2	5.6	4.9	1.4	4.9
	大変ゆとりがある	23	21.7	43.5	43.5	26.1	39.1	13.0	▼ 30.4	17.4	34.8	17.4	21.7	4.3	-	8.7	21.7
	とてもよい	137	35.8	44.5	40.9	29.9	48.2	24.1	37.2	26.3	35.0	27.7	26.3	8.8	5.8	8.8	8.0
	まあよい	1,277	28.3	42.2	39.3	25.8	49.5	14.8	43.2	23.1	38.1	26.2	26.2	4.3	4.1	3.4	7.6
	あまりよくない	312	24.4	46.2	42.0	30.4	48.4	12.8	47.1	25.0	38.8	27.2	29.8	2.2	2.2	1.9	8.3
	よくない	54	27.8	40.7	40.7	24.1	44.4	22.2	△ 53.7	31.5	38.9	△ 38.9	29.6	1.9	1.9	13.0	7.4
	とても幸せ(10点)	224	28.1	38.4	37.1	25.9	47.3	17.9	43.8	27.7	39.3	24.1	22.8	5.4	2.7	5.8	12.1
	幸せ(7～9点)	891	30.1	43.1	39.1	27.5	47.1	14.6	43.5	22.7	35.5	23.0	25.3	4.4	5.1	3.8	6.2
	ふつう(4～6点)	592	25.8	43.8	42.2	26.9	52.7	15.5	43.9	23.6	41.9	33.3	29.9	3.4	2.2	2.9	8.6
	不幸(1～3点)	76	23.7	42.1	39.5	22.4	46.1	17.1	42.1	28.9	40.8	30.3	35.5	2.6	3.9	5.3	5.3
	とても不幸(0点)	10	20.0	40.0	40.0	30.0	40.0	20.0	▼ 50.0	▼ 10.0	▼ 10.0	20.0	30.0	-	-	10.0	-



単位：%

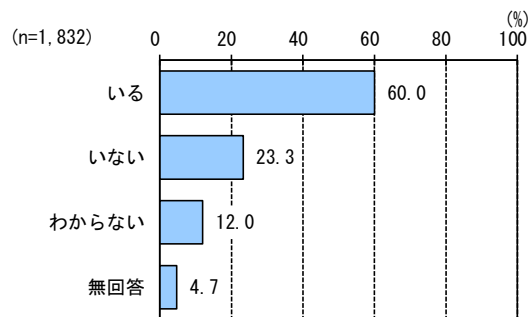
運動器の機能 低下リスク	母数 (n)	介護が必要になった場合、日常的に受けたいと思う支援															
		日常の 声かけ・見 守り	洗濯、家 の中の掃 除など	ゴミ出し	草庭木 むしり手 入れなど	食事（調 理）の支 援	買い物支 援	話し相手	（主として 移動に関 するこ と）	（外出先 での介 助に関 するこ と）	（病院や 公共施 設での 介助を 含む）	役場 作成の 手助け	配食や 会食の サービ ス提供	レクリ アショ ン	その他	受 け た く な い	無 回 答
全体	1,832	27.9	42.6	39.8	26.9	48.6	48.3	15.6	43.3	23.6	37.7	26.7	26.7	4.1	3.8	3.9	8.1
該当	301	24.9	40.9	39.2	28.2	44.5	47.5	18.6	46.8	25.6	40.5	28.2	30.6	1.7	2.0	3.7	9.6
非該当	1,531	28.5	43.0	39.9	26.6	49.4	48.4	15.0	42.7	23.2	37.2	26.5	25.9	4.6	4.2	3.9	7.8
5点（高い）	1,480	28.7	43.6	40.9	27.6	49.1	49.7	14.9	44.1	23.2	37.7	26.6	27.2	4.6	4.0	3.4	7.3
4点（やや低い）	163	23.9	39.3	32.5	25.8	49.7	45.4	14.7	39.9	22.7	35.0	23.9	24.5	2.5	3.7	6.7	11.0
3点以下（低い）	121	29.8	43.8	43.8	26.4	48.8	44.6	22.3	47.1	35.5	46.3	34.7	29.8	2.5	2.5	5.8	5.8
該当	837	28.4	46.8	43.0	29.4	50.9	51.7	18.0	46.8	25.8	42.5	30.9	31.2	4.2	2.9	3.1	6.0
非該当	995	27.5	39.1	37.1	24.7	46.6	45.3	13.6	40.4	21.7	33.7	23.2	22.9	4.1	4.6	4.5	9.9
4点	1,441	28.5	43.9	40.7	27.4	50.5	50.8	14.5	45.6	24.4	38.4	26.0	26.9	4.3	3.3	3.4	7.3
3点	206	26.2	37.9	39.3	28.6	41.7	42.2	24.8	38.8	23.3	36.4	30.1	29.1	5.3	6.3	5.8	8.3
2点	89	30.3	39.3	34.8	22.5	39.3	37.1	13.5	29.2	21.3	36.0	30.3	18.0	3.4	5.6	5.6	11.2
1点	35	25.7	48.6	40.0	17.1	54.3	42.9	17.1	45.7	20.0	40.0	37.1	37.1	-	5.7	2.9	11.4
0点	23	13.0	47.8	39.1	26.1	43.5	43.5	8.7	21.7	8.7	30.4	26.1	17.4	-	4.3	8.7	17.4

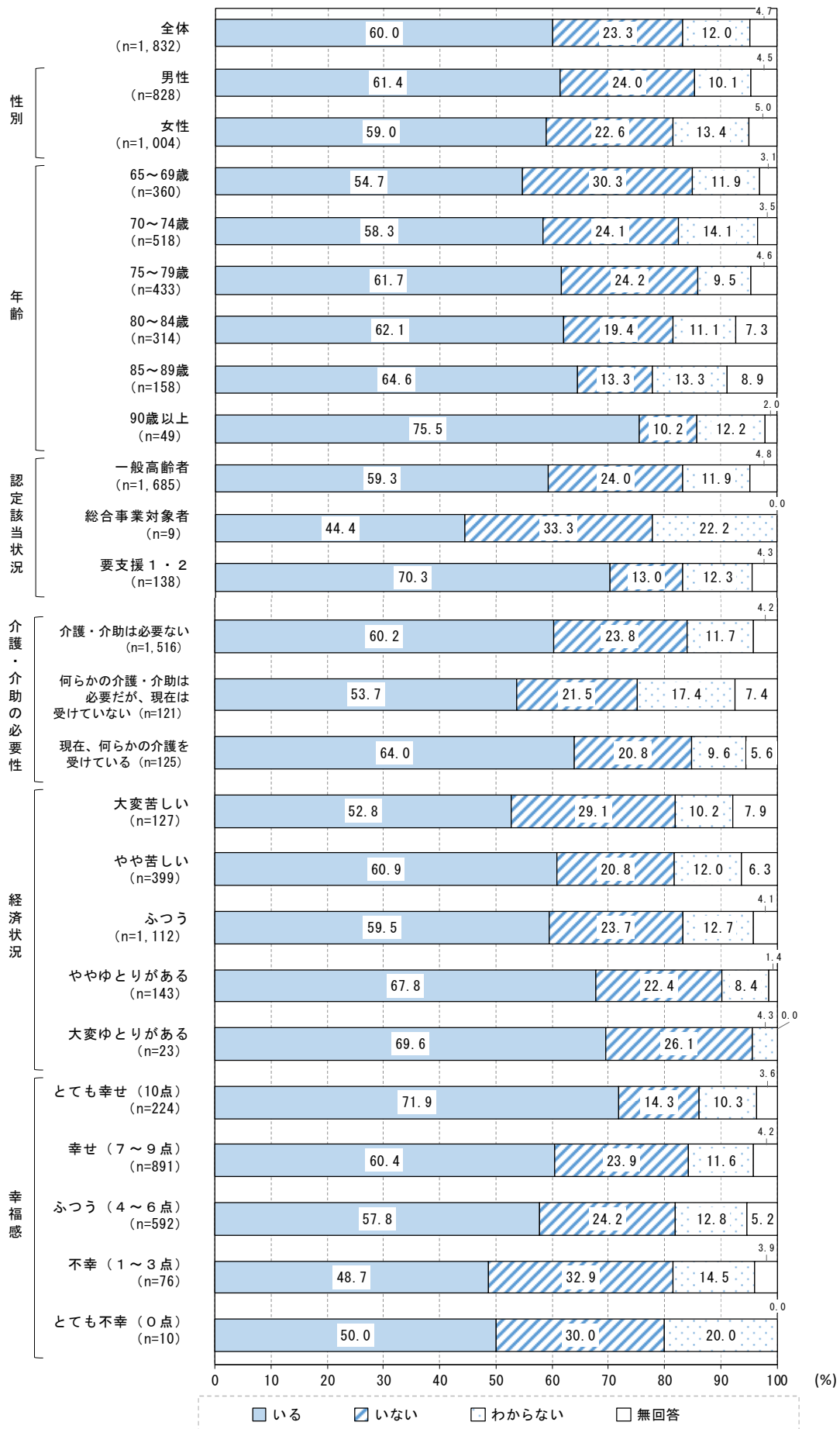
## (2) かかりつけ医の有無

### ●問9.2 普段から健康について相談ができるかかりつけ医がいますか。(1つだけ)

- かかりつけ医の有無について、「いる」が60.0%で最も多く、次いで「いない」が23.3%、「わからない」が12.0%となっています。
- 年齢についてみると、年齢が高いほど「いる」の割合が多くなっています。
- 認定該当状況についてみると、要支援1・2では「いる」が70.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 経済状況についてみると、経済的にゆとりがあるほど「いる」の割合が多くなる傾向がみられます。
- 幸福感についてみると、幸福感が高いほど「いる」の割合が多くなる傾向がみられます。
- 治療中または後遺症のある病気の有無についてみると、治療中または後遺症のある病気が無い方では、「いない」が48.7%となっています。
- 高血圧では72.7%、心臓病では74.4%と他の区分に比べて「いる」の割合が多くなっています。一方、うつ病では47.1%と他の区分に比べて少なくなっています。

【図表 9-2 かかりつけ医の有無】





単位：％

		母数 (n)	かかりつけ医の有無			
			いる	いない	わからない	無回答
全体		1,832	60.0	23.3	12.0	4.7
現在治療中、 または後遺症の ある病気	ない	267	▼ 35.6	△ 48.7	12.0	3.7
	高血圧	774	△ 72.7	▼ 11.6	11.1	4.5
	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	59	64.4	22.0	13.6	-
	心臓病	180	△ 74.4	▼ 12.2	7.8	5.6
	糖尿病	274	64.6	19.3	10.6	5.5
	高脂血症(脂質異常)	273	68.9	15.8	12.8	2.6
	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	97	58.8	16.5	12.4	12.4
	胃腸・肝臓・胆のうの病気	102	57.8	21.6	14.7	5.9
	腎臓・前立腺の病気	141	68.1	19.9	6.4	5.7
	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	184	66.3	19.6	12.0	2.2
	外傷(転倒・骨折等)	57	59.6	24.6	15.8	-
	がん(悪性新生物)	90	62.2	22.2	10.0	5.6
	血液・免疫の病気	41	68.3	14.6	12.2	4.9
	うつ病	17	▼ 47.1	29.4	△ 23.5	-
	認知症 (アルツハイマー病等)	22	68.2	27.3	-	4.5
	パーキンソン病	5	60.0	-	20.0	20.0
	目の病気	315	61.3	20.6	12.4	5.7
耳の病気	114	63.2	18.4	15.8	2.6	
その他	164	51.2	27.4	16.5	4.9	

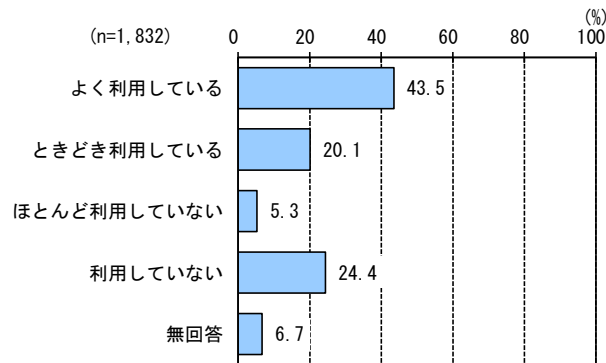
### (3) スマートフォン等の利用状況

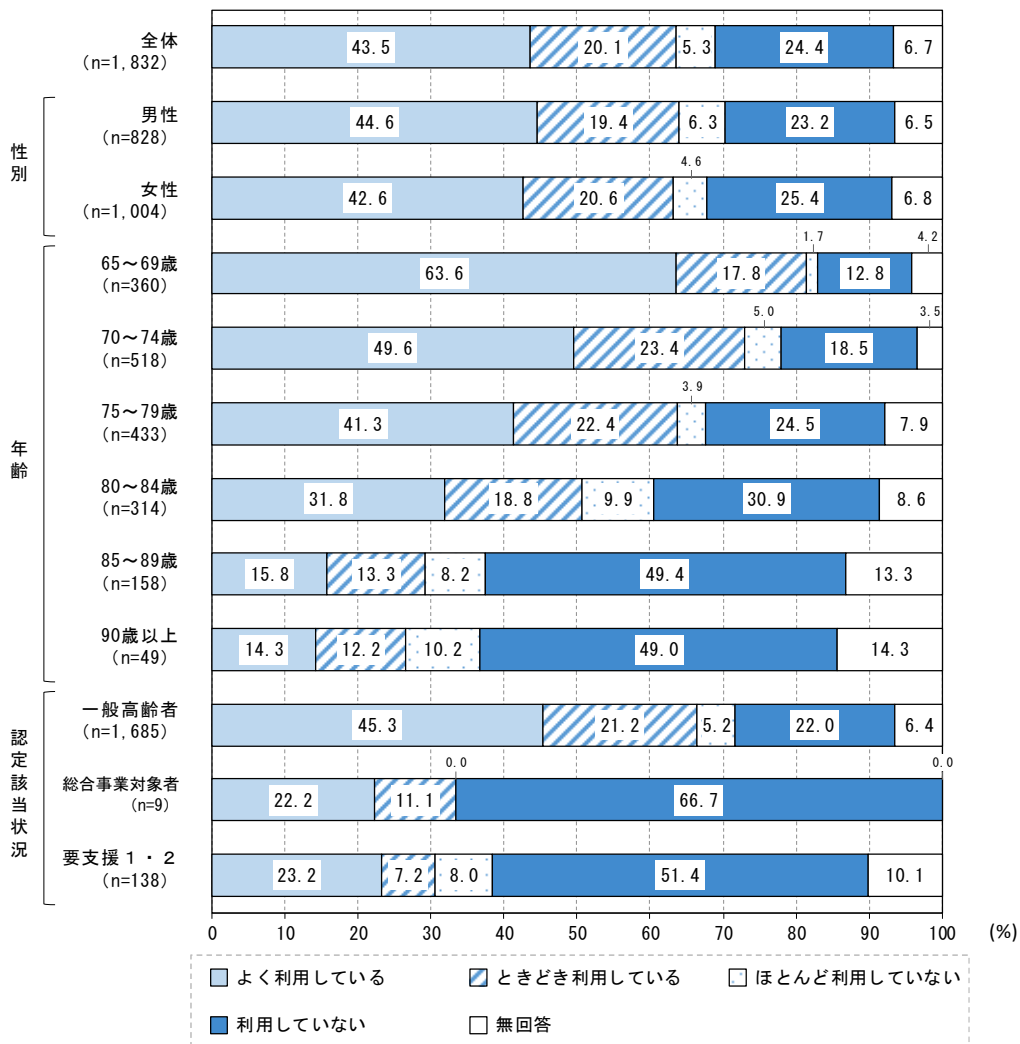
#### ① スマートフォン等の利用有無

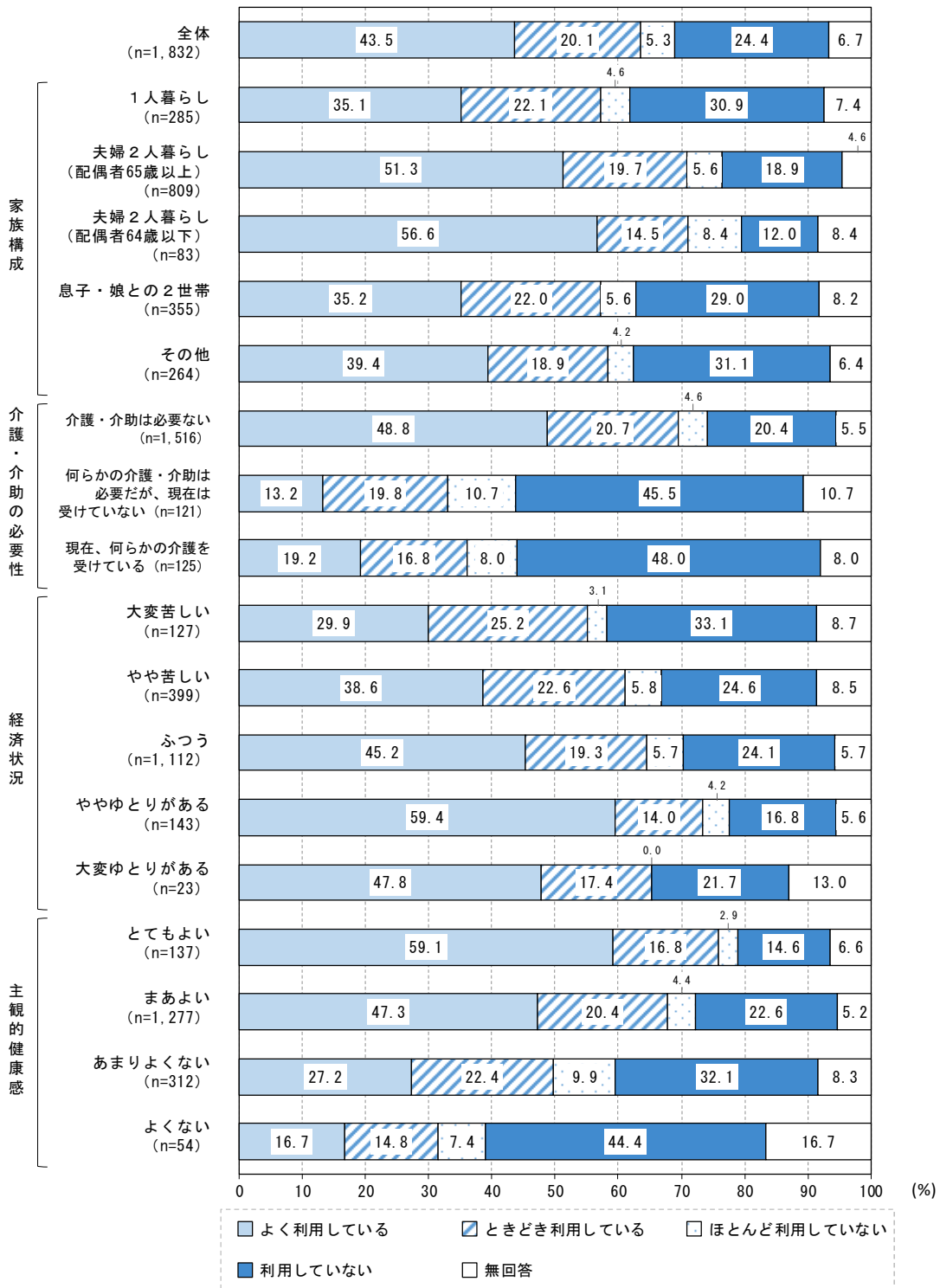
●問9.3 あなたは、スマートフォンやタブレットを利用していますか。(1つだけ)

- スマートフォンやタブレットについて、「よく利用している」が 43.5%で最も多く、次いで「利用していない」が 24.4%、「ときどき利用している」が 20.1%となっています。
- 年齢についてみると、年齢が高いほど「よく利用している」「ときどき利用している」を合わせた“利用している”が少なくなる傾向がみられます。
- 家族構成についてみると、夫婦2人暮らしでは「よく利用している」が5割以上と他の区分に比べて多くなっています。
- 介護・介助の必要性についてみると、介護・介助が必要な人ほど「利用していない」が多くなる傾向がみられます。
- 経済状況についてみると、経済的にゆとりがあるほど“利用している”の割合がおおむね多くなる傾向がみられます。
- 主観的健康感についてみると、主観的健康観が良いほど“利用している”の割合が多くなっています。
- 各種リスク判定結果についてみると、IADL（手段的自立度）の点数が低い方（3点以下）では、「利用していない」割合が多くなっています。

【図表 9-3 スマートフォンやタブレットの利用の有無】







単位：%

		母数 (n)	スマートフォンやタブレットについて				無 回 答
			しよ てく い利 用	しと てき いど き利 用	しほ てい んど ない 利用	利 用 し て い な い	
全体		1,832	43.5	20.1	5.3	24.4	6.7
運動器の機能 低下リスク	該当	301	▼ 21.3	20.3	7.0	△ 39.5	12.0
	非該当	1,531	47.9	20.1	5.0	21.4	5.6
転倒リスク	該当	664	37.5	22.0	6.3	27.6	6.6
	非該当	1,168	46.9	19.0	4.8	22.6	6.7
閉じこもりの リスク	該当	397	▼ 27.0	21.4	9.1	33.8	8.8
	非該当	1,435	48.1	19.7	4.3	21.8	6.1
栄養改善の リスク	該当	143	▼ 31.5	20.3	9.1	30.8	8.4
	非該当	1,689	44.5	20.1	5.0	23.9	6.5
口腔機能の 低下リスク	該当	502	▼ 33.5	25.1	6.0	26.7	8.8
	非該当	1,330	47.3	18.2	5.1	23.5	5.9
認知機能の 低下リスク	該当	832	40.3	20.8	6.6	26.6	5.8
	非該当	1,000	46.2	19.5	4.3	22.6	7.4
IADL	5点（高い）	1,480	48.8	20.7	4.7	20.1	5.6
	4点（やや低い）	163	▼ 26.4	22.7	5.5	△ 36.2	9.2
	3点以下（低い）	121	▼ 14.9	▼ 9.9	8.3	△ 60.3	6.6
うつのリスク	該当	837	39.8	23.4	5.7	24.6	6.5
	非該当	995	46.6	17.3	5.0	24.2	6.8
たすけあいの 合計点	4点	1,441	48.2	20.8	5.0	20.6	5.4
	3点	206	▼ 32.0	18.4	6.3	△ 35.0	8.3
	2点	89	▼ 16.9	13.5	3.4	△ 52.8	13.5
	1点	35	▼ 17.1	14.3	2.9	△ 48.6	17.1
	0点	23	▼ 26.1	△ 30.4	13.0	21.7	8.7
地域づくり活動に 対する参加者とし ての参加意向	是非参加したい	95	49.5	17.9	3.2	23.2	6.3
	参加してもよい	898	51.0	21.5	4.9	17.9	4.7
	参加したくない	638	34.3	18.5	6.1	△ 34.6	6.4
	既に参加している	95	52.6	26.3	3.2	▼ 12.6	5.3
地域づくり活動に 対するお世話役と しての参加意向	是非参加したい	34	47.1	14.7	8.8	23.5	5.9
	参加してもよい	517	53.4	18.8	5.2	16.4	6.2
	参加したくない	1,102	40.2	21.1	4.6	28.7	5.4
	既に参加している	67	52.2	23.9	6.0	16.4	1.5
認知症の症状があ る又は家族に認知 症の症状がある人 がいるか	はい	191	39.8	18.8	4.2	30.4	6.8
	いいえ	1,599	44.5	20.5	5.4	23.5	6.2

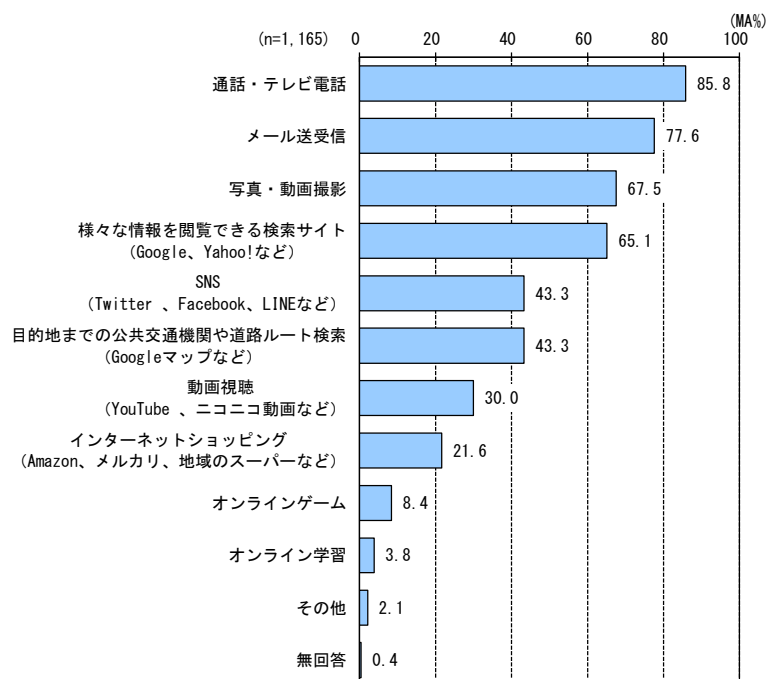


## ② 利用している機能

### ●問9.3-1 どのような機能を利用していますか。(いくつでも)

- 利用している機能について、「通話・テレビ電話」が 85.8%で最も多く、次いで「メール送受信」が 77.6%、「写真・動画撮影」が 67.5%となっています。
- 性別についてみると、男性では「インターネットショッピング (Amazon、メルカリ、地域のスーパー)」が 26.8%と女性に比べて多くなっています。女性では「写真・動画撮影」が 70.4%と男性に比べて多くなっています。
- 年齢についてみると、90 歳以上では「通話・テレビ電話」が 61.5%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 家族構成についてみると、夫婦 2 人暮らし (配偶者 64 歳以下) では「写真・動画撮影」が 72.9%、「目的地までの公共交通機関や道路ルート検索 (Google マップなど)」が 59.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 介護・介助の必要性についてみると、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない方では「メール送受信」が 50.0%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 経済状況についてみると、経済的に大変ゆとりがある方では「動画視聴 (YouTube、ニコニコ動画など)」「メール送受信」を除くすべての項目で他の区分に比べて多くなっています。
- 経済的にゆとりがあるほど「様々な情報を閲覧できる検索サイト (Google、Yahoo!など)」の割合が多くなる傾向がみられます。
- 主観的健康感についてみると、主観的健康観がまあよいと回答した方では「通話・テレビ電話」が 87.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 主観的健康観がとてもよいと回答した方では「様々な情報を閲覧できる検索サイト (Google、Yahoo!など)」が 78.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 幸福感についてみると、幸福感が低いほど「写真・動画撮影」が少なくなる傾向がみられます。また、とても不幸 (0 点) と回答した方では「メール送受信」が 40.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

【図表 9-4 利用している機能 (MA)】



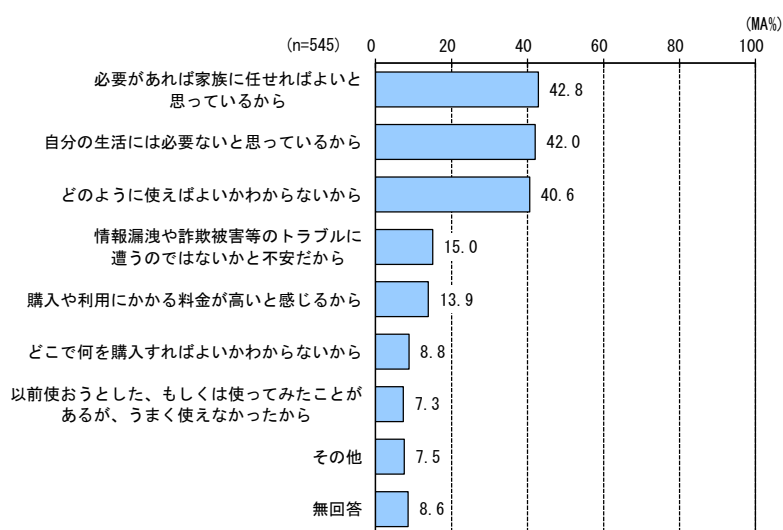
	母数 (n)	利用している機能										無回答		
		通話・テレビ電話	Y(様々な情報などを閲覧できる)	LF(Social Networkingなど)	オンライン(ブログ、メール、SNSなど)	動画(YouTubeなど)	写真・動画撮影	メール送受信	パソコン学習	オンラインゲーム	その他			
	全体	1,165	85.8	65.1	43.3	21.6	30.0	67.5	77.6	43.3	3.8	8.4	2.1	0.4
性別		530	84.2	67.4	41.3	26.8	34.2	64.0	73.6	47.7	3.6	7.4	3.2	0.2
	女性	635	87.1	75.4	45.0	17.3	26.5	70.4	80.9	39.5	3.9	9.3	1.1	0.6
年齢		293	87.7	75.4	47.4	30.4	42.0	72.4	80.5	47.1	4.1	10.6	2.4	0.3
	65~69歳	378	86.0	69.3	47.9	22.5	32.5	68.8	82.0	48.7	5.0	9.5	1.3	0.5
	70~74歳	276	86.2	58.0	38.0	16.3	21.0	65.9	73.6	39.5	2.9	6.9	1.8	-
	75~79歳	159	83.6	57.9	38.4	18.2	23.3	67.3	76.7	37.7	3.1	5.0	3.8	-
	80~84歳	46	82.6	41.3	32.6	8.7	13.0	43.5	63.0	19.6	-	4.3	-	2.2
	85~89歳	13	61.5	30.8	30.8	-	15.4	38.5	30.8	30.8	-	15.4	7.7	7.7
	90歳以上	1,120	85.8	65.8	43.8	21.7	30.4	67.9	77.8	44.0	3.6	8.7	2.0	0.4
認定該当状況		3	66.7	33.3	33.3	-	-	66.7	100.0	-	-	-	-	-
	総合事業対象者	42	85.7	47.6	31.0	21.4	19.0	54.8	71.4	26.2	9.5	2.4	4.8	2.4
	要支援1・2	163	85.3	52.1	49.7	21.5	30.7	66.9	79.1	35.0	2.5	11.0	2.5	1.2
家族構成		574	85.7	70.2	43.6	22.5	27.7	69.3	78.6	44.6	4.7	8.5	1.9	0.2
	1人暮らし	59	89.8	67.8	52.5	27.1	39.0	72.9	72.9	59.3	-	3.4	-	1.7
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	203	82.8	65.5	38.4	20.7	30.5	65.5	72.9	44.3	3.4	8.4	3.0	0.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	154	88.3	59.1	40.9	18.8	34.4	63.6	81.8	39.0	3.9	7.8	1.9	-
	息子・娘との2世帯	1,054	85.8	67.7	45.1	22.6	31.1	69.2	78.7	45.0	3.6	8.3	2.0	0.3
介護・介助の必要性		40	82.5	35.0	20.0	12.5	20.0	40.0	50.0	25.0	5.0	7.5	5.0	5.0
	介護・介助は必要ない	45	86.7	42.2	31.1	13.3	15.6	57.8	75.6	20.0	6.7	8.9	2.2	-
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	70	88.6	47.1	37.1	17.1	22.9	64.3	72.9	37.1	1.4	4.3	-	-
	現在、何らかの介護を受けている	244	85.7	60.7	36.9	20.1	24.2	63.9	74.6	32.4	3.7	8.2	2.5	0.8
経済状況		718	84.0	65.6	45.1	22.0	31.5	68.2	78.7	46.1	3.9	8.9	2.4	0.4
	大変ゆとりがある	105	93.3	81.9	49.5	25.7	39.0	72.4	85.7	53.3	4.8	10.5	1.0	-
	ややゆとりがある	15	93.3	93.3	53.3	33.3	20.0	80.0	73.3	60.0	6.7	-	-	-
	大変ゆとりがある	104	84.6	78.8	57.7	33.7	41.3	72.1	78.8	62.5	4.8	10.6	1.0	-
主観的健康感		865	87.2	65.8	44.5	21.5	29.0	68.6	79.3	44.6	3.9	8.6	2.0	0.5
	とてもよい	155	80.6	54.8	30.3	17.4	29.0	58.1	70.3	26.5	1.9	5.2	3.2	0.6
	あまりよくない	17	82.4	64.7	41.2	5.9	29.4	82.4	58.8	35.3	5.9	11.8	-	-
	よくない	144	84.0	64.6	43.8	23.6	30.6	71.5	75.7	52.8	6.3	8.3	2.8	0.7
幸福感		613	88.9	70.1	48.0	22.5	33.3	70.6	81.7	47.3	4.2	10.0	1.5	0.3
	とても幸せ(10点)	344	82.3	58.1	36.9	19.8	23.3	62.5	73.8	33.7	1.7	6.4	2.3	0.3
	幸せ(7~9点)	40	80.0	57.5	35.0	22.5	40.0	55.0	60.0	37.5	2.5	2.5	7.5	2.5
	ふつう(4~6点)	5	80.0	40.0	40.0	20.0	-	40.0	40.0	20.0	-	-	-	-
	不幸(1~3点)													
	とても不幸(0点)													

### ③ 利用していない理由

#### ●問9.3-2 利用していない理由は何ですか。(いくつでも)

- 利用していない理由について、「必要があれば家族に任せればよいと思っているから」が 42.8%で最も多く、次いで「自分の生活には必要ないと思っているから」が 42.0%、「どのように使えばよいかわからないから」が 40.6%となっています。
- 性別についてみると、女性では「必要があれば家族に任せればよいと思っているから」が 46.8%と男性に比べて多くなっています。
- 年齢についてみると、70～74 歳では「どこで何を購入すればよいかわからないから」が 4.1%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 65～69 歳では「自分の生活には必要ないと思っているから」が 55.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 年齢が高いほど「必要があれば家族に任せればよいと思っているから」が多くなる傾向がみられます。
- 家族構成についてみると、息子・娘との2世帯では「必要があれば家族に任せればよいと思っているから」が 56.9%と他の区分に比べて多くなっています。
- 介護・介助の必要性についてみると、介護・介助が必要な人ほど「自分の生活には必要ないと思っているから」が少なくなる傾向がみられます。
- 経済状況についてみると、経済的に苦しいほど「どのように使えばよいかわからないから」が多くなる傾向がみられます。
- 主観的健康感についてみると、主観的健康観がまあよいと回答した方では「自分の生活には必要ないと思っているから」が 44.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 主観的健康観が悪いほど「必要があれば家族に任せればよいと思っているから」が多くなる傾向がみられます。

【図表 9-5 利用していない理由 (MA)】



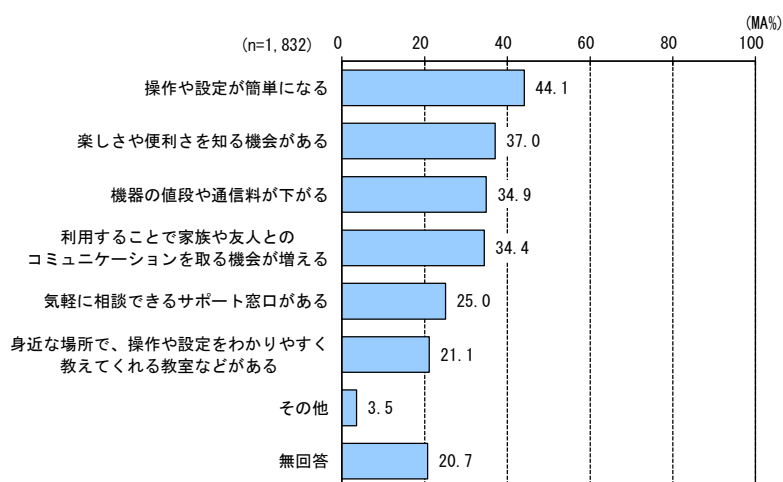
	母数 (n)	利用していない理由										その他	無 回 答
		かばど らよい か何 かを 購入 する ない	いど わよ から に い え ば ら よ	くこ も し 前 は お う つ が た ら ま た	だの 等 情 報 は ト ラ シ カ ル 詐 と に 欺 不 遭 被 害 を う け る	か料 購 入 が 高 利 用 に 感 じ か ら る	ら な 自 分 の 思 っ て い は る 必 要 か	て 任 務 が あ ら ば い は る 必 要 か	そ の 他				
	545	8.8	40.6	7.3	15.0	13.9	42.0	42.8	7.5	8.6			
	244	9.8	42.6	7.8	15.2	14.3	37.7	37.7	8.2	6.6			
性別	301	8.0	38.9	7.0	15.0	13.6	42.2	46.8	7.0	10.3			
	52	11.5	46.2	11.5	21.2	19.2	△ 55.8	40.4	1.9	1.9			
	122	4.1	34.4	7.4	17.2	11.5	41.8	41.0	9.0	9.0			
年齢	123	12.2	45.5	5.7	15.4	19.5	43.1	41.5	6.5	6.5			
	128	10.2	43.8	7.8	14.8	14.8	42.2	42.2	10.2	6.3			
	91	7.7	31.9	5.5	7.7	8.8	▼ 29.7	46.2	7.7	18.7			
	29	6.9	48.3	10.3	17.2	▼ 3.4	51.7	51.7	3.4	6.9			
認定該当 状況	457	9.0	40.0	7.2	15.8	15.1	43.3	42.7	7.2	7.9			
	6	-	33.3	-	-	16.7	-	△ 66.7	16.7	16.7			
	82	8.5	43.9	8.5	12.2	7.3	37.8	41.5	8.5	12.2			
	101	16.8	44.6	8.9	15.8	22.8	37.6	▼ 22.8	12.9	11.9			
家族構成	198	7.1	39.9	7.6	14.6	13.1	46.5	36.9	8.6	8.1			
	17	5.9	△ 52.9	5.9	11.8	-	▼ 17.6	▼ 29.4	5.9	11.8			
	123	8.1	38.2	6.5	11.4	12.2	41.5	△ 56.9	4.1	8.9			
	93	5.4	38.7	7.5	20.4	11.8	46.2	△ 57.0	4.3	4.3			
介護・介助の 必要性	378	9.3	38.9	5.8	16.1	14.0	46.3	42.1	7.1	7.9			
	68	13.2	44.1	11.8	13.2	20.6	33.8	42.6	8.8	10.3			
	70	4.3	44.3	7.1	8.6	7.1	32.9	45.7	8.6	8.6			
経済状況	46	15.2	50.0	13.0	21.7	△ 30.4	47.8	45.7	6.5	6.5			
	121	5.8	45.5	5.8	19.8	△ 24.0	35.5	37.2	5.8	8.3			
	331	9.7	39.3	7.9	13.3	9.4	43.8	45.0	7.9	8.5			
	30	3.3	▼ 26.7	-	-	▼ 3.3	46.7	36.7	10.0	10.0			
	5	△ 20.0	▼ 20.0	△ 20.0	△ 40.0	-	△ 60.0	▼ 20.0	△ 20.0	-			
	24	16.7	41.7	8.3	12.5	8.3	41.7	41.7	△ 20.8	8.3			
主観的 健康感	345	7.8	39.4	8.4	16.2	11.9	44.3	42.9	7.2	6.4			
	131	8.4	42.7	6.1	14.5	19.1	37.4	43.5	7.6	8.4			
	28	14.3	△ 57.1	3.6	10.7	21.4	39.3	50.0	-	14.3			
	65	10.8	32.3	7.7	15.4	10.8	41.5	46.2	7.7	12.3			
	233	7.7	36.9	7.7	15.0	9.4	45.1	46.8	8.2	7.3			
幸福感	201	10.4	49.3	7.0	17.4	19.4	38.8	39.8	6.0	6.0			
	32	6.3	40.6	6.3	6.3	15.6	43.8	▼ 31.3	9.4	15.6			
	5	-	▼ 20.0	△ 20.0	-	△ 40.0	▼ 20.0	-	△ 20.0	40.0			

#### ④ スマートフォン等の利用普及につながること

##### ●問9.4 あなたはどんなことがあれば利用につながると思いますか。(いくつでも)

- どんなことがあれば利用につながると思うかについて、「操作や設定が簡単になる」が44.1%で最も多く、次いで「楽しさや便利さを知る機会がある」が37.0%、「機器の値段や通信料が下がる」が34.9%となっています。
- 年齢についてみると、年齢が高いほど「機器の値段や通信料が下がる」や「身近な場所で、操作や設定をわかりやすく教えてくれる教室などがある」が少なくなる傾向がみられます。
- 家族構成についてみると、1人暮らしでは「身近な場所で、操作や設定をわかりやすく教えてくれる教室などがある」が28.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 経済状況についてみると、経済的にゆとりがあるほど「楽しさや便利さを知る機会がある」が多くなる傾向がみられます。
- 主観的健康感についてみると、主観的健康観が悪いほど「楽しさや便利さを知る機会がある」が少なくなる傾向がみられます。
- 幸福感についてみると、幸福感が低いほど「楽しさや便利さを知る機会がある」が少なくなる傾向がみられます。

【図表 9-6 利用につながると思うこと (MA)】



		母数 (n)	どんなことがあれば利用につながると思うか													
			知る 機会が ある	楽し さや 便利 さを	取 る 機 会 が 増 える	友 人 と の コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン を	利 用 す る こ と で 家 族 や	操 作 や 設 定 が 簡 単 に なる	機 器 の 値 段 や 通 信 料 が 下 がる	教 室 な ど が あ る	わ か り や す く 教 え て く れ る	身 近 な 場 所 で 、 操 作 や 設 定 を	サ イ ポ ー ト 窓 口 が あ る	サ イ ポ ー ト 窓 口 が あ る	気 軽 に 相 談 で きる	そ の 他
全体		1,832	37.0	34.4	44.1	34.9	21.1	25.0	3.5	20.7						
性別	男性	828	36.8	31.4	44.0	35.1	21.4	24.9	3.5	20.7						
	女性	1,004	37.1	37.0	44.2	34.8	20.8	25.1	3.5	20.7						
年齢	65～69歳	360	△ 47.2	△ 45.8	51.1	△ 48.3	23.1	31.9	1.9	13.1						
	70～74歳	518	37.8	34.9	47.5	43.2	22.2	27.6	3.3	15.1						
	75～79歳	433	34.9	30.9	43.9	30.7	21.5	24.9	3.0	23.3						
	80～84歳	314	32.2	32.8	37.6	25.5	20.4	18.5	4.5	27.4						
	85～89歳	158	28.5	▼ 24.1	34.2	▼ 12.7	16.5	17.7	5.7	31.6						
	90歳以上	49	28.6	▼ 20.4	▼ 32.7	▼ 18.4	▼ 10.2	▼ 12.2	8.2	34.7						
認定該当 状況	一般高齢者	1,685	37.6	35.3	44.3	36.1	21.7	25.7	3.1	20.1						
	総合事業対象者	9	33.3	△ 55.6	44.4	▼ 22.2	△ 44.4	22.2	-	22.2						
	要支援1・2	138	29.0	▼ 22.5	42.0	▼ 21.7	12.3	16.7	8.7	27.5						
家族構成	1人暮らし	285	30.9	33.3	42.8	35.8	28.4	27.4	2.5	22.1						
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	809	41.3	38.8	44.0	37.1	21.6	28.1	3.5	19.7						
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	83	△ 48.2	43.4	38.6	37.3	26.5	31.3	-	18.1						
	息子・娘との2世帯	355	33.2	29.3	43.7	29.6	16.3	18.3	5.1	22.5						
	その他	264	34.8	27.7	52.7	37.1	18.2	22.3	4.2	16.3						
経済状況	大変苦しい	127	▼ 25.2	▼ 22.8	41.7	36.2	15.7	22.8	5.5	26.8						
	やや苦しい	399	36.6	31.1	45.6	40.9	21.8	25.6	3.3	21.8						
	ふつう	1,112	38.5	36.7	44.8	33.6	22.0	24.8	3.2	19.1						
	ややゆとりがある	143	39.2	37.8	43.4	33.6	17.5	30.1	4.2	19.6						
	大変ゆとりがある	23	43.5	34.8	▼ 26.1	▼ 17.4	21.7	17.4	8.7	21.7						
主観的 健康感	とてもよい	137	46.7	38.0	43.1	39.4	21.2	23.4	5.1	19.7						
	まあよい	1,277	38.7	37.2	46.3	36.6	22.1	26.8	3.0	17.9						
	あまりよくない	312	29.2	26.6	39.4	30.4	19.9	18.9	4.8	26.0						
	よくない	54	▼ 18.5	▼ 22.2	50.0	25.9	▼ 11.1	16.7	7.4	33.3						
幸福感	とても幸せ(10点)	224	42.9	38.4	39.3	28.1	17.0	21.4	4.5	21.0						
	幸せ(7～9点)	891	40.2	38.7	45.0	37.9	21.5	26.7	3.7	17.8						
	ふつう(4～6点)	592	32.4	30.4	46.6	33.3	22.8	23.1	2.9	22.1						
	不幸(1～3点)	76	▼ 23.7	▼ 18.4	39.5	35.5	17.1	31.6	3.9	23.7						
	とても不幸(0点)	10	▼ 20.0	▼ 20.0	▼ 30.0	△ 50.0	30.0	30.0	10.0	40.0						

## 12. 人生の最終段階について

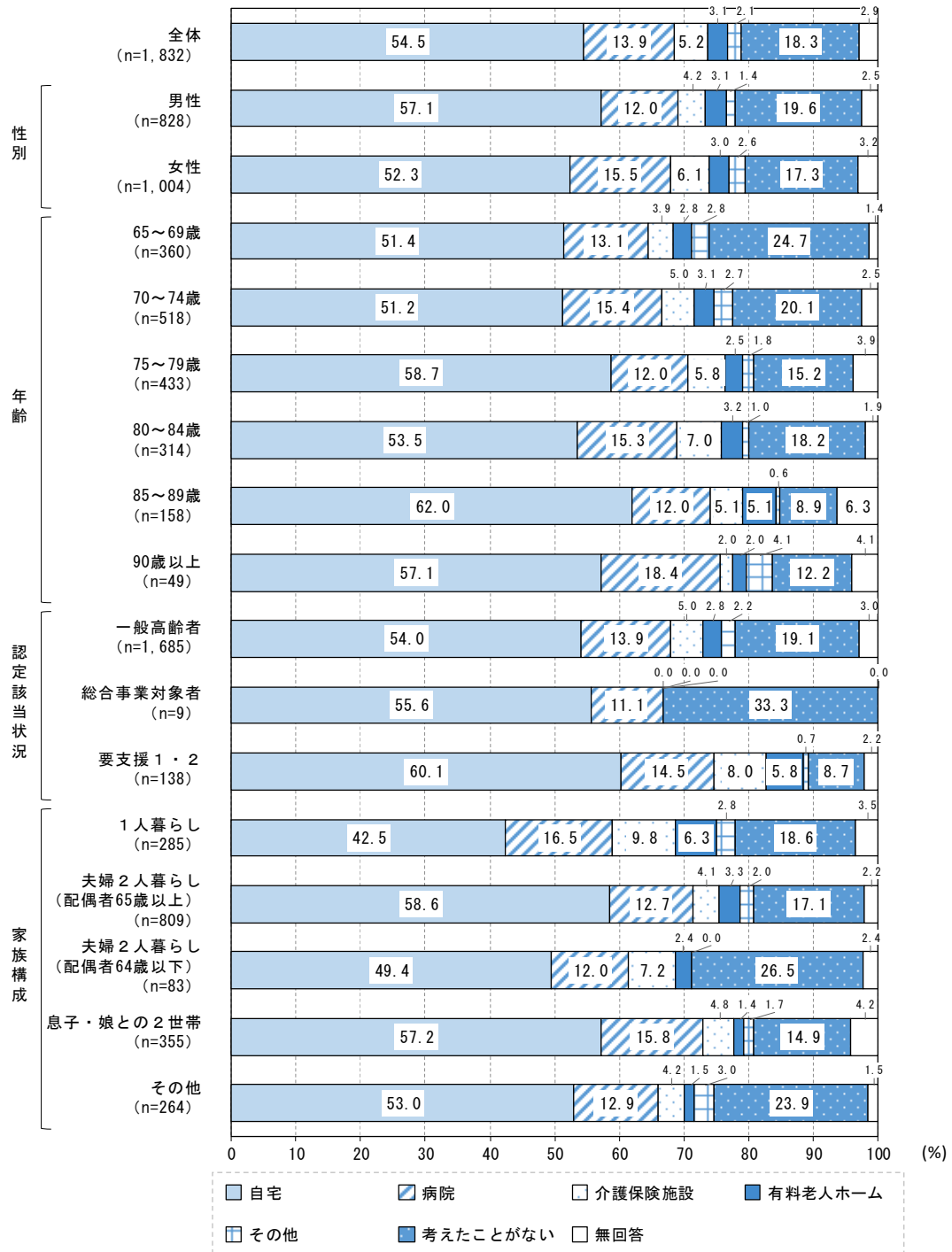
### (1) 人生の最期について

#### ① 人生の最後を迎えたいと思う場所

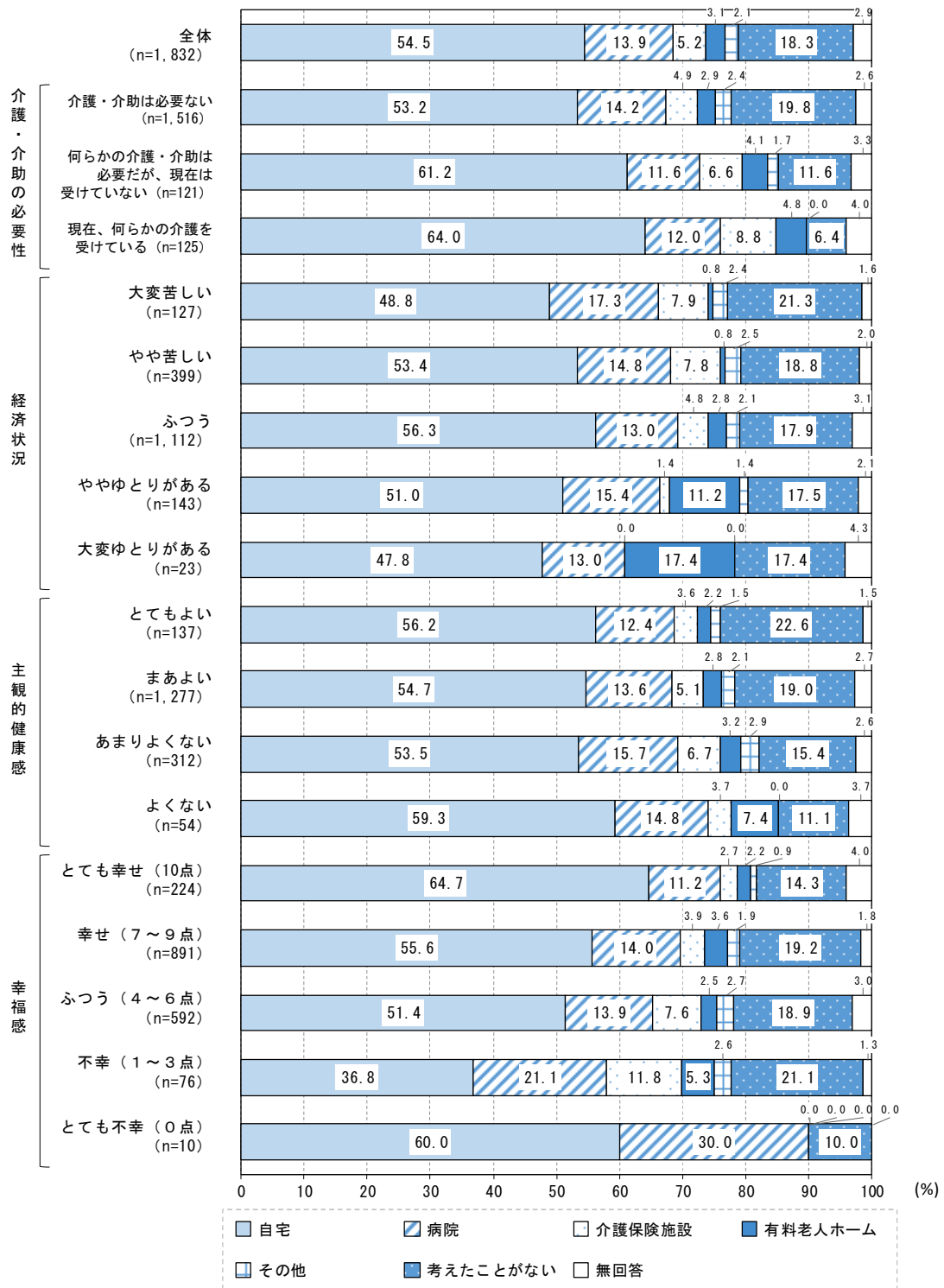
##### ●問10.1 人生の最期を、あなたはどこで迎えたいですか。(1つだけ)

- 人生の最期をどこで迎えたいかについて、「自宅」が 54.5%で最も多く、次いで「考えたことがない」が 18.3%、「病院」が 13.9%となっています。
- 性別についてみると、男性では「自宅」が 57.1%と女性に比べて多くなっています。
- 年齢についてみると、85～89 歳では「自宅」が 62.0%と他の区分に比べて多くなっています。85 歳以上では「考えたことがない」が約 1 割と他の区分に比べて少なくなっています。
- 家族構成についてみると、1 人暮らしでは「自宅」が 42.5%と他の区分に比べて少なくなっています。また、1 人暮らし、息子・娘との 2 世帯では「病院」がそれぞれ 16.5%、15.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 夫婦 2 人暮らし（配偶者 64 歳以下）では「考えたことがない」が 26.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 介護・介助の必要性についてみると、介護・介助が必要な人ほど「自宅」が他の区分に比べて多くなり、「考えたことがない」が少なくなる傾向がみられます。
- 経済状況についてみると、経済的にややゆとりがあると回答した方では「有料老人ホーム」が 11.2%、大変ゆとりがあると回答した方では 17.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 経済的に大変苦しいと回答した方では「考えたことがない」は 21.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 主観的健康感についてみると、主観的健康観があまりよくないと回答した方とよくないと回答した方ではそれぞれ「病院」が 15.7%、14.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 幸福感についてみると、不幸（1～3 点）と回答した方では「自宅」が 36.8%と他の区分に比べて少なくなっています。

【図表 10-1 どこで人生の最期を迎えたいか】





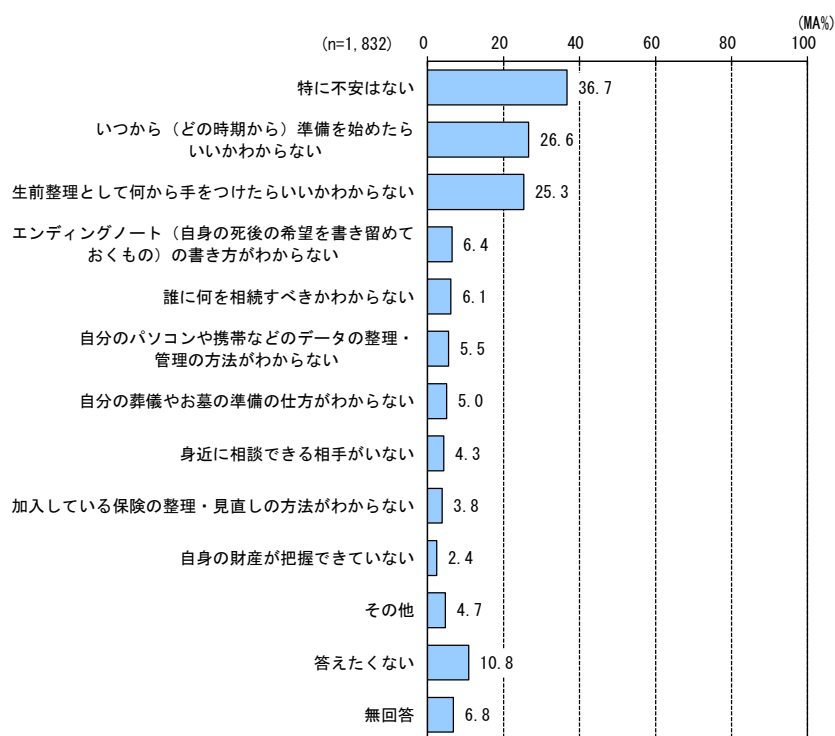


## ② 人生の最終段階について感じている不安

●問10.2 将来、自身の人生の最終段階について考え、その準備を行うにあたり、不安に感じていることはどのようなことですか。(いくつでも)

- 人生の最終段階について考え、その準備を行うにあたり不安に感じていることについて、「特に不安はない」が36.7%で最も多く、次いで「いつから(どの時期から)準備を始めたらいいかかわからない」が26.6%、「生前整理として何から手をつけたらいいかかわからない」が25.3%となっています。
- 年齢についてみると、90歳以上では「生前整理として何から手をつけたらいいかかわからない」が18.4%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 85～89歳では「いつから(どの時期から)準備を始めたらいいかかわからない」が13.9%、90歳以上が14.3%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 介護・介助の必要性についてみると、何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない人では「生前整理として何から手をつけたらいいかかわからない」が33.1%と他の区分に比べて多くなっています。
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない人では「特に不安はない」が30.1%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 経済状況についてみると、経済的にゆとりがあるほど「特に不安はない」が多くなる傾向がみられます。
- 主観的健康感についてみると、主観的健康感がとてもよいと回答した方では「生前整理として何から手をつけたらいいかかわからない」が20.4%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 主観的健康感が悪いほど「特に不安はない」が少なくなる傾向がみられます。
- かかりつけ医の有無についてみると、かかりつけ医の有無について、わからないと回答した方は「生前整理として何から手をつけたらいいかかわからない」「いつから(どの時期から)準備を始めたらいいかかわからない」が多くなっています。

【図表 10-2 人生の最終段階について不安に感じていること (MA)】



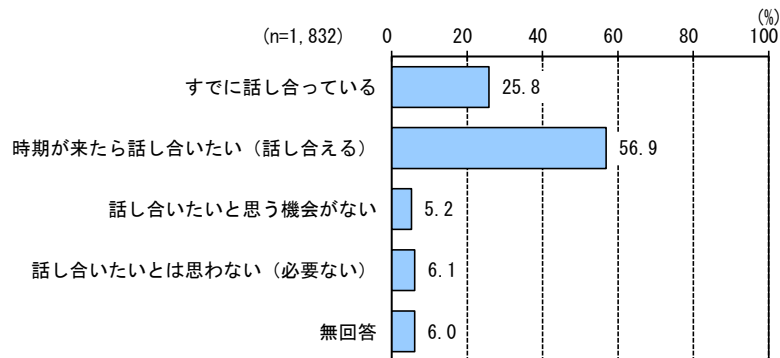
		人生の最終段階について考え、その準備を行うにあたり不安に感じていること												
母数 (n)	人生の最終段階について考え、その準備を行うにあたり不安に感じていること													
	答えたくない	生前の整理いとしてわからない手をつ	い備いつ始めたらどの時期かわからな	も死後の希望を書いた方がわか	自分から頼らないお墓の準備の仕	自分の財産が把握できいな	なに何を相続すべきかわから	誰かに相談する必要がある	わが家のパソコンや管理の帯などが	直加し方があるから整理い見	身近に相談できる相手がいな	その他	特に不安はない	無回答
	全体	10.8	25.3	26.6	6.4	5.0	2.4	6.1	5.5	3.8	4.3	4.7	36.7	6.8
性別	男性	828	10.9	27.2	7.2	5.7	2.9	6.8	5.8	4.3	5.7	4.8	36.8	5.9
	女性	1,004	10.8	27.2	5.8	4.4	2.0	5.5	5.2	3.3	3.2	4.6	36.6	7.5
年齢	65～69歳	360	10.6	24.7	30.3	4.7	3.3	6.9	5.3	5.6	5.0	5.8	38.1	3.6
	70～74歳	518	10.2	25.1	30.7	6.4	4.2	1.2	5.2	6.4	3.3	4.4	36.7	5.2
	75～79歳	433	10.9	26.6	27.5	6.9	6.2	3.5	6.2	4.6	3.5	3.2	34.6	9.0
	80～84歳	314	11.5	23.9	22.6	6.4	4.1	2.2	6.1	7.0	3.2	5.4	38.5	7.0
	85～89歳	158	14.6	28.5	13.9	8.9	3.2	1.9	7.0	3.2	2.5	3.8	31.0	10.8
認定該当状況	90歳以上	49	2.0	18.4	14.3	8.2	6.1	2.0	4.1	2.0	6.1	2.0	△ 51.0	12.2
	一般高齢者 総合事業対象者 要支援1・2	1,685	10.8	24.7	26.8	6.3	5.0	2.3	6.0	5.3	3.7	4.2	37.3	6.5
家族構成	1人暮らし	9	-	△ 44.4	△ 44.4	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	-	▶ 11.1	22.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	138	11.6	30.4	22.5	8.0	3.6	2.9	6.5	6.5	4.3	5.1	30.4	8.7
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	285	8.1	27.4	26.3	7.7	5.6	2.1	8.8	6.3	1.8	8.8	28.4	8.1
	息子・娘との2世帯	809	11.6	24.7	25.8	7.0	5.9	2.6	5.7	6.1	4.8	3.7	38.7	6.2
	その他	83	10.8	24.1	36.1	4.8	4.8	7.2	9.6	7.2	6.0	4.8	30.1	3.6
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	355	11.5	21.7	23.7	4.5	2.3	2.0	3.7	3.1	2.3	2.0	43.1	7.0
	介護・介助は必要だが、現在は受けていない	264	11.7	30.3	30.7	6.4	4.9	1.5	6.1	6.1	4.5	3.8	33.3	5.7
経済状況	大変苦しい	1,516	10.6	24.8	26.8	5.9	4.6	2.4	5.8	5.5	3.8	3.6	38.7	5.5
	やや苦しい	121	8.3	33.1	29.8	9.9	7.4	2.5	5.8	4.1	5.0	9.1	▶ 24.8	13.2
主観的健康感	大変苦しい	125	14.4	26.4	26.4	10.4	8.0	1.6	9.6	6.4	4.0	7.2	27.2	7.2
	やや苦しい	127	17.3	△ 36.2	31.5	8.7	11.8	6.3	14.2	10.2	6.3	10.2	▶ 20.5	7.1
幸福感	大変苦しい	399	12.5	29.6	33.8	7.8	6.5	2.0	9.0	5.5	3.3	6.5	▶ 24.8	9.3
	やや苦しい	1,112	10.2	23.3	22.4	6.1	4.0	2.1	4.2	4.6	3.6	3.0	40.7	6.3
かかりつけ医の有無	大変苦しい	143	6.3	21.0	24.4	4.2	2.1	2.8	4.2	9.8	4.9	2.8	△ 48.3	2.1
	やや苦しい	23	8.7	▶ 8.7	▶ 13.0	-	-	-	-	-	-	-	△ 56.5	8.7
幸福感	大変苦しい	137	8.0	20.4	23.4	5.8	2.9	2.2	2.2	3.6	2.9	1.5	△ 48.9	4.4
	やや苦しい	1,277	10.6	24.7	27.1	6.0	4.2	2.0	5.6	5.4	3.4	3.1	38.9	5.7
幸福感	大変苦しい	312	11.5	30.1	28.5	9.0	8.3	4.0	9.0	8.0	6.4	10.3	▶ 25.0	9.6
	やや苦しい	54	18.5	27.8	24.1	9.3	9.3	3.7	9.3	1.9	1.9	5.6	▶ 18.5	14.8
幸福感	大変苦しい	224	8.9	19.6	18.8	2.7	2.7	1.8	2.2	2.7	3.1	0.4	△ 54.9	5.4
	やや苦しい	891	10.1	21.4	25.3	5.3	3.1	2.0	3.7	5.5	3.4	2.5	49.9	5.3
幸福感	大変苦しい	592	12.0	31.3	32.8	8.8	7.8	2.5	9.5	6.1	4.9	5.6	▶ 25.2	8.3
	やや苦しい	76	17.1	30.3	21.1	11.8	7.9	6.6	11.8	7.9	2.6	△ 19.7	▶ 14.5	6.6
幸福感	大変苦しい	10	10.0	△ 40.0	30.0	10.0	△ 20.0	10.0	△ 40.0	△ 20.0	10.0	△ 50.0	10.0	-
	やや苦しい	1,100	11.5	22.5	23.5	5.3	4.1	2.2	4.7	4.7	3.4	3.0	39.8	6.5
幸福感	大変苦しい	426	8.5	28.6	31.5	8.7	6.6	3.1	7.7	7.0	4.2	7.5	35.9	5.2
	やや苦しい	219	10.5	34.7	34.7	7.8	5.9	2.7	8.7	5.9	4.6	5.0	27.9	5.5

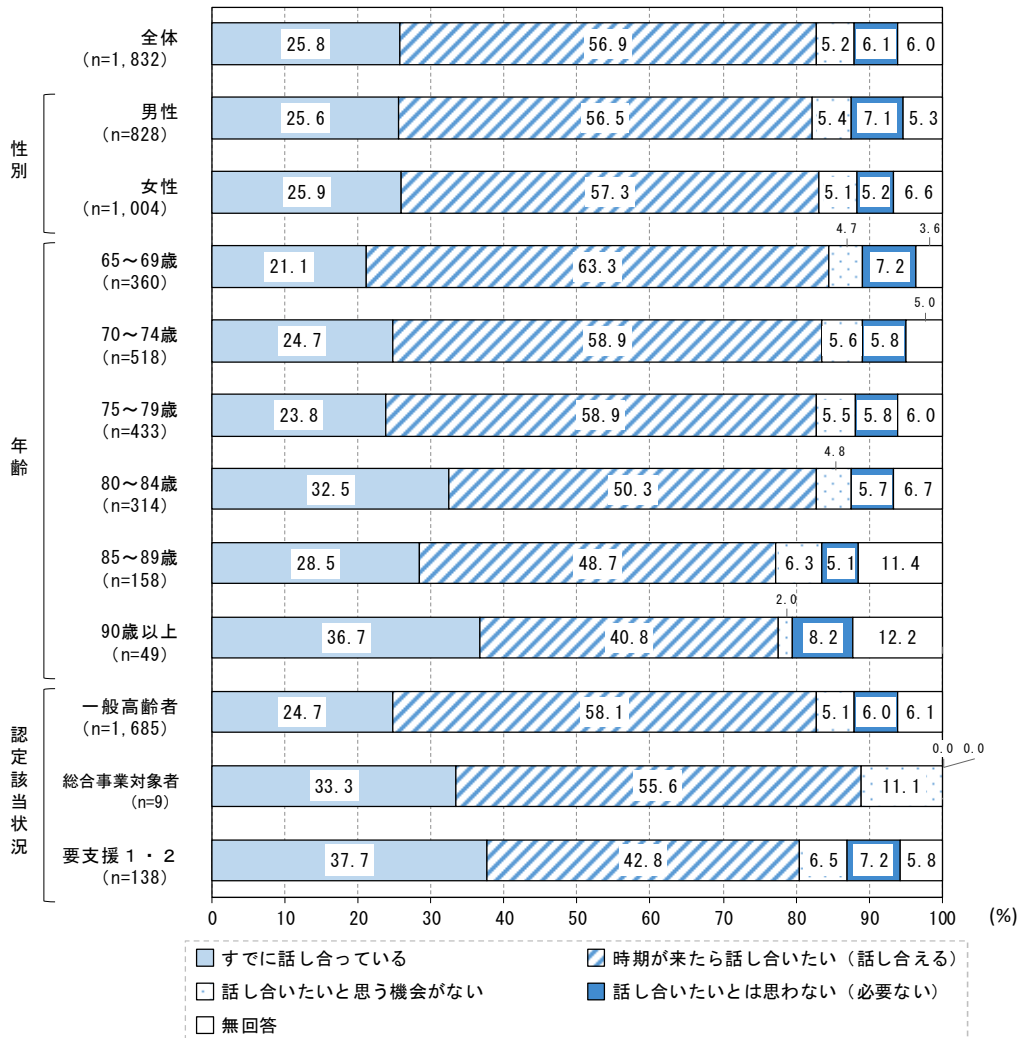
### ③ 家族との話し合いについて

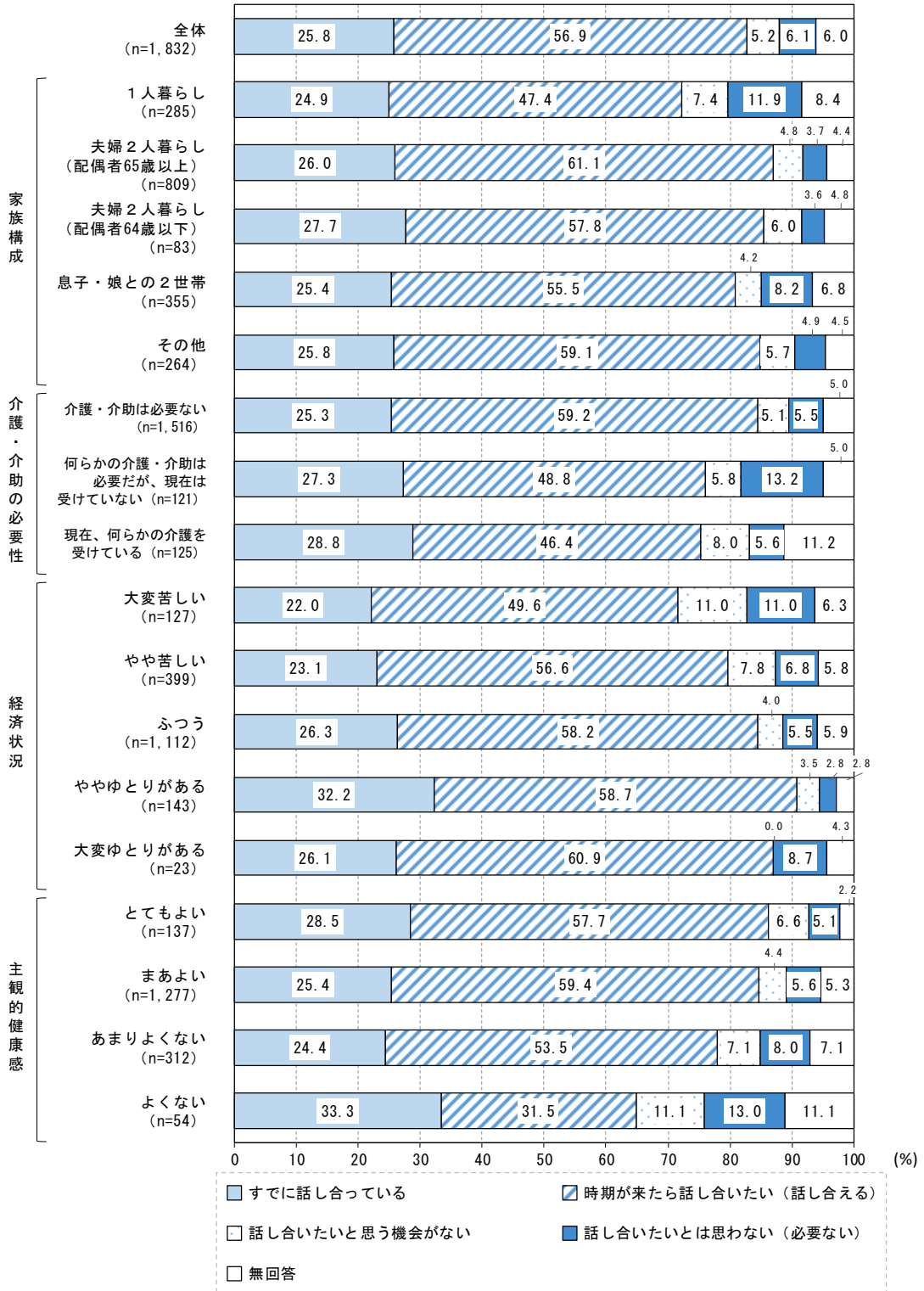
#### ●問10.3 今後、ご家族と話し合う機会を作りたいと思いますか。(1つだけ)

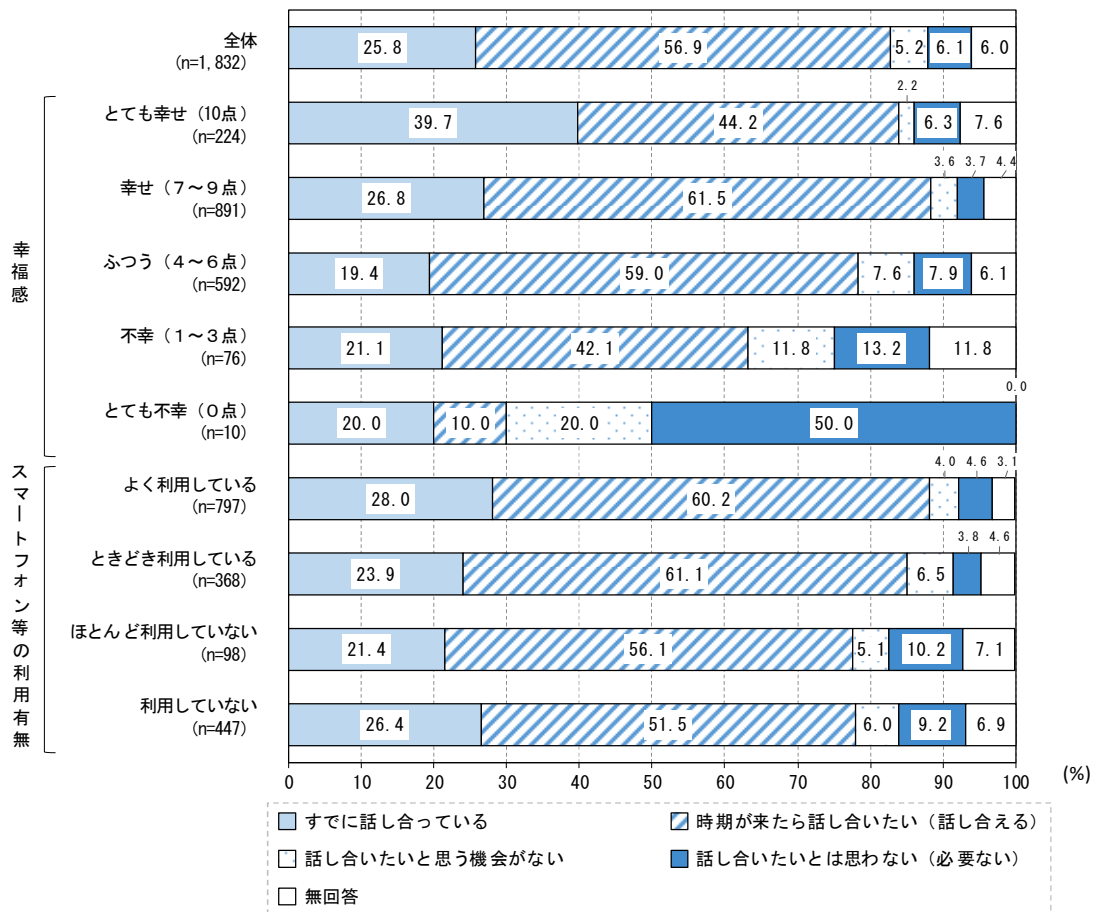
- 今後、家族と話し合う機会を作りたいと思うかについて、「時期が来たら話し合いたい（話し合える）」が 56.9%で最も多く、次いで「すでに話し合っている」が 25.8%、「話し合いたいとは思わない（必要ない）」が 6.1%となっています。
- 年齢についてみると、80～84 歳では「すでに話し合っている」が 32.5%、90 歳以上では 36.7%と他の区分に比べて多くなっています。
- 家族構成についてみると、1人暮らしでは「話し合いたいとは思わない（必要ない）」が 11.9%と他の区分に比べて多くなっています。
- 主観的健康感についてみると、主観的健康観がよくないと回答した方では「すでに話し合っている」が 33.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 幸福感についてみると、とても幸せ（10点）と回答した方では「すでに話し合っている」は 39.7%と他の区分に比べて多くなっています。
- スマートフォンやタブレットの利用の有無についてみると、スマートフォンやタブレットの利用割合が多くなると、「すでに話し合っている」「時期が来たら話し合いたい（話し合える）」の割合が多くなる傾向がみられます。

【図表 10-3 人生の最終段階について家族と話し合う機会を作りたいか】







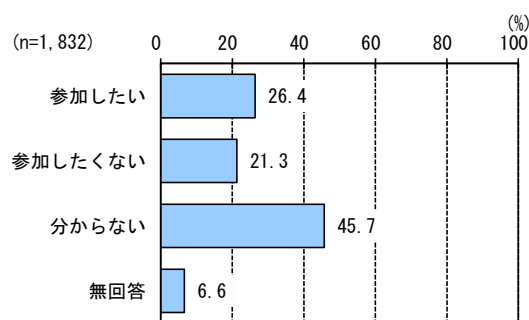


#### ④ セミナーへの参加意向

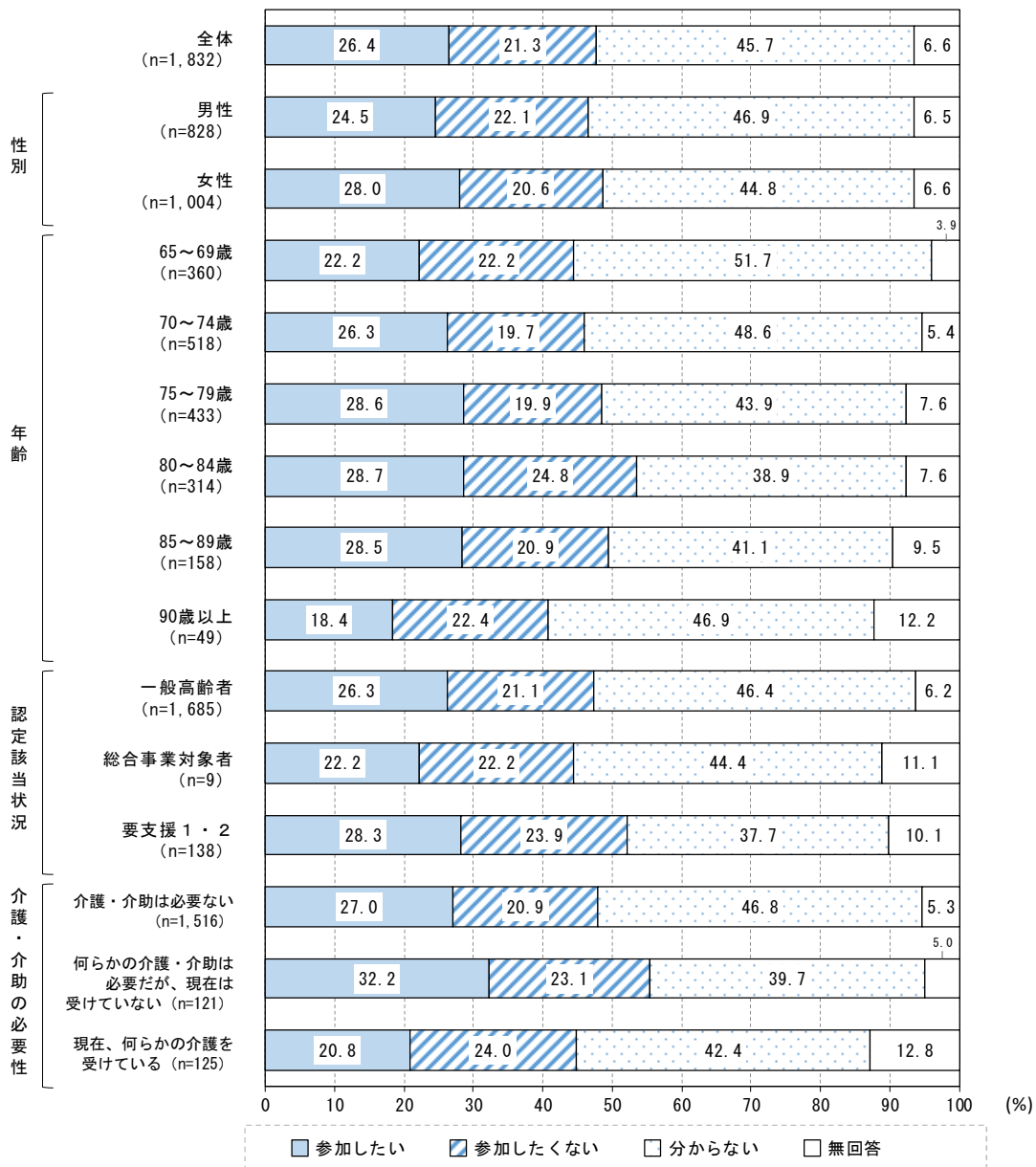
●問10.4 人生の最終段階を迎える準備に関するセミナー（講演会）が身近な場所で開催された場合、あなたは参加してみたいと思いますか。（1つだけ）

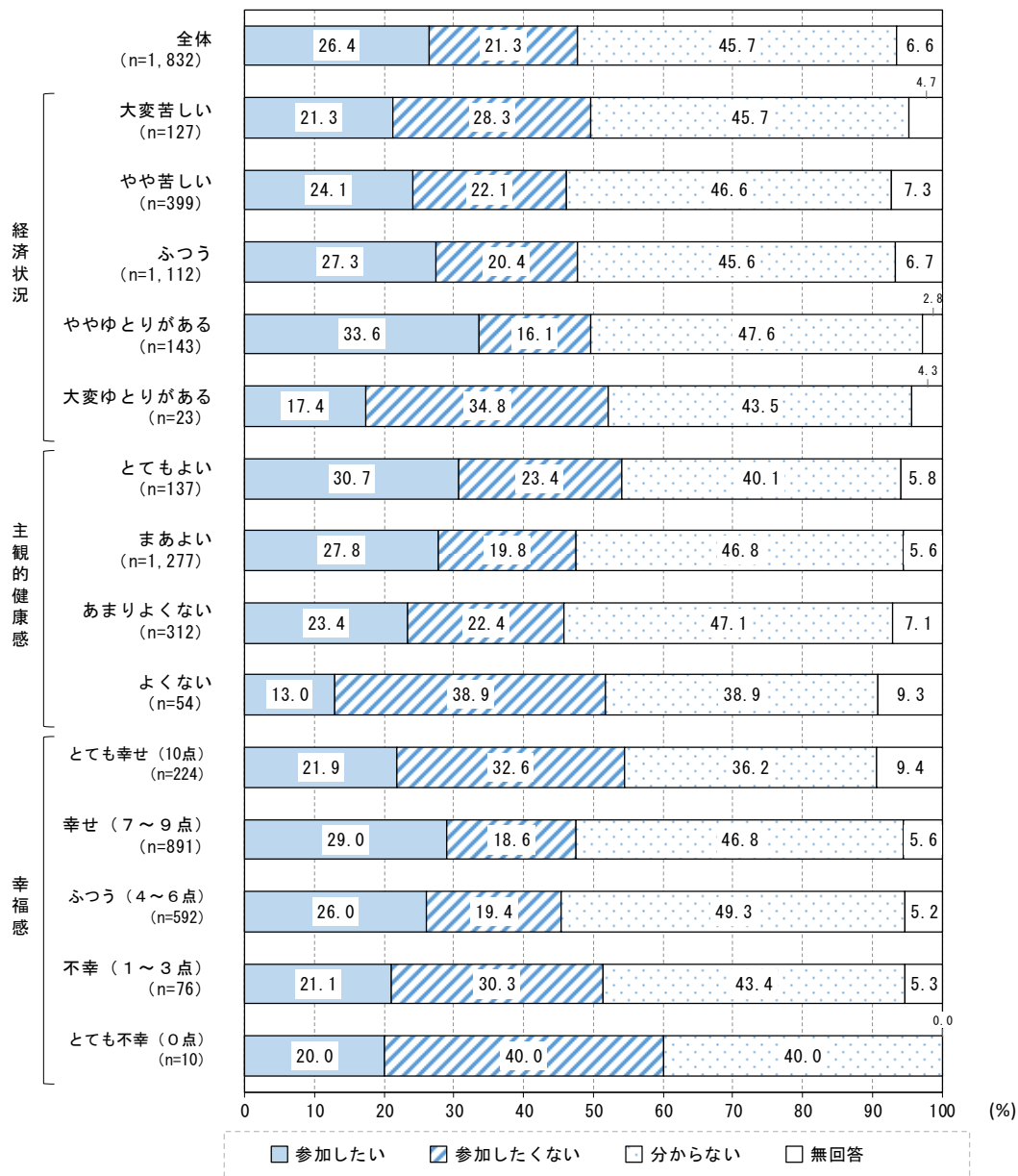
- 人生の最終段階を迎える準備に関するセミナーへの参加意向について、「分からない」が45.7%で最も多く、次いで「参加したい」が26.4%、「参加したくない」が21.3%となっています。
- 性別についてみると、女性では「参加したい」が28.0%と男性に比べて多くなっています。
- 年齢についてみると、65～69歳では「参加したい」が22.2%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 介護・介助の必要性についてみると、介護・介助が必要な人ほど「参加したくない」が多くなる傾向がみられます。
- 経済状況についてみると、経済的に大変ゆとりがある方では「参加したくない」が34.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 主観的健康感についてみると、主観的健康感が悪い人ほど「参加したい」が少なくなる傾向がみられます。

【図表 10-4 人生の最終段階に関するセミナーへの参加意向有無】







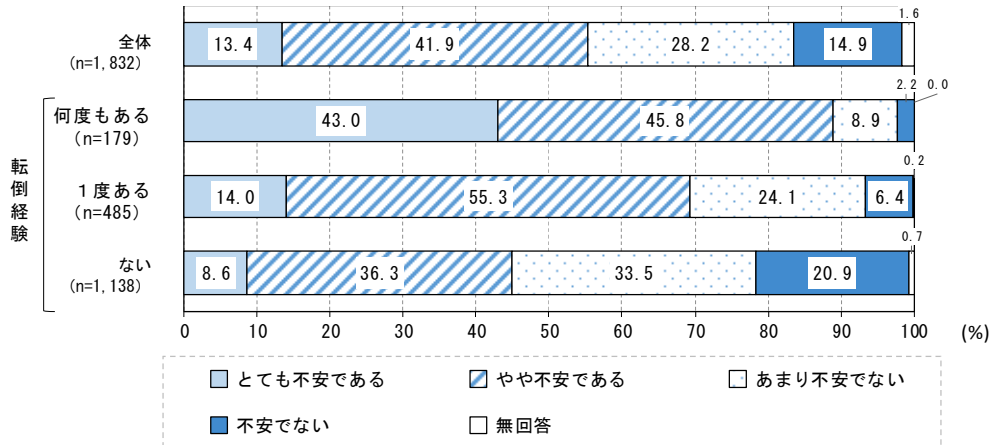


### 13. 設問間のクロス集計

#### ●転倒の不安×転倒経験

- 転倒の不安について、「やや不安である」が 41.9%で最も多く、次いで「あまり不安でない」が 28.2%、「不安でない」が 14.9%となっています。
- 転倒経験についてみると、転倒経験が何度もある方では「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安である”が 88.8%と転倒経験がない方に比べて多くなっています。
- 過去1年間の転倒経験がない方についても4割以上が「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安である”と回答しています。

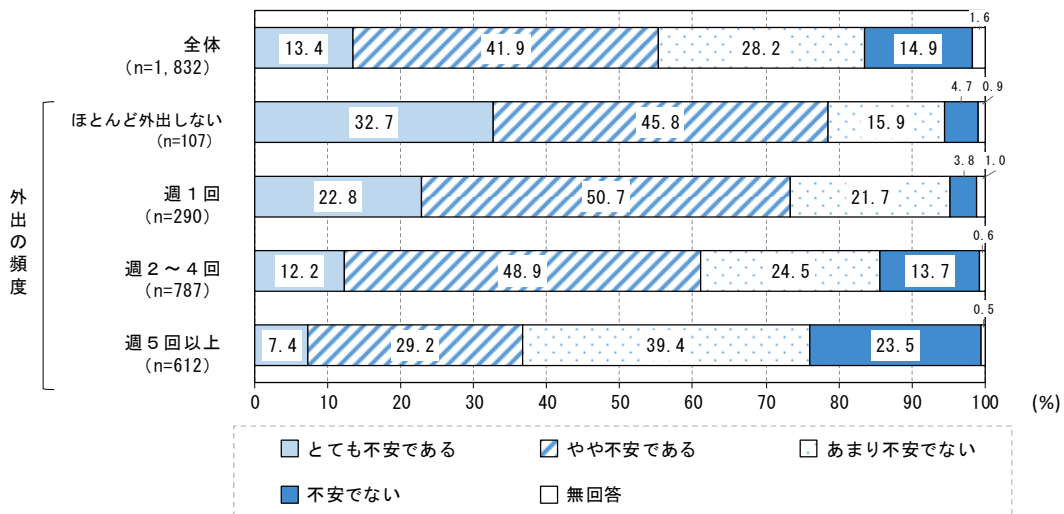
【図表 11-1 転倒の不安 × 転倒経験】



#### ●転倒の不安 × 外出の頻度

- 転倒の不安について、「やや不安である」が 41.9%で最も多く、次いで「あまり不安でない」が 28.2%、「不安でない」が 14.9%となっています。
- 外出頻度についてみると、ほとんど外出しない方では「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安である”が 78.5%、週1回の方では 73.5%、週2～4回の方では 61.1%、週5回以上の方では 36.6%となっています。

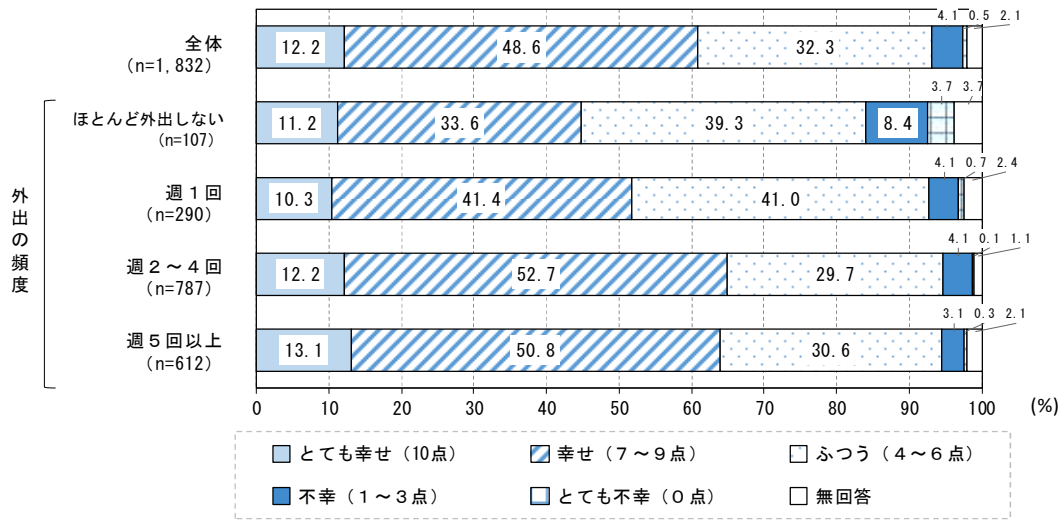
【図表 11-2 転倒の不安 × 外出の頻度】



● 幸福感×外出の頻度

○外出の頻度についてみると、ほとんど外出しない方では「とても幸せ (10点)」「幸せ (7～9点)」を合わせた“幸せ (10～7点)”が44.8%と他の区分に比べて低くなっています。

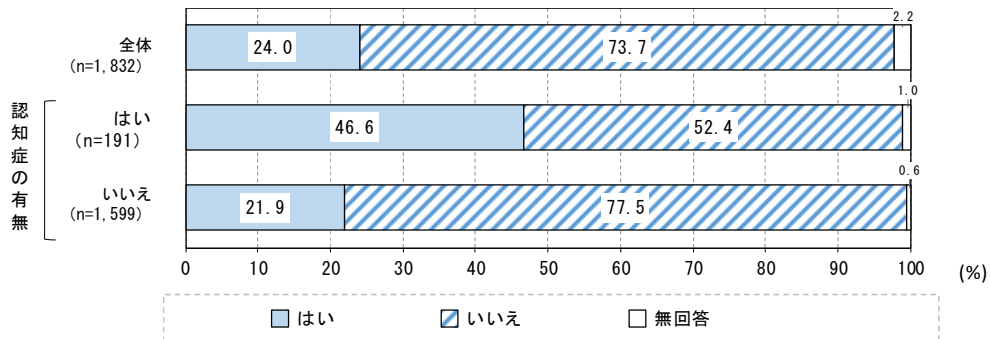
【図表 11-3 幸福感 × 外出の頻度】



● 認知症の相談窓口の認知状況×認知症の有無

○認知症の有無についてみると、認知症があると回答した方では認知症の相談窓口を知っている（「はい」）の割合が46.6%と認知症がないと回答した方に比べて多くなっています。

【図表 11-4 認知症の相談窓口の認知状況 × 認知症の有無】



●外出を控えている理由×閉じこもりのリスク

○外出を控えている理由×閉じこもりのリスクについて、閉じこもりリスクに該当している方では「足腰などの痛み」が最も多く、45.5%となっています。

【図表 11-5 外出を控えている理由 × 閉じこもりのリスク】

単位：%

	母数 (n)	外出を控えている理由×閉じこもりのリスク										
		病 気	(障 害 後 遺 症 中 の 脳 卒 中 な ど)	足 腰 な ど の 痛 み	(ト イ レ 禁 な ど の 心 配)	(耳 の 障 害 問 題 な え の こ え)	目 の 障 害	楽 し み の が な い	外 出 の 経 済 的 に な い	交 通 手 段 が な い	そ の 他	無 回 答
全体	623	12.0	2.1	38.5	11.2	5.9	6.9	12.5	9.1	13.6	40.9	1.1
閉じこもりの リスク	該当	279	16.1	2.5	45.5	14.0	7.9	9.0	15.4	9.3	▼29.7	0.7
	非該当	344	8.7	1.7	32.8	9.0	4.4	5.2	10.2	9.0	50.0	1.5

●外出する際の移動手段×閉じこもりのリスク

○外出する際の移動手段×閉じこもりのリスクについて、閉じこもりリスクに該当している方では「自動車（人に乗せてもらう）」が最も多く、45.6%となっています。

【図表 11-6 外出する際の移動手段 × 閉じこもりのリスク】

単位：%

	母数 (n)	外出する際の移動手段×閉じこもりのリスク							
		徒 歩	自 転 車	バ イ ク	(自 動 車 で 運 転)	(自 動 車 に 乗 せ て もらう)	電 車	路 線 バ ス	
全体	1,832	56.1	37.6	6.5	53.4	33.2	36.6	6.1	
閉じこもりの リスク	該当	397	▼41.6	▼27.2	3.3	▼31.5	△45.6	29.2	7.8
	非該当	1,435	60.1	40.5	7.4	59.4	29.8	38.6	5.6

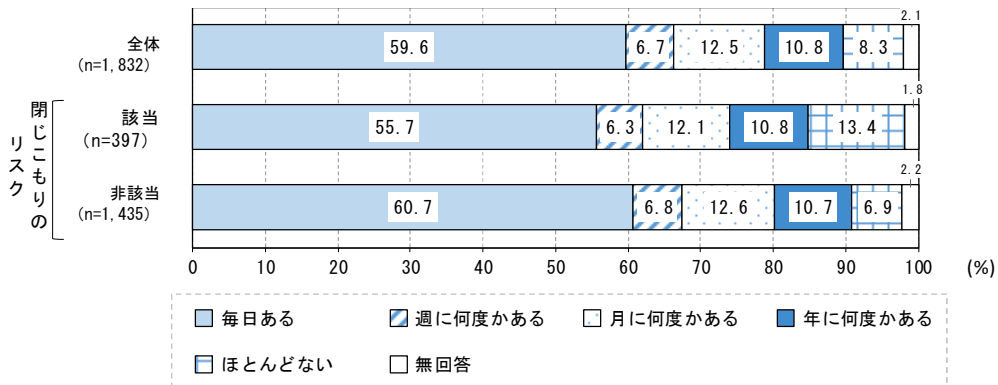
単位：%

	母数 (n)	外出する際の移動手段×閉じこもりのリスク							
		施 病 院 の バ ス	車 い す	(電 動 車 い す カ ー ト)	シ ン ク ル バ ー カ ー	タ ク シ ー	そ の 他	無 回 答	
全体	1,832	2.8	0.2	0.3	1.6	6.4	1.0	2.6	
閉じこもりの リスク	該当	397	5.5	0.5	0.5	4.5	10.6	2.3	4.5
	非該当	1,435	2.0	0.1	0.2	0.8	5.3	0.6	2.1

●共食の有無×閉じこもりのリスク

○共食の有無×閉じこもりのリスクについて、閉じこもりリスクに該当している方では「ほとんどない」が13.4%と多くなっています。

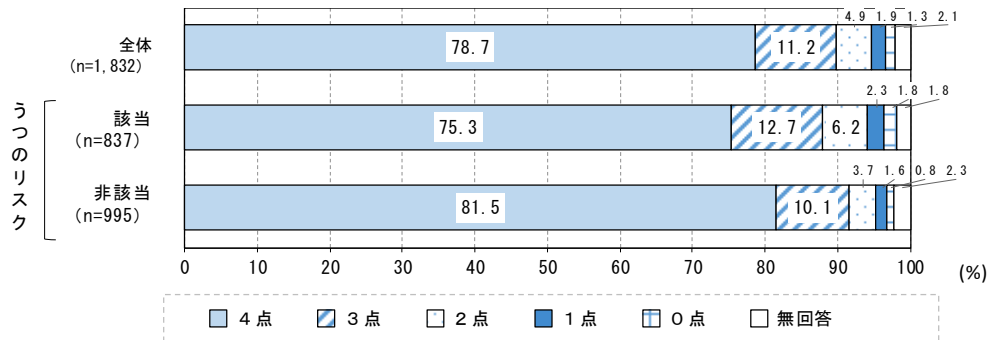
【図表 11-7 共食の有無 × 閉じこもりのリスク】



●たすけあいの合計点×うつ病のリスク

○たすけあいの合計点×うつ病のリスクについて、うつ病のリスクに該当していない方では「4点」が81.5%と多くなっています。

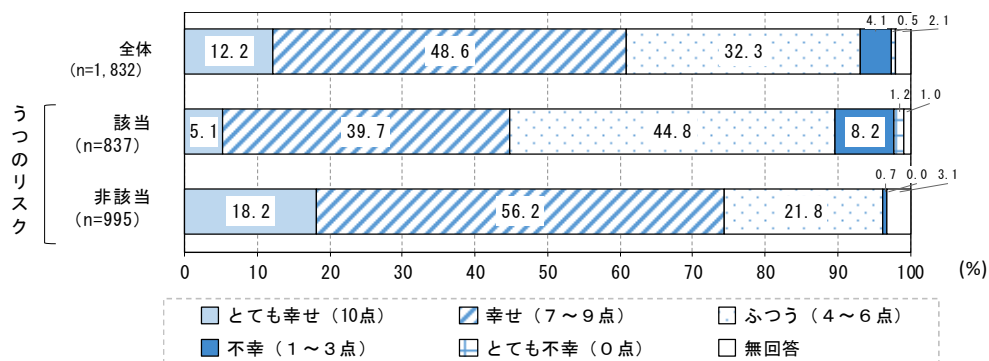
【図表 11-8 たすけあいの合計点 × うつ病のリスク】



● 幸福感×うつリスク

○ 幸福感×うつリスクについて、うつリスクに該当している方では「とても幸せ（10点）」が5.1%とリスクに該当していない方に比べて少なく、また、「不幸（1～3点）」が8.2%と多くなっています。

【図表 11-9 幸福感 × うつのリスク】



## 14. 総括

### (1) 回答者の属性・住まいの状況

- 回答者の属性について、男性が 828 人、女性が 1,004 人と女性の方がやや多く、前期高齢者（65～74 歳）が 878 人、後期高齢者（75 歳以上）が 954 人となっています。回答者に占める認定者（要支援 1・2）の割合は 7.6%、総合事業対象者の割合は 0.5%となっています。
- 家族構成について、1 人暮らしが 15.6%、夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）が 44.2%となっており、合わせると 59.8%が高齢者のみの世帯となっています。前回調査と比較すると、夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）は 46.8%から 2.6 ポイント減少、1 人暮らしの割合は 13.2%から 2.4 ポイント増加しており、高齢者のみの世帯としては 60.0%から 0.2 ポイント減少しています。また、女性の後期高齢者、総合事業対象者、要支援 1・2 で 1 人暮らしの割合が多く、今後も 1 人暮らしの方が増加することが見込まれるため、地域における見守りが必要となっています。

### (2) 運動・外出について

- 運動器の機能低下のリスクをみると、後期高齢者でリスク該当者の割合が多く、特に女性の後期高齢者では約 4 人に 1 人が該当となっています。補助なしで階段を昇ることや椅子から立ち上がること、15 分程度歩くことについて、できるがしていない人が全体として 2 割程度みられます。女性の 61.4%が転倒に対する不安を持っていることから、日常生活におけるこうした取組を安全に配慮しつつ行うことが身体機能の維持や、介護予防につながることの意識づけが必要です。
- 閉じこもりのリスクをみると、後期高齢者でリスク該当者の割合が多く、90 歳以上では半数を超えています。加えてこちらについても女性の後期高齢者では 29.5%と多くなっています。閉じこもりのリスク該当者では、外出を控えている理由として足腰などの痛みや交通手段がないこと、新型コロナウイルス感染防止などが多く挙げられています。また、外出の際、年齢が上がるにつれて自動車（人に乗せてもらう）やバス、タクシーといった運転手付きの移動手段を利用している人が多くなっています。このことから、足腰などの痛みにより、外出が億劫になることで閉じこもり傾向になっている可能性が考えられます。閉じこもりの状態が続くことで、運動器機能や認知機能の低下リスクを合わせて抱えることも考えられるため、転倒や足腰の痛み等に配慮した安全な移動手段のより一層の確保が求められます。

### (3) 口腔・栄養について

- 口腔機能の低下のリスク該当者（「咀嚼」「嚥下」「口の渇き（肺炎リスク）」のうち複数に該当）は 27.4%となっています。また、自分の歯が 20 本以上ある人は、80～84 歳で 42.3%であるのに対し、85～89 歳では 34.8%、90 歳以上では 18.4%にとどまっています。口内を清潔に保ち、口腔機能の維持・栄養状態を改善することが、肺炎や認知症の予防につながるとされていることから、口腔ケアの周知や習慣づけ、定期的な検診の受診が必要です。



#### (4) 社会参加について

- 地域活動について、町内会・自治会に参加している人が 43.1%、老人クラブに参加している人が 22.6%となっています。町内会・自治会は特に男性の前期高齢者の割合が、老人クラブは男性の後期高齢者の割合が多くなっています。また、収入のある仕事について、前期高齢者と後期高齢者の差が大きく、特に男性では、前期高齢者の 42.3%が参加しているのに対し、後期高齢者では 15.9%となっています。一方で、(いきいき百歳体操・地域のサロンなどの) 介護予防のための通いの場については、全体では参加している人が 10.8%ですが、女性では 15.5%と本設問では唯一女性の参加割合が男性の参加割合を上回っています。女性の地域での居場所を作るという観点でも、介護予防のための通いの場の充実を図っていくことが有効であると考えられます。
- 地域づくり活動について、参加者として参加可能である人は 59.4%、お世話役として参加可能である人は 33.8%となっています。男性では、前期・後期高齢者ともに女性に比べてお世話役として参加可能である人の割合が多くなっており、そういった層に地域づくり活動に参加してもらうためのアプローチが必要だと考えられます。
- 高齢者の情報ネットワークへの参加について、スマートフォンやタブレットを日常的に利用している人は全体で 63.6%となっています。そのうち利用している機能としては半数近くが通話、メールに加えて LINE 等の SNS を活用していることがうかがえます。しかし現状、約半数が利用しておらず、その理由としては必要性を感じていないことや、使用方法が分からない等が挙げられています。操作説明会の実施や利用することの楽しさ・便利さや、必要性を知る機会の創出が利用につながると思うとの回答も多いことから、令和 5 年 1 月中旬から下旬にかけて実施していた「はじめてのスマートフォン体験型講習会」等のさらなる推進により、より多くの高齢者が緊急時に情報を得られる環境を構築していくことも重要だと考えられます。

#### (5) 健康について

- 自身の健康状態をよいと感じている人は 77.2%となっていますが、男女ともに前期高齢者に比べ後期高齢者では健康感が下がる傾向がみられます。また、一般高齢者では 79.3%がよいと感じているのに対し、総合事業対象者、要支援 1・2 では 50%前後にとどまっています。
- こころの健康について、外出の頻度や趣味、生きがいの有無や経済状況によって幸福感に差がみられることから、幸福感は身体の状況とそれによる多角的な活動の頻度などに影響を受ける可能性が示唆されています。

#### (6) 人生の最終段階について

- 人生の最期を迎えたい場所として、5割以上が自宅と答えています。また、年齢について見ると、前期高齢者(65~74歳)より後期高齢者(75歳以上)の方が自宅で最期を迎えたいと考えている割合が多くなっています。
- また不安に感じることについては「生前整理として何から手をつけたらいいかわからない」、「いつから(どの時期から)準備を始めたらいいかわからない」が多いことから、より身近に自身の人生の最終段階に関して触れてもらう機会の創出が重要です。人生の最終段階に関するセミナーへは 4人に 1人以上が参加意向を示しており、男性に比べ女性の関心が高くなっています。

## 15. 調査票

(宛名ラベル)

# 川西町 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 ご協力をお願い

## はじめに

町民の皆さまには、日頃から町行政へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、川西町では、高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、川西町第9次高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画の見直しを行います。

そこで、65歳以上の町民の方に対し、心身の状態や自立した生活をおくる上での課題、今後の意向等を把握するため、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を実施します。

この調査は、今後の高齢者を取り巻く様々な環境に柔軟に対応し、また介護予防の情報を正確に整理するために、多くの質問項目を設けております。身近な内容となっておりますので、ぜひご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和5年1月

川西町長 小澤 晃広

なお、収集した個人情報は川西町個人情報保護条例に基づき、調査目的以外に使用することはありません。

調査票記入後は、同封の返信用封筒に入れて、  
1月27日(金)までに投函してください。

【お問い合わせ先】

川西町役場 長寿介護課

電話(直通)(0745)44-2635

## 記入に際してのお願い

1. この調査の対象者は、令和4年12月現在、65歳以上（要介護1～5の方を除く）の方です。
2. ご回答にあたっては表紙ラベルのあて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されても結構です。
3. この調査で使う用語の意味は、以下のとおりです。

**介護**…介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態

**介助**…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

### 記入例

ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。

① はい      2. いい

数字を記入する欄は右詰めでご記入ください。

	6	2	kg
--	---	---	----

「郵送」または「Web」のどちらかでご回答ください。  
(両方に回答された場合、片方の回答が無効になります。)

①郵送の場合：本調査票に記入いただき、同封の返送用封筒に入れ、ご返送ください。

②Webの場合：下記のURLもしくは、右記QRコードを読み取って回答ページにアクセスしてください。(専用URL)

QRコード

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄 \_\_\_\_\_)
3. その他 ( \_\_\_\_\_ )

### 【個人情報の取り扱いについて】

個人情報の保護および活用目的は以下の通りですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

### ■個人情報の保護及び調査目的について

この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、町の高齢者保健福祉計画策定及び介護保険事業計画策定の目的以外には使用いたしません。また、当該情報については、川西町個人情報保護条例に基づき、町で適切に管理いたします。

ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。(お名前などの個人情報は出ません。)

質問の該当する答えの番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

## 問1 あなたのご家族や生活状況について

<b>1</b>	家族構成を教えてください。(1つだけ○)
	1. 一人暮らし 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) 4. 息子・娘との2世帯 5. その他
<b>2</b>	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ○)
	1. 介護・介助は必要ない ⇒ <input type="text" value="3"/> へ 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒ <input type="text" value="3"/> へ 3. 現在、何らかの介護を受けている ⇒ <input type="text" value="2-1"/> へ (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)
	<b>2</b> で、「3. 現在、何らかの介護を受けている」と答えた方のみお答えください。
<b>2-1</b>	主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも○)
	1. 配偶者(夫・妻)                      2. 息子                      3. 娘 4. 子の配偶者                      5. 孫                      6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー                      8. その他(                      )
<b>3</b>	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ○)
	1. 大変苦しい                      2. やや苦しい                      3. ふつう 4. ややゆとりがある                      5. 大変ゆとりがある

## 問2 からだを動かすことについて

<b>1</b>	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ○)
	1. できるし、している                      2. できるけどしていない                      3. できない
<b>2</b>	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ○)
	1. できるし、している                      2. できるけどしていない                      3. できない
<b>3</b>	15分位続けて歩いていますか。(1つだけ○)
	1. できるし、している                      2. できるけどしていない                      3. できない

<b>4</b>	過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ○)		
	1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない
<b>5</b>	転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ○)		
	1. とても不安である	2. やや不安である	3. あまり不安でない 4. 不安でない
<b>6</b>	週に1回以上は外出していますか。(1つだけ○)		
	1. ほとんど外出しない	2. 週1回	3. 週2~4回 4. 週5回以上
<b>7</b>	昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ○)		
	1. とても減っている	2. 減っている	
	3. あまり減っていない	4. 減っていない	
<b>8</b>	外出を控えていますか。(1つだけ○)	1. はい ⇒ <b>8-1</b> へ	
		2. いいえ ⇒ <b>9</b> へ	

**8**で、「1. はい」と答えた方のみお答えください。

**8-1** 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも○)

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. 病気              | 2. 障害 (脳卒中の後遺症など) |
| 3. 足腰などの痛み         | 4. トイレの心配 (失禁など)  |
| 5. 耳の障害 (聞こえの問題など) | 6. 目の障害           |
| 7. 外での楽しみがない       | 8. 経済的に出られない      |
| 9. 交通手段がない         | 10. その他 ( )       |

<b>9</b>	外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも○)		
	1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
	4. 自動車 (自分で運転)	5. 自動車 (人に乗せてもらう)	6. 電車
	7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす
	10. 電動車いす (カート)	11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー
	13. その他 ( )		

### 問3 食べることについて

<b>1</b>	身長・体重を教えてください。(小数点以下は記入不要)									
	身長	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 30px; height: 30px;"></td><td style="width: 30px; height: 30px;"></td><td style="width: 30px; height: 30px;"></td></tr></table> cm				体重	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 30px; height: 30px;"></td><td style="width: 30px; height: 30px;"></td><td style="width: 30px; height: 30px;"></td></tr></table> kg			
		百   十   一 の   の   の 位   位   位		百   十   一 の   の   の 位   位   位						
<b>2</b>	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。 (1つだけ○)		1. はい      2. いいえ							
<b>3</b>	お茶や汁物等でむせることがありますか。 (1つだけ○)		1. はい      2. いいえ							
<b>4</b>	口の渇きが気になりますか。(1つだけ○)		1. はい      2. いいえ							
<b>5</b>	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(1つだけ○)									
	1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし									
<b>6</b>	どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(1つだけ○)									
	1. 毎日ある                      2. 週に何度かある                      3. 月に何度かある 4. 年に何度かある                      5. ほとんどない									

### 問4 毎日の生活について

<b>1</b>	物忘れが多いと感じますか。(1つだけ○)		
	1. はい                      2. いいえ		
<b>2</b>	バスや電車を使って一人で外出していますか(自家用車でも可)。(1つだけ○)		
	1. できるし、している      2. できるけどしていない      3. できない		
<b>3</b>	自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ○)		
	1. できるし、している      2. できるけどしていない      3. できない		

4	自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ○)
	1. できるし、している    2. できるけどしていない    3. できない
5	自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ○)
	1. できるし、している    2. できるけどしていない    3. できない
6	自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ○)
	1. できるし、している    2. できるけどしていない    3. できない

## 問5 地域での活動について

1	以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。 ①～⑧のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つだけ○)
①ボランティアのグループ	1. 週4回以上    2. 週2～3回    3. 週1回 4. 月1～3回    5. 年に数回    6. 参加していない
②スポーツ関係のグループやクラブ	1. 週4回以上    2. 週2～3回    3. 週1回 4. 月1～3回    5. 年に数回    6. 参加していない
③趣味関係のグループ	1. 週4回以上    2. 週2～3回    3. 週1回 4. 月1～3回    5. 年に数回    6. 参加していない
④学習・教養サークル	1. 週4回以上    2. 週2～3回    3. 週1回 4. 月1～3回    5. 年に数回    6. 参加していない
⑤(いきいき百歳体操・地域のサロンなどの)介護予防のための通いの場	1. 週4回以上    2. 週2～3回    3. 週1回 4. 月1～3回    5. 年に数回    6. 参加していない
⑥老人クラブ	1. 週4回以上    2. 週2～3回    3. 週1回 4. 月1～3回    5. 年に数回    6. 参加していない
⑦町内会・自治会	1. 週4回以上    2. 週2～3回    3. 週1回 4. 月1～3回    5. 年に数回    6. 参加していない
⑧収入のある仕事	1. 週4回以上    2. 週2～3回    3. 週1回 4. 月1～3回    5. 年に数回    6. 参加していない
2	地域の住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)
	1. 是非参加したい    2. 参加してもよい 3. 参加したくない    4. 既に参加している





<p>(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも○)</p>		
1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員	
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師	
5. 地域包括支援センター・役場	6. その他	
7. そのような人はいない		
<p>(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ○)</p>		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	
<p>(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つだけ○)</p>		
1. 0人 (いない)	2. 1~2人	3. 3~5人
4. 6~9人	5. 10人以上	
<p>(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも○)</p>		
1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ	
3. 学生時代の友人	4. 仕事での同僚・元同僚	
5. 趣味や関心が同じ友人	6. ボランティア等の活動での友人	
7. その他	8. いない	

## 問7 健康について

<b>1</b>	現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ○)																																	
1. とてもよい      2. まあよい      3. あまりよくない      4. よくない																																		
<b>2</b>	あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ○) (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)																																	
<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>とても不幸</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>とても幸せ</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>点</td> <td>点</td> <td>点</td> <td>点</td> <td>点</td> <td>点</td> <td>点</td> <td>点</td> <td>点</td> <td>点</td> <td>点</td> </tr> </table>		とても不幸										とても幸せ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点
とても不幸										とても幸せ																								
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																								
点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点																								

<b>3</b>	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。 (1つだけ○)																				
	1. はい                      2. いいえ																				
<b>4</b>	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか(1つだけ○)																				
	1. はい                      2. いいえ																				
<b>5</b>	タバコは吸っていますか。(1つだけ○)																				
	1. ほぼ毎日吸っている                      2. 時々吸っている 3. 吸っていたが、やめた                      4. もともと吸っていない																				
<b>6</b>	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)																				
	<table border="0"> <tr> <td>1. ない</td> <td>2. <small>こうけつあつ</small> 高血圧</td> </tr> <tr> <td>3. <small>のうそっちゅう</small> 脳卒中 (<small>のうしゅっけつ</small> 脳出血・<small>のうこうそく</small> 脳梗塞等)</td> <td>4. <small>しんぞうびょう</small> 心臓病</td> </tr> <tr> <td>5. <small>とうようびょう</small> 糖尿病</td> <td>6. <small>こうしけっしょう</small> 高脂血症 (<small>しじついじょう</small> 脂質異常)</td> </tr> <tr> <td>7. <small>こきゅうき</small> 呼吸器の病気 (<small>はいえん</small> 肺炎や <small>きかんしえん</small> 気管支炎等)</td> <td>8. <small>いちよう</small> 胃腸・<small>かんぞう</small> 肝臓・<small>たん</small> 胆のうの <small>びょうき</small> 病気</td> </tr> <tr> <td>9. <small>じんぞう</small> 腎臓・<small>ぜんりつせん</small> 前立腺の <small>びょうき</small> 病気</td> <td>10. <small>きんこつかく</small> 筋骨格の <small>びょうき</small> 病気 (<small>こつそ</small> 骨粗しょう症、<small>しょう</small> 関節症等)</td> </tr> <tr> <td>11. <small>がいしやう</small> 外傷 (<small>てんとう</small> 転倒・<small>こっせつ</small> 骨折等)</td> <td>12. <small>がん</small> がん (<small>あくせいしんせいぶつ</small> 悪性新生物)</td> </tr> <tr> <td>13. <small>けつえき</small> 血液・<small>めんえき</small> 免疫の <small>びょうき</small> 病気</td> <td>14. <small>びょう</small> うつ病</td> </tr> <tr> <td>15. <small>にんちしやう</small> 認知症 (<small>アルツハイマー</small> アルツハイマー <small>びょう</small> 病等)</td> <td>16. <small>パーキンソン</small> パーキンソン <small>びょう</small> 病</td> </tr> <tr> <td>17. <small>め</small> 目の <small>びょうき</small> 病気</td> <td>18. <small>みみ</small> 耳の <small>びょうき</small> 病気</td> </tr> <tr> <td>19. その他 (                      )</td> <td></td> </tr> </table>	1. ない	2. <small>こうけつあつ</small> 高血圧	3. <small>のうそっちゅう</small> 脳卒中 ( <small>のうしゅっけつ</small> 脳出血・ <small>のうこうそく</small> 脳梗塞等)	4. <small>しんぞうびょう</small> 心臓病	5. <small>とうようびょう</small> 糖尿病	6. <small>こうしけっしょう</small> 高脂血症 ( <small>しじついじょう</small> 脂質異常)	7. <small>こきゅうき</small> 呼吸器の病気 ( <small>はいえん</small> 肺炎や <small>きかんしえん</small> 気管支炎等)	8. <small>いちよう</small> 胃腸・ <small>かんぞう</small> 肝臓・ <small>たん</small> 胆のうの <small>びょうき</small> 病気	9. <small>じんぞう</small> 腎臓・ <small>ぜんりつせん</small> 前立腺の <small>びょうき</small> 病気	10. <small>きんこつかく</small> 筋骨格の <small>びょうき</small> 病気 ( <small>こつそ</small> 骨粗しょう症、 <small>しょう</small> 関節症等)	11. <small>がいしやう</small> 外傷 ( <small>てんとう</small> 転倒・ <small>こっせつ</small> 骨折等)	12. <small>がん</small> がん ( <small>あくせいしんせいぶつ</small> 悪性新生物)	13. <small>けつえき</small> 血液・ <small>めんえき</small> 免疫の <small>びょうき</small> 病気	14. <small>びょう</small> うつ病	15. <small>にんちしやう</small> 認知症 ( <small>アルツハイマー</small> アルツハイマー <small>びょう</small> 病等)	16. <small>パーキンソン</small> パーキンソン <small>びょう</small> 病	17. <small>め</small> 目の <small>びょうき</small> 病気	18. <small>みみ</small> 耳の <small>びょうき</small> 病気	19. その他 (                      )	
1. ない	2. <small>こうけつあつ</small> 高血圧																				
3. <small>のうそっちゅう</small> 脳卒中 ( <small>のうしゅっけつ</small> 脳出血・ <small>のうこうそく</small> 脳梗塞等)	4. <small>しんぞうびょう</small> 心臓病																				
5. <small>とうようびょう</small> 糖尿病	6. <small>こうしけっしょう</small> 高脂血症 ( <small>しじついじょう</small> 脂質異常)																				
7. <small>こきゅうき</small> 呼吸器の病気 ( <small>はいえん</small> 肺炎や <small>きかんしえん</small> 気管支炎等)	8. <small>いちよう</small> 胃腸・ <small>かんぞう</small> 肝臓・ <small>たん</small> 胆のうの <small>びょうき</small> 病気																				
9. <small>じんぞう</small> 腎臓・ <small>ぜんりつせん</small> 前立腺の <small>びょうき</small> 病気	10. <small>きんこつかく</small> 筋骨格の <small>びょうき</small> 病気 ( <small>こつそ</small> 骨粗しょう症、 <small>しょう</small> 関節症等)																				
11. <small>がいしやう</small> 外傷 ( <small>てんとう</small> 転倒・ <small>こっせつ</small> 骨折等)	12. <small>がん</small> がん ( <small>あくせいしんせいぶつ</small> 悪性新生物)																				
13. <small>けつえき</small> 血液・ <small>めんえき</small> 免疫の <small>びょうき</small> 病気	14. <small>びょう</small> うつ病																				
15. <small>にんちしやう</small> 認知症 ( <small>アルツハイマー</small> アルツハイマー <small>びょう</small> 病等)	16. <small>パーキンソン</small> パーキンソン <small>びょう</small> 病																				
17. <small>め</small> 目の <small>びょうき</small> 病気	18. <small>みみ</small> 耳の <small>びょうき</small> 病気																				
19. その他 (                      )																					

## 問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

<b>1</b>	認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ○)
	1. はい                      2. いいえ
<b>2</b>	認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ○)
	1. はい                      2. いいえ



3で、「1. よく利用している」「2. ときどき利用している」と答えた方のみお答えください。

3-1 どのような機能を利用していますか。(いくつでも○)

1. 通話・テレビ電話
2. 様々な情報を閲覧できる検索サイト (Google、Yahoo!など)
3. SNS (Twitter、Facebook、LINE など)
4. インターネットショッピング (Amazon、メルカリ、地域のスーパーなど)
5. 動画視聴 (YouTube、ニコニコ動画など)
6. 写真・動画撮影
7. メール送受信
8. 目的地までの公共交通機関や道路ルート検索 (Google マップなど)
9. オンライン学習
10. オンラインゲーム
11. その他 ( )

3で、「3. ほとんど利用していない」「4. 利用していない」と答えた方のみお答えください。

3-2 利用していない理由は何ですか。(いくつでも○)

1. どこで何を購入すればよいかわからないから
2. どのように使えばよいかわからないから
3. 以前使おうとした、もしくは使ってみたことがあるが、うまく使えなかったから
4. 情報漏洩や詐欺被害等のトラブルに遭うのではないかと不安だから
5. 購入や利用にかかる料金が高いと感じるから
6. 自分の生活には必要ないと思っているから
7. 必要があれば家族に任せればよいと思っているから
8. その他 ( )

4 あなたはどんなことがあれば利用につながると思われますか。(いくつでも○)

1. 楽しさや便利さを知る機会がある
2. 利用することで家族や友人とのコミュニケーションを取る機会が増える
3. 操作や設定が簡単になる
4. 機器の値段や通信料が下がる
5. 身近な場所で、操作や設定をわかりやすく教えてくれる教室などがある
6. 気軽に相談できるサポート窓口がある
7. その他 ( )

## 問10 人生の最終段階について

<b>1</b>	人生の最期を、あなたはどこで迎えたいですか。(1つだけ○)
	1. 自宅 2. 病院 3. 介護保険施設 4. 有料老人ホーム 5. その他 ( ) 6. 考えたことがない
<b>2</b>	将来、自身の人生の最終段階について考え、その準備を行うにあたり、不安に感じていることはどのようなことですか。(いくつでも○)
	1. 答えたくない 2. 生前整理として何から手をつけたらいいかわからない 3. いつから(どの時期から)準備を始めたらいいいかわからない 4. エンディングノート(自身の死後の希望を書き留めておくもの)の書き方がわからない 5. 自分の葬儀やお墓の準備の仕方がわからない 6. 自身の財産が把握できていない 7. 誰に何を相続すべきかわからない 8. 自分のパソコンや携帯などのデータの整理・管理の方法がわからない 9. 加入している保険の整理・見直しの方法がわからない 10. 身近に相談できる相手がいない 11. その他 ( ) 12. 特に不安はない
<b>3</b>	今後、ご家族と話し合う機会を作りたいと思いますか。(1つだけ○)
	1. すでに話し合っている 2. 時期が来たら話し合いたい(話し合える) 3. 話し合いたいと思う機会がない 4. 話し合いたいとは思わない(必要ない)
<b>4</b>	人生の最終段階を迎える準備に関するセミナー(講演会)が身近な場所で開催された場合、あなたは参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)
	1. 参加したい 2. 参加したくない 3. 分からない

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、再度お確かめください。

記入した調査票は全て(表紙も含みます)を同封した返信用封筒に入れ

**1月27日(金)まで**に切手を貼らずに投函してください。

川西町  
第10次高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画  
策定のための介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
報告書

---

令和5年3月

川西町 長寿介護課

〒636-0202 奈良県磯城郡川西町大字結崎28番地の1